取扱説明書 詳細版

TORQUE® G01

ごあいさつ

このたびは、「TORQUE G01（トルク ジーゼロイチ）」（以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に本製品に付属する『設定ガイド』『取扱説明書』『ご利用にあたっての注意事項』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。

操作説明について

■『設定ガイド』／『取扱説明書』

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリやauホームページより『取扱説明書詳細版』（本書）をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書』アプリ

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書』アプリをご利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。
ホーム画面→[▦]→[取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual 英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Setting Guide, Basic Manual and Notes on Usage from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『設定ガイド（英語版）』『取扱説明書（英語版）』『ご利用にあたっての注意事項（英語版）』をauホームページに掲載しています（発売約1ヶ月後から）。
Download URL:
http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/
Also, you can use the "Instruction Manual" application (English version) on the product to check operational procedures (available from approximately one month after the product is released).
また、本製品では、本体内で操作方法を確認できる『取扱説明書（英語版）』アプリを利用できます（発売約1ヶ月後から）。
Home screen → [▦] → [Basic Manual].

- To use the application for the first time, you need to download and install it by following on-screen instructions.

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル・地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。（ただし、LTE／CDMA／GSM／UMTS方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えております。）
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書詳細版』（本書）をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

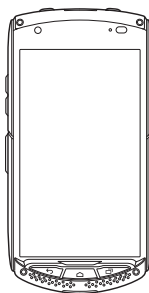
■ 使う場所や声の大きさに気をつけて！

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、発信を控えるのはもちろん、着信音で周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 携帯電話の画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての通話や操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 通話中の声は大きすぎないようにしましょう。
- 携帯電話のカメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。

■ 周りの人への配慮も大切！

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

本体

- 取扱説明書
- ご利用にあたっての注意事項
- 設定ガイド
- 本体保証書

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリカード
- ワイヤレス充電台
- ACアダプタ
- microUSBケーブル
- イヤホン

memo

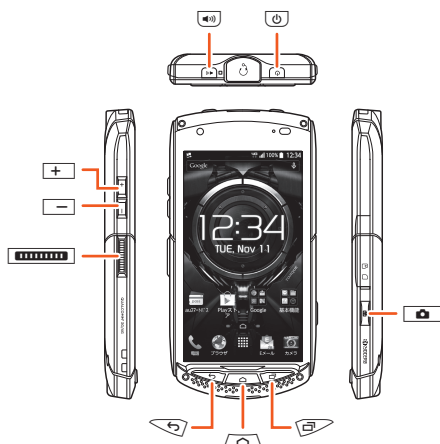
◎ 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
◎ 本文中で使用している携帯電話のイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。
◎ 電池は本製品に内蔵されています。

目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を次のように簡略化しています。

■ 項目/アイコン/キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です(▶P.22)。

(▶P.22)

表記例	意味
ホーム画面→[電話]→[1][4][1]→[発信]	ホーム画面下部の「(電話)」をタップします。続けて「1」「4」「1」の順にタップして、最後に「」(発信)をタップします。
スリープモード中に	スリープモード中にを押します。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。
また、画面の一部などを省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

memo

◎ 本書では縦表示からの操作を基準に説明しています。横表示では、メニューの項目/アイコン/画面上のキーなどが異なる場合があります。
◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
◎ 本書では本体カラー「レッド」の表示を例に説明しています。
◎ 本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
◎ 本書に表記の金額は、特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

免責事項について

◎ 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
◎ 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元:京セラ株式会社

■ お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

● この「安全上のご注意」には本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
● 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ 表示の説明

⚠ 危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠ 警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠ 注意	この表示は「人が軽傷(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。
※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。
※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card (LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®の決済機能をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ®をロックされている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないでください。また、接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。

本製品は防水性能を有する機種ですが、万一、水などの液体が外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーなどから本製品などに入った場合には、ご使用をやめてください。そのまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形・故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などでおおったり、包んだりしないでください。火災、故障、傷害の原因となります。

外部から電源が供給されている状態の本製品、指定の充電用機器に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

イヤホンなどを本製品に挿入し音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、破損・故障の原因となります。

■ 本体について

⚠危険　必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

本体にくぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。

ペットが本体に噛みつかないようご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の離隔距離が確保できないおそれがある場合、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、音楽を聴くときなどは周囲の安全を確認してください。転倒・交通事故の原因となります。

撮影ライト／簡易ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、撮影ライト／簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて撮影ライト／簡易ライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

本製品のディスプレイ部には化学強化ガラスを使用していますが、万一、破損してしまった場合は破損部に触れないでください。破損部でけがをすることがあります。auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

耳元にスピーカー部を近づけないでください。大音量により耳に障がいを起こす原因となります。

⚠注意 **必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

使用場所	使用材料	表面処理
外装ケース(ディスプレイ側)	PA樹脂	アクリル系UV硬化塗装、ウレタン系熱硬化塗装
外装ケース(ディスプレイ側天面)、外装ケース(ディスプレイ側底面)、音量上／下キー、ダイレクトボタン(外周部)、スピーカーパネル、カメラレンズ周囲部、撮影ライト周囲部、飾りネジ(背面側)	PC樹脂	アクリル系UV硬化塗装
外装ケース(背面側)、イヤホンマイク端子カバー、カードスロットカバー	PC樹脂／ウレタン樹脂	アクリル系UV硬化塗装
ダイレクトボタン(内側)、カメラレンズ、撮影ライトレンズ	PMMA樹脂	ハードコート処理
ディスプレイ	化学強化ガラス	防汚処理
バックキー／ホームキー／アプリ履歴キー、外部接続端子カバー	PC樹脂／ウレタン樹脂	―
電源キー、スピーカーフォンキー、カメラキー	ウレタン樹脂	―
飾りネジ(ディスプレイ側)	SWCH	三価黒メッキ

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

イヤホンマイク端子、外部接続端子、microSDメモリカードスロット、au Nano IC Card (LTE)スロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

イヤホンやストラップなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

通常は外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

砂浜などの上に直に置かないでください。送話口(マイク)、スピーカー、ノイズキャンセル用マイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本製品が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。

■ 内蔵電池について

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険 **必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。**

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■ 充電用機器について

⚠警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火･火災･発熱･感電･傷害などの原因となります。
- 海外で充電可能なACアダプタ(別売):AC100V〜240V
- 共通DCアダプタ03(別売):DC12V･24V(マイナスアース車専用)

指定の充電用機器の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電･発熱･発火･火災･傷害の原因となります。指定の充電用機器が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ03(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V、1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱･発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

指定の充電用機器のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電･ショート･火災･傷害の原因となります。

接続端子、イヤホンマイク端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電･傷害･故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、回路のショートの原因となります。

電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置･配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は指定の充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災･故障の原因となります。

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱･火災･感電･電子回路のショートによる故障･傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器の電源プラグを抜いてください。

ワイヤレス充電対応製品(別売)と本体背面の間に、金属製のもの(金属を含む材質のストラップやクリップなど)を置かないでください。発火･火災･傷害の原因となります。

ワイヤレス充電対応製品(別売)や本体背面に、金属製のもの(金属を含む材質のシールなど)を貼り付けないでください。発熱による火災･故障･やけど･傷害の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器を抜き差ししないでください。感電･故障･傷害の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いたところやぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災･故障･傷害の原因となります。

指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質･体調によっては、かゆみ･かぶれ･湿疹などが生じる場合があります。

■ au Nano IC Card (LTE)について

警告　必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Nano IC Card (LTE)を入れないでください。溶損･発熱･発煙･データの消失･故障の原因となります。

⚠注意　必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Nano IC Card (LTE)の取り付け･取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Nano IC Card (LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合はデータの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Nano IC Card (LTE)を分解、改造しないでください。データの消失･故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損･発熱･発煙･データの消失･故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損･発熱･発煙･データの消失･故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分を不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失･故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Nano IC Card (LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。
よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card (LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能(IPX5、IPX8相当)を発揮するために、外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーをしっかりと取り付けた状態でご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴が付いたままで外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~85%の範囲内でご使用ください。)
  - 充電用機器
  - 周辺機器
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃~35℃、湿度35%~90%の範囲内でご使用ください。ただし、-21℃~50℃であれば一時的な使用は可能です。)
  - 本製品本体
  - au Nano IC Card (LTE)(本製品本体装着状態)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子、イヤホンマイク端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになってる近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書詳細版』(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 本製品には、シールなどを貼り付けないでください。音が出なくなる場合や相手に音声が届かなくなることがあります。

■本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - 水中での操作
- カードスロットカバーを開けたところに貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。
- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク㊅」が本製品本体内で確認できるようになっております。
  ホーム画面→[▦]→[設定]→[端末情報]→[認証情報]
  本製品本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不正改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 撮影などした写真/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやかばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタやプラグがまっすぐになるように抜き差ししてください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 通話中、送話口(マイク)を指などでおおわないようにご注意ください。相手にこちらの声が聞こえにくくなります。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- センサーを指でふさいだり、センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の状況にセンサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。

■タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチ操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- 手袋を装着した状態でのタッチ操作が可能ですが、手袋の厚み・素材によってはタッチ操作がしづらい場合があります。
  - 手袋に水滴が付着している状態でタッチ操作ができない場合は、水滴を拭き取ってください。
  - 素手でタッチ操作した後に手袋を装着してタッチ操作ができない場合は、本製品を一度スリープモードに移行してから、スリープモードを解除してください。
  - 指先がフィットしていない手袋でのタッチ操作ができない場合は、指の腹をディスプレイに当てるように操作してください。

■内蔵電池について

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、以下の状態で保管しないでください。
  - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)
  - 電池残量なしの状態(本製品の電源が入らない程度消費している状態)
  - 高温多湿の状態
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。

■ワイヤレス充電について

- 充電完了時にワイヤレス充電台のインフォメーションランプが点灯したままになりますが、異常ではありません。
- 満充電付近において、充電完了前に充電が停止する場合があります。
- 充電完了前に充電が停止した場合は、充電をすぐに再開しない場合があります。
- Qi規格対応製品によっては、充電開始・停止を繰り返す場合があります。指定のau製品で充電してください。
- 一定以上の温度となると、充電機能が停止したり、充電時間が長くなったりする場合がありますが、異常ではありません。温度が低下するまでお待ちください。
- 安定した水平な場所に、ワイヤレス充電台を置いて充電してください。
- ワイヤレス充電時は、本体のバイブレータ機能をオフにしてください。本体が振動により動き、充電が完了できなかったり、落下したりするおそれがあります。
- 充電する場合は、本製品に装着しているケース、カバー、フィルム、シールなどは取り外してください。
- 充電台や本体が濡れていないか確認してください。
- 本体に別売のACアダプタやmicroUSBケーブルを接続している状態でワイヤレス充電をしないでください。
- 充電するau製品以外のワイヤレス充電機器同士を30cm以上近づけないでください。充電するau製品を正しく検出できず、充電できない場合があります。
- テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、テレビやラジオなどからなるべく離れた場所でご使用ください。
- Qi規格対応製品によっては、充電中に着信しない場合があります。指定のau製品で充電してください。
- Qi規格対応製品によっては、おサイフケータイ®機能との相互干渉により充電開始できない場合があります。指定のau製品で充電してください。
- ワイヤレス充電時に本体のアプリケーションなどが動作すると、充電完了しない場合があります。
- ワイヤレス充電台に置かれている間は、本体が温かくなる場合がありますが、異常ではありません。
- ワイヤレス充電台で充電中、通信品質などの受信状態が悪くなることがあります。
- 充電時は、ワイヤレス充電台と本体を動かさないでください。
- 充電完了後でも、本体を長時間放置している場合は、電池残量が減少している場合があります。

■au Nano IC Card (LTE)について

- au Nano IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Nano IC Card (LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Nano IC Card (LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- au Nano IC Card (LTE)にシールなどを貼らないでください。

■カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■音楽／動画機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。
  ※控え作成の手段：連絡先のデータや音楽データ、撮影した静止画や動画など、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。またはメールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめ、ご了承ください。

ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

■暗証番号

使用例	①お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合
	②お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

■スタート画面のセキュリティの設定

使用例	セキュリティの設定／解除をする場合
初期値	スライド

■PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card (LTE)の無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

■ロックNo.(「NFC／おサイフケータイロック」)

使用例	「NFC／おサイフケータイロック」を利用する場合
初期値	1234

PINコードについて

■PINコード

第三者によるau Nano IC Card (LTE)の無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は入力が必要な設定に変更できます。

■PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card (LTE)が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードは「データの初期化」を行ってもリセットされません。

<この部分をコピーしてご使用ください>

【パスワード記載欄】
Googleアカウント ID
@gmail.com
Googleアカウントパスワード
au IDアカウントID
au IDアカウントパスワード
FacebookアカウントID
Facebookアカウントパスワード
セキュリティ(スタート画面)：PIN
セキュリティ(スタート画面)：パスワード
セキュリティ(スタート画面)：パターン

防水／防塵／耐衝撃性能に関するご注意

本製品は外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーが完全に装着された状態でIPX5※1相当、IPX8※2相当の防水性能およびIP6X※3相当の防塵性能を有しております。

※1 IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことです。

※2 IPX8相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本製品内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことです。

※3 IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れて攪拌（かくはん）させ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

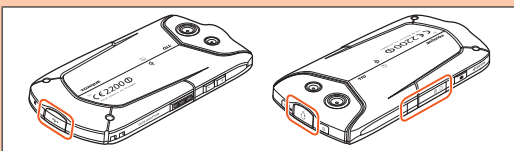
また、過酷な環境下での試験を実施する米国国防総省の調達基準（MIL-STD-810G）に準拠した試験を実施しています（当社試験方法による）。

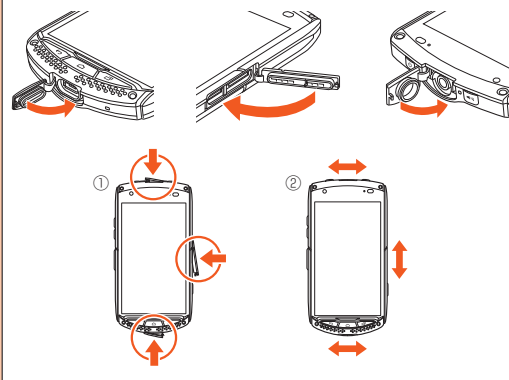
防水	30分間にわたる降雨や浸水に対しての防水性能、およびIPX5／IPX8の防水性能
防塵	連続6時間の粉塵試験（8.9±1.3m/sec、10.6±7g/㎥）を実施、およびIP6Xの防塵性能
耐衝撃	高さ約1.22mから合板（ラワン材）に26方向で落下させる試験を実施
耐振動	連続1時間の振動試験（3方向各1時間／20～2,000Hz）を実施
耐日射	連続24時間の日射試験（合計1,120W/㎡）を実施
防湿	連続10日間の高湿度試験（45％／16時間、95％／8時間を10日間）を実施
温度耐久	動作環境：－21～50℃（各連続3時間） 保管環境：－30～60℃（各連続4時間）
低圧対応	連続2時間にわたる低圧試験（57.11kPa：約4,572m）を実施
塩水耐久	連続24時間の5％塩水噴霧後、24時間乾燥させる試験を実施

正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての重要事項」「快適にお使いいただくために」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

利用シーンは、上記条件で確認しており、実際の使用時、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

ご使用にあたっての重要事項

- 外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーをしっかり閉じてください。
  - 完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
  - 接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  - 手や本製品が濡れている状態での外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーの開閉は絶対にしないでください。

外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーの閉じかた

カバーのヒンジを収納してから①カバー全体を指の腹で押し込んでください。②矢印の方向になぞり、カバーが浮いていることのないように確実に閉じてください。

- 石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。
- 海水、プール、温泉の中に浸けないでください。
- 水以外の液体（アルコールなど）に浸けないでください。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。送話口（マイク）、スピーカー、ノイズキャンセル用マイクなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。
- 水中で使用しないでください。
- 本製品は水に浮きません。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

石けん・洗剤・入浴剤

海水

プール

温泉

砂・泥

快適にお使いいただくために

- 水濡れ後は本製品の隙間に水がたまっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特に送話口（マイク）、スピーカー、ノイズキャンセル用マイクの水を抜いてください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- 送話口（マイク）に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

■ 利用シーン別注意事項

＜雨の中＞

雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話できます（1時間の雨量が101.6mm、風速17.8m/s、30分間）。

- 雨がかかっている最中、または手が濡れている状態での外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーの開閉は絶対にしないでください。

＜シャワー＞

シャワーを浴びた濡れた手で持って通話できます。

- 高い水圧が直接かかるようなご使用はしないでください。

＜洗う＞

やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

- 高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗うときは外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 石けん、洗剤などの水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。

＜お風呂＞

お風呂で使用できます。

- 濡れた手で通話できますが、湯船には浸けないでください。
- お風呂場での長時間のご使用はおやめください。
- 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には浸けないでください。また、水中で使用しないでください。故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本製品が常温になってから持ち込んでください。
- ディスプレイの内側に結露が発生した場合、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 高温のお湯をかけないでください。また、サウナでは使用しないでください。

＜プールサイド＞

- プールの水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で使用しないでください。
- プールの水には消毒用塩素が含まれているため、プールの水がかかった場合には速やかに常温の水道水※で洗い流してください。洗う際にブラシなどは使用しないでください。

  ※ やや弱めの流水（6リットル／分以下）

＜キッチン＞

キッチンなど水を使う場所でも使用できます。

- 石けん、洗剤、調味料、ジュースなど水道水以外のものをかけたり浸けたりしないでください。
- 熱湯に浸けたり、かけたりしないでください。
- コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる場所に置かないでください。

■ 共通注意事項

外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーについて

外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。カバーを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。

外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、お近くのauショップまでご連絡ください。

水以外が付着した場合

万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。

やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。

汚れた場合、ブラシなどは使用せず、外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーが開かないように押さえながら手で洗ってください。

水に濡れた後は

水濡れ後は水抜きをし、乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。また、熱風（ドライヤーなど）は使用しないでください。

寒冷地では本製品に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。（本製品は、結露に関しては特別な対策を実施しておりません。）

ゴムパッキンについて

外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバー周囲のゴムパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、剥がしたりしないでください。

外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1個など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

水以外の液体（アルコールなど）が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。

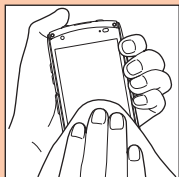
外部接続端子カバー、カードスロットカバー、イヤホンマイク端子カバーの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本製品が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
防水性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。

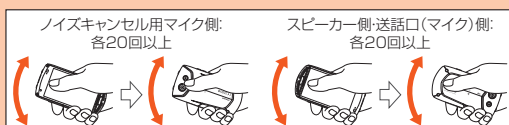
衝撃について

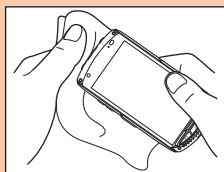
投げつけたり、無理な落としかたをするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる可能性がありますのでご注意ください。また本製品の性能に異常がなくても落下衝撃にて傷などが発生します。
また、送話口（マイク）、スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。本製品が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■ 水に濡れたときの水抜きについて

本製品を水に濡らした場合、非耐水エリアがありますので、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

1 本製品表面の水分を繊維くずの出ない乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

2 振りかたについて

①本製品をしっかり持ち、水が出なくなるまで本製品を矢印方向に振ります。
※振る際は周りに危険がないことを確認してください。
※本製品が飛び出さないように、しっかりと持ち水抜きをしてください。

②出てきた水分を拭き取ります。
※送話口（マイク）、スピーカー、ノイズキャンセル用マイクは特に水が抜けにくいため、押し付けるように各部分を下側にして拭き取ってください。
③乾いたタオルや布の上に置き、常温でしばらく放置します。

3 繊維くずの出ない乾いた清潔な布などに本製品を軽く押し当て、送話口（マイク）・スピーカー・ノイズキャンセル用マイクなどの隙間に入った水分を拭き取ってください。

4 本製品から出た水分を十分に取り除いてから常温で1時間以上放置して乾燥させてください。

上記手順を行った後でも、本製品に水分が残っている場合があります。濡れて困るもののそばには置かないでください。
また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

■ 充電のときは

オプション品は防水／防塵性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本製品が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障・やけどの原因となります。
- 本製品が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、外部接続端子カバーを開いたりしてください。
- 外部接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。外部接続端子カバーからの浸水を防ぐため、ワイヤレス充電台01（別売）を使用して充電することをおすすめします。
- 濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水まわりでは使用しないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。

Bluetooth®／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。無線LAN（Wi-Fi®）対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3.ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

- Bluetooth®機能：2.4FH1/XX1

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式等を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS4/OF4

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／36, 38, 40, 42, 44, 46, 48ch）
W53（5.3GHz帯／52, 54, 56, 58, 60, 62, 64ch）
W56（5.6GHz帯／100, 102, 104, 106, 108, 110, 112, 116, 118, 120, 122, 124, 126, 128, 132, 134, 136, 140ch）

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
J52	W52	W53	W56

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。

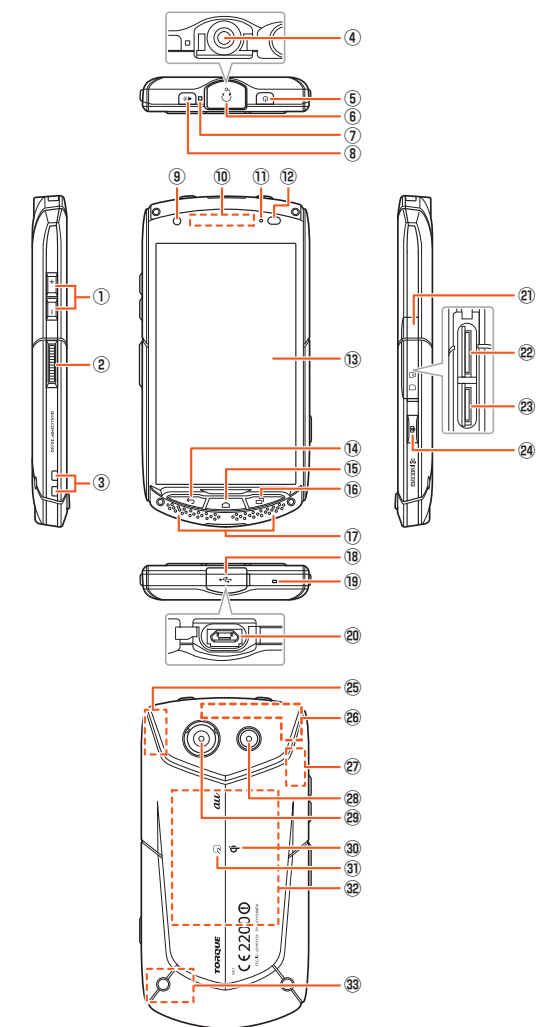
※無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリのインストールは安全であることをご確認の上、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモリカードをセットしないとご利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールされているアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

ご利用の準備

各部の名称と機能

① + − 音量上／下キー
音量を調節します。−を長く押すと「マナーモード」（▶P.83）を設定できます。

② ダイレクトボタン
「ダイレクトボタン」（▶P.84）で設定した機能を動作します。

③ ストラップ取付口

④ イヤホンマイク端子

⑤ 電源キー
電源のオン／オフやスリープモードの移行／解除などに使用します。

⑥ イヤホンマイク端子カバー

⑦ ノイズキャンセル用マイク
周囲の騒音を自動で感知して自分の声を相手に聞きやすくします。通話中に指などでふさがないでください。

⑧ スピーカーフォンキー
通話中のハンズフリーオン／オフを切り替えます。

⑨ インカメラ（レンズ部）

⑩ 受話部（レシーバー）
スマートソニックレシーバー（▶P.16）で通話中の相手の方の声、伝言メモの再生音などが聞こえます。

⑪ 着信（充電）ランプ
充電中は赤色で点灯します。
着信時やメール受信時に緑色で点滅します。

⑫ 近接センサー／光センサー
近接センサーは通話中にタッチパネルの誤動作を防ぎます。
光センサーは周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。

⑬ ディスプレイ（タッチパネル）

⑭ バックキー
1つ前の画面に戻ります。

⑮ ホームキー
ホーム画面の表示やスリープモードの解除に使用します。長く押すと「auスマートパス」や「Google」を起動できます。

⑯ アプリ履歴キー
最近使ったアプリを表示します。

⑰ スピーカー
着信音やアラーム音などが聞こえます。

⑱ 外部接続端子カバー

⑲ 送話口（マイク）
通話中の相手の方にこちらの声を伝えます。また、音声を録音するときにも使用します。通話中や動画の録画中は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。

⑳ 外部接続端子
共通ACアダプタ05（別売）やmicroUSBケーブル01（別売）などの接続時に使用します。

㉑ カードスロットカバー

㉒ microSDメモリカードスロット

㉓ au Nano IC Card (LTE)スロット

㉔ カメラキー
長く押すとカメラを起動できます。また、静止画撮影のシャッターとして使用します。

㉕ 内蔵GPSアンテナ部※

㉖ 内蔵サブアンテナ部※

㉗ 内蔵Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部※

㉘ 撮影ライト／簡易ライト

㉙ アウトカメラ（レンズ部）

㉚ マーク
ワイヤレス充電を行う際は、マーク部をワイヤレス充電台01（別売）のマーク部に重ねてください。

㉛ マーク
おサイフケータイ®利用時にマークをリーダー／ライターにかざしてください。IC通信で、データの送受信を行います。

㉜ NFC（FeliCa対応）／ワイヤレス充電アンテナ部※

㉝ 内蔵メインアンテナ部※

※アンテナ部付近を手でおおったり、シールなどを貼ったりしないでください。通話／通信品質に影響を及ぼす場合があります。

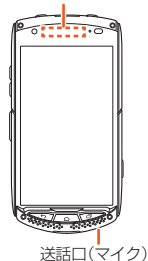
memo

◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面カバーを無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」（▶P.19）をご参照ください。
◎ 気圧センサーが搭載されています。気圧表示に関するアプリを使用すると、気圧と高度を表示させることができますが、この気圧と高度の値は絶対的なものではありません。さまざまな変動要因があり、あくまで目安の値となります。

スマートソニックレシーバーについて

本製品は、ディスプレイ部を振動させて音を伝えるスマートソニックレシーバーを搭載しています。受話部（レシーバー）に穴はありませんが、通常通りご使用いただけます。

■ 耳への当てかた

下図のように、本製品の受話部（レシーバー）付近を耳に当て、耳をおおうことで周囲の騒音を遮へいし、音声がより聞き取りやすくなります。ご自身の聞こえかたや周囲の環境に合わせて本製品の位置を上下左右に動かし、調整してください。

memo

◎ 通話時に本製品の送話口（マイク）を指などでふさがないようにご注意ください。
◎ イヤホンを接続している場合は、スマートソニックレシーバーを利用した音声ではなく、イヤホンからの音声に切り替わります。
◎ ディスプレイにシールやシート類などを貼らないでください。受話音が聞き取りにくくなる場合があります。
◎ 聞き取りやすさには個人差があります。
◎ 周囲の環境により、聞き取りやすさの効果は異なります。

au Nano IC Card (LTE)について

au Nano IC Card (LTE)にはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card (LTE)にのみ対応しております。au携帯電話、スマートフォンとau ICカードやmicro au ICカード、au Micro IC Card (LTE)を差し替えてのご利用はできません。

◎ au Nano IC Card (LTE)を取り扱うときは、カードや本製品の故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
- au Nano IC Card (LTE)のIC(金属)部分や、本製品のICカード用端子には触れないでください。
- 正しい挿入方向をご確認ください。
- 無理な取り付け／取り外しはしないでください。

◎ au Nano IC Card (LTE)着脱時は、必ず指定のACアダプタなどのmicroUSBプラグを本製品から抜いてください。
◎ au Nano IC Card (LTE)の取り付け／取り外しは、電源を切ってから行います。
◎ au Nano IC Card (LTE)を正しく取り付けていない場合やau Nano IC Card (LTE)に異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
◎ 取り外したau Nano IC Card (LTE)はなくさないようにご注意ください。

■ au Nano IC Card (LTE)が挿入されていない場合

au Nano IC Card (LTE)以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。
au Nano IC Card (LTE)を挿入しないで電源を入れた場合は、次の操作※1を行うことができません。また、ステータスバーに「☒」が表示されます。
- 電話をかける※2／受ける
- SMSの送受信
- Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- UIMカードロック設定
- 自局電話番号／自局メールアドレスの確認

※1 上記の操作以外にも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。
※2 110番(警察)・119番(消防機関)・118番(海上保安本部)への緊急通報も発信できません。

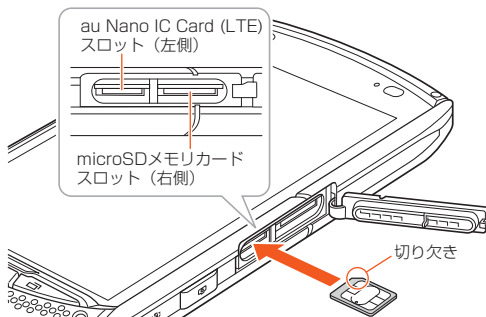
■ PINコードによる制限設定

au Nano IC Card (LTE)をお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます。
(▶P.11「PINコードについて」)

au Nano IC Card (LTE)を取り付ける

1 本製品の電源を切り、カードスロットカバーを開ける

2 au Nano IC Card (LTE)の挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとau Nano IC Card (LTE)が飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3 カードスロットカバーを閉じる

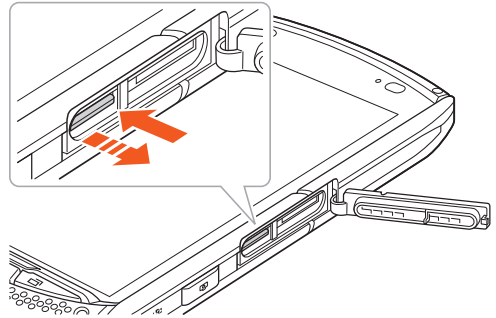
au Nano IC Card (LTE)を取り外す

1 本製品の電源を切り、カードスロットカバーを開ける

2 au Nano IC Card (LTE)を、カチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、au Nano IC Card (LTE)に指を添えながら手前に戻してください。au Nano IC Card (LTE)が少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

3 au Nano IC Card (LTE)をゆっくり引き抜く

- まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

4 カードスロットカバーを閉じる

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。赤色に点灯していた充電ランプが消灯したら充電完了です。

memo

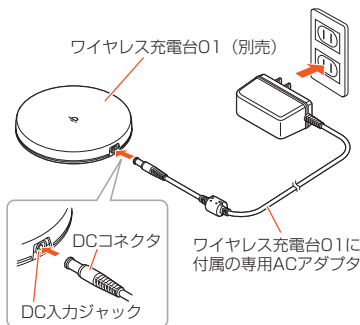
◎ 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
◎ カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
◎ 充電中に簡易ライト(▶P.67)を点灯させると、充電が停止します。簡易ライトを消灯させると、充電が再開します。
◎ 指定の充電用機器を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があり、電池のもちが悪くなります。
◎ 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
◎ 本製品の充電ランプが赤色に点滅したときは、接続などが正しいかご確認ください。それでも点滅する場合は、充電を中止して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
◎ 水分やほこりなどが入らないように、外部接続端子カバーは、充電後しっかりと閉めてください。また、強く引っ張ったり、ねじったりしないでください。
◎ 充電中、充電ランプがまだ点灯しているときに充電をやめると、「▮」が表示されていても充電が十分にできていない場合があります。その場合は、ご利用可能時間が短くなります。
◎ 指定のACアダプタ(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)を接続している状態で、ワイヤレス充電をしないでください。充電が正しく行われないだけでなく、故障の原因となる場合があります。
◎ 接続端子に金属製のアクセサリーや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。
◎ 充電中は電流による磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。

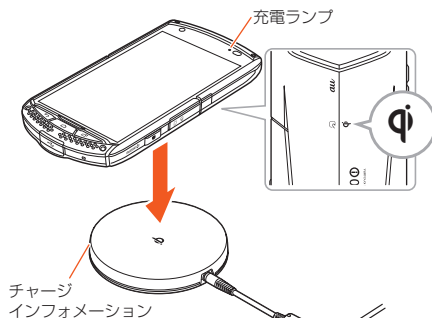
ワイヤレス充電台01(別売)を使って充電する

左記マークのあるau指定のワイヤレス充電対応製品(別売)の上に置くだけで、ケーブルを接続せずに充電できます。対応する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
このマークが付いている製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)による無接点充電規格に適合しています。

本製品は「おくだけ充電®」に対応しています。
「おくだけ充電」、「おくだけ充電」ロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標です。

ここでは、ワイヤレス充電台01(別売)を利用して充電する方法を説明します。
使用上のご注意事項や詳細な説明は、ワイヤレス充電台01(別売)に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 ワイヤレス充電台01(別売)のDC入力ジャックに専用ACアダプタのDCコネクタを接続し、専用ACアダプタの電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

2 本体背面のマーク面を下向きにして、ワイヤレス充電台01(別売)のマークと重なるように置く

チャージインフォメーションが青色に点灯し、本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。チャージインフォメーションが赤く点灯する場合は、本体が充電可能な位置から外れています。本製品を置く位置を調整してください。
充電が完了すると本製品の充電ランプが消灯します。
※本製品の場合、充電が完了してもワイヤレス充電台01(別売)のチャージインフォメーションは青色に点灯したままになります。その他、インフォメーションランプの点灯パターンや充電状態につきましては、ワイヤレス充電台01(別売)に付属の取扱説明書をご覧ください。

3 充電が終わったら、本製品を取り外し、専用ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

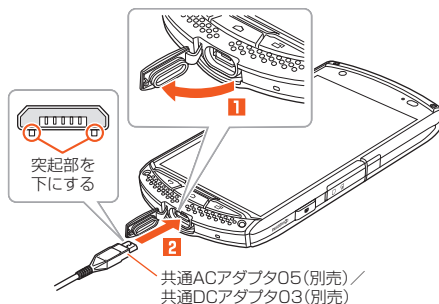
memo

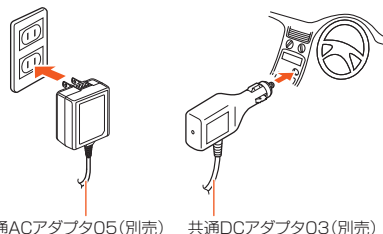
◎ チャージインフォメーションが青色に点灯開始した位置から本製品の位置をずらすと、充電されなかったり、充電時間が長くなったりする場合があります。一旦取り外し、約15秒の間隔をあけた後、チャージインフォメーションが青色に点灯する位置に置き直してください。

指定のACアダプタ(別売)／DCアダプタ(別売)を使って充電する

共通ACアダプタ05(別売)／共通DCアダプタ03(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)／DCアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.98)をご参照ください。

1 本製品の外部接続端子カバーを開ける

2 共通ACアダプタ05(別売)／共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

3 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む／共通DCアダプタ03(別売)のプラグをシガーライタソケットに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「▮」が表示されます。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

4 充電が完了したら、外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)／共通DCアダプタ03(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く

5 外部接続端子カバーを閉じる

6 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをコンセントから抜く／共通DCアダプタ03（別売）のプラグをシガーライタソケットから抜く

◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。

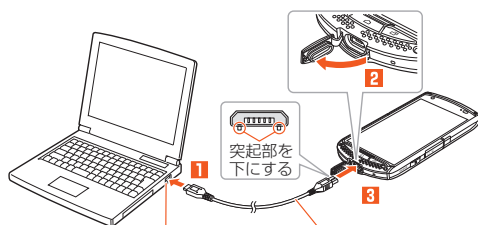
パソコンを使って充電する

microUSBケーブル01（別売）を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品の外部接続端子カバーを開ける

3 microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の充電ランプが赤色に点灯したことを確認してください。
充電が完了すると、充電ランプが消灯します。

4 充電が完了したら、microUSBケーブル01（別売）を外部接続端子とパソコンから取り外す

◎ 電池が切れた状態で充電すると、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、充電は開始しています。
◎ 指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くかかることがあります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ⏻（2秒以上長押し）

スタート画面が表示されたときは、セキュリティを解除してください（▶P.19）。
- 初めて電源を入れたときは、「auかんたん設定」などの初期設定が起動します。「au IDを設定する」（▶P.20）の操作2以降を参照して、必要に応じて設定を行ってください。

◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎ お買い上げ時に「auかんたん設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます（▶P.20）。

電源を切る

1 ⏻（1秒以上長押し）

2 ［電源を切る］→［OK］

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 ⏻（11秒以上長押し）

◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に⏻を押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に⏻または⌂

スタート画面が表示されます。
- 初回起動時は、スタート画面の説明が表示されます。内容を確認し「OK」をタップしてください。

■ スタート画面のセキュリティを解除する

スタート画面が表示されたときは、次の操作でセキュリティを解除できます。

1 「◉」をタッチして「スタート」の方向にスライド

ホーム画面が表示されます（▶P.22）。
「カメラ」／「電話」の方向にスライドした場合は、カメラ（▶P.57）／電話（▶P.30）が起動します。
- ホーム画面の説明が表示された場合は、内容を確認し「OK」をタップしてください。

memo

◎ スリープモード中に⏻を押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
◎ 本書ではスタート画面のセキュリティが「スライド」に設定されている場合の表示を例に説明しています。

■ スタート画面について

スタート画面にはウィジェットが表示され、左右にスライド／フリックするとコンパスや天気、新着通知のウィジェットに切り替えることができます。

《スタート画面》

① ウィジェット
② インジケータ
「◉」をタップするとウィジェットが切り替わり、「⊕」をタップするとウィジェットを追加できます。

memo

◎ ウィジェットを削除する場合は、ウィジェットをロングタッチ→画面上部に表示される「削除」までドラッグします。

■ 天気ウィジェットを利用する

1 スタート画面→左方向に2回スライド

天気ウィジェットが表示されます。
- お買い上げ時は「スタート」をタップすると、天気情報を取得します。

2 ［↻］

天気情報が更新されます。
天気ウィジェットをタップすると詳細情報が表示されます。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、画面の指示に従って、言語や各機能、サービスなどの設定を行ってください。
詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

1 **「日本語」を選択して[▶]**

2 **Wi-Fi®ネットワークを選択**
設定しない場合は「スキップ」をタップします。

3 **Googleアカウントの設定を行い[▶]**

4 **「auかんたん設定」を必要に応じて設定**

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントがセットアップされていないときに Googleアカウントが必要なアプリや機能を起動すると、セットアップ画面が表示されます。

1 **Googleアカウントのセットアップ画面**

■ Googleアカウントをすでにお持ちの場合

2 **[既存のアカウント]→メールアドレスとパスワードを入力→[▶]**

3 **画面の指示に従って操作**

■ Googleアカウントをお持ちではない場合

2 **[新しいアカウント]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録**

■ ログインできない場合

1 **ホーム画面→[ブラウザ]→URL表示欄を選択→「http://www.google.com/accounts/recovery/」を入力→[実行]**

2 **ログインできない理由を選択→必要に応じてメールアドレスを入力→[続行]**

3 **画面の指示に従って操作**

memo

◎ Googleアカウントをセットアップしない場合でも本製品をお使いになれますが、ハングアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。
「auかんたん設定」を利用すると、au ID設定などを行うことができます。

1 **ホーム画面→[▦]→[auかんたん設定]**

2 **[次へ]→[au IDを設定する]→[次へ]→[au IDの設定・保存]**
認証を開始します。

3 **画面の指示に従って操作し、au IDを設定**
au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。
画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ ホーム画面→[▦]→[au ID 設定]と操作すると、au IDのみ設定することができます。

基本操作

基本操作

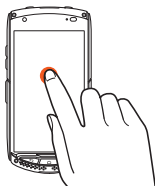
タッチパネルの使いかた

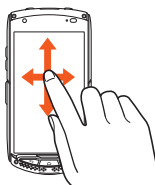
本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 爪の先での操作
  - 異物をディスプレイに乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - 水中での操作

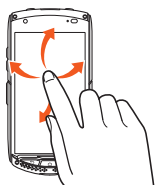
■ タップ／ダブルタップ

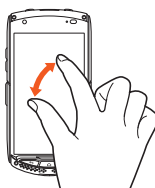
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

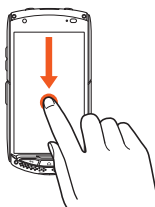
■ ロングタッチ

項目やキーなどに指を触れた状態を保ちます。

■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。

■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。

■ 2本の指を広げる／狭める

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。

■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

縦／横画面表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦／横画面表示を切り替えることができます。

memo

◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
◎ 縦／横画面表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」（▶P.84）で設定できます。
◎ アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。
また、[ホーム]を押すと、いつでもホーム画面を表示できます。

《ホーム画面》

① ステータスバー
② ショートカット／ウィジェット／フォルダ
③ インジケータ
④ クイック起動エリア
⑤ アプリ一覧

ホーム画面の壁紙を変更する

1 **ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→［壁紙］**
2 **［ギャラリー］／［壁紙］／［ライブ壁紙］／［写真］→画像を選択**
3 **［保存］／［壁紙設定］／［壁紙に設定］**

memo

◎ 壁紙にライブ壁紙を設定すると、電池の消耗が激しくなる場合があります。

ホーム画面にウィジェット／ショートカット／フォルダを追加する

アプリのウィジェットやショートカット、フォルダをホーム画面に追加できます。

■ ウィジェットを追加する場合

1 **ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→［ウィジェット］**
2 **ウィジェットをロングタッチ→追加する位置へドラッグして、指を離す**

■ ショートカットを追加する場合

1 **ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→［アプリ］**
2 **アプリをロングタッチ→追加する位置へドラッグして、指を離す**

■ フォルダを作成する場合

ショートカットをドラッグして他のショートカットに重ねるとフォルダが作成され、複数のアイコンを収納できます。

memo

◎ ホーム画面に空きスペースがない場合などは追加できません。

フォルダについて

◎ フォルダを選択→フォルダ上部のフォルダ名をタップ→フォルダ名を入力と操作すると、フォルダ名を変更できます。
◎ フォルダを選択→［＋］と操作すると、アプリを選択してショートカットを追加できます。
◎ フォルダをタップして、表示されるショートカットをドラッグしてフォルダの外に移動すると、フォルダから移動することができます。
◎ ショートカットが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

■ ウィジェット／ショートカット／フォルダを移動または削除する

1 移動または削除するウィジェット／ショートカット／フォルダをロングタッチ

■ 移動する場合

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

■ 削除する場合

2 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す

◎ クイック起動エリアの「▦」は移動または削除できません。

ホームアプリを切り替える

本製品のホームアプリを、よく使うアプリだけを表示した「auベーシックホーム」に切り替えることができます。

1 ホーム画面→[▦]→[設定]→[ホーム切替]→[auベーシックホーム]

auベーシックホーム画面が表示されます。
左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。
- 初回起動時には、利用承諾が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

《auベーシックホーム画面》

memo

◎ auベーシックホームからお買い上げ時のホーム画面に戻すには、auベーシックホーム画面→[設定]→[ホーム切替]→[標準ホーム]と操作します。
◎ 表示されていないアプリは、「パス」「au サポート」「その他アプリ」フォルダに収納されています。

アプリ一覧を利用する

インストールされているアプリの一覧が表示されます。

1 ホーム画面→[▦]

アプリ一覧が表示されます。
初回起動時には、アプリの選択についての説明画面が表示されます。確認後、「OK」をタップしてください。

《アプリ一覧》

① **ウィジェットタブ**
ウィジェット一覧が表示されます。

② **アプリタブ**
アプリ一覧が表示されます。

③ **ダウンロードタブ**
ダウンロードしたアプリの一覧が表示されます。

④ **検索アイコン**
各タブのアプリ／ウィジェットを検索します。

⑤ **メニューアイコン**
アプリ一覧のメニューを表示します。

■「アプリ一覧」の主なアイコンの種類

アイコンの表示名	ページ
3LM Security 本製品を盗難・紛失された場合に、遠隔操作で本製品の位置検索やロックをすることができます。	P.68
アニメパス※1※2 アニメ動画見放題サービスです。人気のアニメや懐かしアニメなどさまざまなアニメを楽しむことができます。	―
うたパス CMで流れるあの曲からアニソン、ジャズ、懐かしのヒット曲まで100万曲以上。150以上の多彩なチャンネル・プログラムから選んで音楽を楽しむ月額制のラジオ型音楽サービスです。	―
エコモード 電池の消耗を最小値に抑えるように設定します。	P.67
おサイフケータイ	P.61
カメラ	P.57
カレンダー	P.65
ギャラリー	P.59
グノシー for au 今日の話題を5分でまとめ読み！！サクサク使えて、すっきり読める！最新ニュースからやわらかコラムまで幅広くカバーできるニュースアプリです。	―
ゲームギフト 大人気ゲームのアイテム無料配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報など、さまざまなお得（ギフト）を提供するアプリです。	―
じぶん銀行※1※2 入出金明細や残高の確認、最寄りの提携ATM検索などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	―
スクリーンショットシェア 表示中の画面を、簡単な操作で撮影／保存することができます。 撮影した画面にスタンプを押すなどの編集をして、FacebookやTwitterなどのSNSやEメールで友達と共有できます。	P.67
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	―
ディズニーパス※1※2 Disneyキャラクターの壁紙やきせかえ、動画、カレンダー等を取りそろえた月額コンテンツ使い放題サービスです。 au限定スマホケースとセットのご利用形態もご用意しています。 ©Disney	―
ドライブ	―
ナビウォーク※1※2 乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。	―
バーコードリーダー バーコードリーダー「アイコニット」は、QRコードやJANコードを読み取るだけで、動画・音声・画像・テキストなどのさまざまなアクションがスマートフォンならではのクオリティで再生されます。	P.59
ハングアウト	P.64
ビデオパス※2 幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。	―
ファイル管理	P.60
ブックパス コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	―
ブラウザ	P.52
マップ	P.65
リモートサポート スマートフォンの操作で困ったとき、お客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。	P.68
安心アクセス※1※2 お子様がスマートフォンを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。	P.69
音声レコーダー	P.67
音声検索	―
簡易ライト	P.67
京セラサイト	―
時計	P.66
写真	―
取扱説明書※1 『取扱説明書』アプリを利用できます。	P.ii
設定	P.82
天気	―
電卓	P.67
電話	P.30
電話帳	P.56
au Cloud スマートフォンに保存されている写真・動画やEメールをau Cloudにアップロードするアプリです。アップロードした写真・動画は、簡単な操作で見ることができます。また、Wi-Fi®接続中は写真・動画を自動でアップロードできます。	―
au ID 設定	P.20
au Market auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	―
au WALLET au WALLET カードをより便利に使いこなすためのアプリです。 カードへのチャージのほか、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、スマートフォンに最適化した画面でご利用いただけます。	―
au Wi-Fi接続ツール ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。	P.70

アイコンの表示名	ページ
auお客さまサポート au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。	P.68
auかんたん設定 auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。	P.20
auショッピングモール 日用品・スマートフォングッズ・グルメ・ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。	—
auスマートパス 月額372円(税抜)でアプリが取り放題！その他にもお得なクーポンやプレゼント、写真のお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なスマホライフが楽しめるサービスです。	P.71
auバックアップアプリ お客様のスマートフォンに保存しているさまざまなデータをmicroSDメモリカードにバックアップ／復元できるアプリです。自動バックアップ機能では、お客様が設定した曜日、時間にバックアップを自動実行します。	—
au災害対策 災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービスを利用することができます。	P.70
Barometer	P.66
Chrome	—
Eメール	P.34
Facebook 友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。	P.64
Friends Note Friends Noteは、au携帯電話からのアドレス帳移行やサーバーへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。	P.64
GLOBAL PASSPORT 海外でご利用の際、渡航先に応じて、適用される利用料金、ご利用設定方法、電話のかけかたなどをチェックできるアプリです。海外から日本への発信時に便利なダイヤルアシスト機能搭載。	—
Gmail	P.50
Google	—
Google+	—
Google設定	—
GoPro※2 スマートフォンやタブレットPCをGoProカメラのリモートコントローラとして使用し、コントロールすることのできるアプリです。	—
GREE※1※2 3,000万人以上がコミュニケーションや無料ゲームを楽しんでいるGREE公式アプリです。	—
GREEマーケット GREEで提供しているゲームや、コンテンツを探すことができるアプリです。サービスへのログインがなくても、手軽に探すことができます。	—
Keep	P.66
LINE※1※2 LINEは24時間、いつでも、どこでも、無料で好きなだけ通話やメールが楽しめるコミュニケーションアプリです。	—
LISMO 音楽を再生したり、音楽情報を調べたりできます。また、調べた曲の試聴・購入も可能なアプリです。	—
NFCタグリーダー NFCタグの読み込み／データ書き込みを実行するアプリです。また、データ読み取り後、その情報に応じた動作をします。	P.62
NFCメニュー NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。	P.62
OfficeSuite Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	—
PCメール	P.49
Play ゲーム	—
Playストア	P.63
Playブックス コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	—
Playミュージック	P.60
Playムービー&TV	P.60
SMS	P.47
Tide	P.66
TOLOT フォトブック※1※2 写真を選択するだけで、フォトブックを作成／注文できるアプリです。こどもの成長、結婚式、旅行の思い出をデジタルだけではなく、実際の商品として残すことができます。 © 2011-2014 TOLOT Inc. All Rights Reserved.	—
YouTube	P.64

※1 利用するにはダウンロード／インストールが必要です。
※2 「データの初期化」(▶P.85)を行うと削除されます。

memo

◎ 各アプリからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
◎ アイコンの表示名は、予告なく変更される場合があります。

アプリ一覧のメニューを利用する

1 アプリ一覧→[ ]

2

並び順をリセット	アプリのアイコンの並び順をリセットします。
アプリ並び替え	▶P.24「アプリ一覧のアイコンを移動する」
アプリの管理	▶P.64「アプリを管理する」
設定	▶P.82「設定メニューを表示する」

アプリ一覧のアイコンを移動する

アプリのアイコンをアプリ一覧内で移動できます。

1 アプリ一覧→[ ]→[アプリ並び替え]

2 アイコンをロングタッチ→移動する位置までアイコンをドラッグして、指を離す→[完了]

クイック起動エリアを利用する

よく使うアプリをホーム画面のクイック起動エリアに配置できます。
クイック起動エリアは、ホーム画面のどの画面でも固定で表示されます。お買い上げ時には、電話、ブラウザ、Eメール、カメラが登録されています。

1 アプリ一覧→アイコンをロングタッチ→追加する位置で指を離す

2 ホーム画面に移動したアイコンをロングタッチ→クイック起動エリアにアイコンをドラッグして、指を離す

memo

◎ クイック起動エリアのアイコン(フォルダ)は移動または削除できます。詳しくは、「ウィジェット／ショートカット／フォルダを移動または削除する」(▶P.23)をご参照ください。
◎ クイック起動エリアに空きスペースがない場合でも、すでにあるアイコンに追加したいアイコンを重ねてフォルダを作成することもできます。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には不在着信、新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	不在着信あり
	新着メールあり(SMS)
	新着メールあり(Eメール)
	新着メールあり(PCメール)
	新着メールあり(Gmail)
	緊急速報メールあり
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	Playミュージックで音楽再生中
	着信中
	伝言メモあり
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth®機器からファイル受信リクエストあり
	USB接続中
	データを送信／アップロード
	データを受信／ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	VPN接続中
	メジャーアップデート(OS用)とソフトウェア更新あり
	USBテザリング中
	Wi-Fi®テザリング中
	Bluetooth®テザリング中
	Wi-Fi®テザリングまたはBluetooth®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	エコモード動作中
	スクリーンショット完了
	microSDメモリカードのマウント解除中
	キーボード表示中
	スクリーンショット設定を有効に設定中

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
12:34	時刻
	電池レベル状態 100%／残量なし／充電中
	電波の強さ レベル4／圏外
	通信状態（LTE／3G） LTE使用可能／3G使用可能／ローミング中 • 通信中はが表示されます。
	機内モード設定中
	au Nano IC Card (LTE)未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4／レベル0 • 通信中はが表示されます。
	アラーム設定あり
	マナーモード（バイブレーション）設定中
	マナーモード（ミュート）設定中
	Bluetooth®機能利用中 待機中／接続中
	伝言メモ設定中 伝言メモ設定中／伝言メモ全件録音済み
	Reader/Writer, P2P機能利用中
	「NFC／おサイフケータイロック」設定中
	GPS利用中

通知パネルについて

ステータスバーを下にスライドすると、通知パネル画面が表示され、お知らせの確認や対応するアプリを起動することができます。
ステータスバーを2本の指で下にスライドすると、クイック設定画面が表示され、よく使う機能のオン／オフがすぐに設定できます。

《通知パネル画面》　《クイック設定画面》

① **クイック設定アイコン**
クイック設定画面を表示します。

② **通知パネルアイコン**
通知パネル画面を表示します。

最近使用したアプリを起動する

を押すと、最近使用したアプリの一覧が表示され、アプリを起動できます。

1
最近使用したアプリが一覧で表示されます。

2 **使用するアプリをタップ**

◎ 一覧からアプリを削除するには、操作2で削除したいアプリを左右にフリックまたはロングタッチ→［リストから削除］と操作します。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「」をタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

スクリーンショットを撮影する

とを同時に長く押すと、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンショット）できます。保存中および保存完了時にはステータスバーにメッセージと「」が表示され、保存完了後に通知パネルを開くと保存した画像を確認できます。

memo

◎「スクリーンショットシェア」（▶P.67）を利用しても、スクリーンショットを撮影することができます。
◎ スクリーンショットを行った画像は、内部ストレージに保存されます。保存された画像は「ギャラリー」（▶P.59）や「ファイル管理」（▶P.60）で確認できます。
◎ バーコードリーダーのご利用中など、アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

入力方法（キーボード）を切り替える

1 **文字入力画面（テンキー／フルキー）→［］→［入力方法］**

2

Google音声入力	音声で文字の入力ができます。
日本語（iWnn IME）	主にひらがな／漢字／カタカナを入力する場合に選択するキーボードです。テンキー／フルキーの2種類があります。

■ テンキー／フルキーを切り替えるには

1 **文字入力画面（テンキー／フルキー）→［］→［テンキー⇔フルキー］**

キーボードスタイルを切り替える

キーボードスタイルには、通常モードとフローティングモードがあります。フローティングモードに切り替えると、キーボードの表示位置や透過度、サイズを設定できます。

1 **文字入力画面（テンキー／フルキー）→［］→［フローティングモードへ変更］**

■ フローティングモード

① **モード切り替えキー**
キーボードスタイルを通常モードに切り替えます。

② **位置移動キー**
移動する位置へドラッグすることで、キーボードの表示位置を移動できます。

③ **透過キー**
タップして表示されるスライダを左右にドラッグすると、キーボードの透過度が変更できます。
• 透過度を上げる／下げるにはスライダを左／右にドラッグします。

④ **サイズ変更キー**
ロングタッチしてドラッグすると、キーボードのサイズを変更できます。
• ドラッグする際に、変更前のサイズがガイド枠として表示されます。

memo

◎ フローティングモード起動中に［］→［通常モードへ変更］と操作しても、通常モードに戻すことができます。

テンキー／フルキーで入力する

■文字入力画面（テンキー）

一般的な携帯電話と同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップするたびに文字が切り替わります。また、「フリック入力」を行うこともできます。詳しくは「フリック入力について」（▶P.26）をご参照ください。

《文字入力画面（テンキー）》

■文字入力画面（フルキー）

一般的なパソコンと同じ順序で文字が並んでいるキーボードです。キーボードをタップすると、キーに表示されている文字が入力されます。日本語は「ローマ字」で入力します。

《文字入力画面（フルキー）》

① 文字入力エリア

② 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト
文字を入力して「 」をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。「予測変換」を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示され、入力が確定すると、さらに入力が予想される候補も表示されます。
- 「 」をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、「 」をタップします。

③ 設定キー／バックキー／戻すキー
 ：文字入力の各種設定メニューを表示します。
 ：同じキーに割り当てられた文字を逆の順に表示します。
 ：文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

④ ソフトウェアキーボード
各キーに割り当てられた文字を入力できます。

⑤ カーソルキー
カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

⑥ 絵文字・記号・顔文字キー／英数・カナキー※
 ：絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。ロングタッチすると、引用入力（マッシュルーム）（▶P.26）を利用できます。
 ：入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。
※操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

⑦ 文字種切替キー※
入力する文字種を切り替えます。
タップするたびに、表示が次のように変更されます。
 ：ひらがな漢字入力　　 ：半角英字入力
 ：半角数字入力
また、［ ］→［入力モード切替］と操作すると、カタカナや全角文字など他の文字種に切り替えることもできます。
 ：全角英字入力　　 ：全角数字入力
 ：全角カタカナ入力　　 ：半角カタカナ入力
※操作する画面やアプリなどによっては、入力できない文字種があります。

⑧ 削除キー
選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。

⑨ 変換キー／スペースキー
 ：通常変換候補リストを表示します。文字未入力時はスペースを入力します。
- ひらがな入力中に表示されます。

 ：スペースを入力します。
- 数字／英字入力中などに表示されます。

⑩ 確定キー／Enterキー
 ：入力中の文字を確定します。
 ：カーソルの位置で改行します。
- アプリや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑪ 大文字／小文字切替キー／音声入力キー
ひらがな／カタカナ入力時に「 」をタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。
英字入力時に「 」をタップすると、入力した英字を大文字／小文字に切り替えます。
テンキーで文字未入力時やフルキーで「 」をタップすると、音声入力ができます。

⑫ シフトキー
シフトキーをタップすると、大文字／小文字入力を切り替えます。
タップするたびに、表示が次のように変更されます。
 ：小文字入力　　 ：大文字入力ロック
 ：大文字入力
また、フルキーで全角数字入力／半角数字入力時にタップすると、入力できる記号を切り替えられます。

> **memo**
> **予測変換について**
> ◎ ひらがな入力中に「 」をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。「 」をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。
> ◎「日本語ワイルドカード予測」（▶P.27）または「ワイルドカード予測」（▶P.27）を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末の右位置にあるとき、「 」をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

■フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「テンキー」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。そのまま入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。例えば「あ」を入力する場合は「 」をタップするだけで入力でき、「お」を入力する場合は「 」を下にフリックすると入力されます。

文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／記号／顔文字を入力する

テンキーまたはフルキーでは、絵文字／記号／顔文字を利用できます。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→［ ］
絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。
文字入力画面に変換対象がない状態で表示されます。

2 絵文字／記号／ （顔文字）を選択

■絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

 ／ ：前／次のカテゴリーやページの表示
 ：文字入力画面に戻る
 ：選択した文字やカーソルの左の文字の削除

> **memo**
> ◎ 操作するアプリや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

1 文字入力画面→文字入力エリアをロングタッチ→「 」／「 」をドラッグして、範囲を選択

2 ［ ］（Cut）／［ ］（Copy）

3 貼り付ける位置をタップしてカーソルを移動→カーソルをロングタッチ→［貼り付け］

引用入力（マッシュルーム）を利用する

引用入力（マッシュルーム）を利用すると、引用入力など、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→「 」をロングタッチ
文字入力画面（テンキー／フルキー）→［ ］→［引用入力（マッシュルーム）］と操作しても、引用入力（マッシュルーム）を利用できます。

■引用入力（マッシュルーム）を設定する

引用入力（マッシュルーム）を利用するかどうかの設定を行います。
お買い上げ時は、「使用する」に設定されています。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→［ ］

2 ［各種設定］→［外部アプリ連携］→［引用入力（マッシュルーム）］→［使用する］

iWnn IMEの設定を行う

iWnn IMEでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面（テンキー／フルキー）→［⚙］→［各種設定］

iWnn IME設定画面が表示されます。

2

表示	キーボードタイプ	ソフトウェアキーボードのタイプを変更します。
	キーサイズ	画面の向きごとにキーボードの高さを設定します。
	他の入力方法に切り替え	ソフトウェアキーボードを変更するキーを表示するかどうかを設定します。オンにすると、キーボードに「■」が表示され、ロングタッチするとソフトウェアキーボードを切り替えることができます。 ※本機能を利用するには、他のキーボードアプリをインストールする必要があります。
	音声入力キーを表示	音声入力キーを表示するかどうかを設定します。
	左右キーを表示	フルキーのキーボードでカーソルキーを表示するかどうかを設定します。
	フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを有効にするかどうかを設定します。
	候補表示行数	ソフトウェアキーボードで文字入力する際に、予測変換などの変換候補リストを表示する行数を変更します。
入力	日本語候補学習	日本語入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。
	日本語予測変換	日本語入力時、よく使う言葉や過去に変換･確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
	日本語ワイルドカード予測	ワイルドカード予測機能（▶P.26）を利用するかどうかを設定します。
	候補学習	日本語以外を入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。
	予測変換	日本語以外を入力時、よく使う言葉や過去に変換･確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
	ワイルドカード予測	日本語以外を入力時、ワイルドカード予測機能（▶P.26）を利用するかどうかを設定します。
	入力ミス補正	フルキーで半角英字入力時、入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
	自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補の単語を選択するとスペースを自動入力するかどうかを設定します。
	自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。
キー操作	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	キー操作バイブ	キーをタップしたときに、バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
	キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
	フリック入力	フリック入力機能（▶P.26）を利用するかどうかを設定します。
	フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。 •「フリック感度自動補正」を選択すると、フリックの感度を自動的に調整します。
	トグル入力	フリック入力が有効のとき、同じキーに割り当てられた文字を、そのキーを繰り返しタップすることによって切り替えるかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。 • カーソル移動後でも、゛（濁点）／゜（半濁点）の付加や、大文字／小文字の変換を行うことができます。
外部アプリ連携	引用入力（マッシュルーム）	引用入力（マッシュルーム）を使用するかどうかを設定します。
辞書	日本語	▶P.27「ユーザー辞書に登録する」
	英語／その他	
その他	学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。 • 絵文字／記号／顔文字の入力履歴も削除されます。
	設定リセット	iWnn IMEの設定を初期化します。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 iWnn IME設定画面→［辞書］→［日本語］／［英語／その他］

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 ［⋮］→［登録］

3 読み／表記を入力→［保存］

memo

◎ 登録した単語を編集する場合は、ユーザー辞書単語一覧画面→編集する単語を選択→［⋮］→［編集］と操作します。

◎ ユーザー辞書単語一覧画面→削除する単語を選択→［⋮］→［削除］→［OK］と操作すると、選択した単語を削除できます。また、ユーザー辞書単語一覧画面→［⋮］→［ユーザー辞書全消去］→［OK］と操作すると、すべての単語を削除できます。

電話

電話

電話をかける

1 ホーム画面→[電話]

電話番号入力画面が表示されます。
- 発信／着信履歴一覧画面が表示された場合は「電話」タブをタップしてください。

2 電話番号を入力

一般電話へかける場合には、同一市内でも市外局番から入力してください。
「クリア」：入力した数字を1桁削除
「クリア」（ロングタッチ）：すべての数字を削除
「電話帳に登録」：入力した電話番号を電話帳に登録
「電話帳」：電話帳を起動
「伝言メモ」※：伝言メモ画面を表示
※伝言メモのあり／なしで表示が変わります。
：伝言メモなし　：伝言メモあり　：伝言メモ全件録音済み
「1」をロングタッチ→[OK]と操作すると、お留守番サービスセンターに接続され、伝言を聞くことができます。※
※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

3 [発信]→通話→[通話終了]

通話中に[＋|－]を押すと、通話音量（相手の方の声の大きさ）を調節できます。

memo
◎ 発信中／通話中に顔などによって画面をおおうと、誤動作を防止するため画面が消灯します。
◎ 送話口（マイク）をおおっても、相手の方には声が伝わりますのでご注意ください。
◎ 「機内モード」を設定中でも、緊急通報番号（110、119、118）、お客さまセンター（157）へは電話をかけることができます。

■ 電話番号入力画面のメニューを利用する

1 電話番号入力画面→[メニュー]

2

電話帳に登録※	電話帳の連絡先に追加します。
番号非通知（184）付加	電話番号に「184」を追加します。
番号通知（186）付加	電話番号に「186」を追加します。
自動ポーズ（,）付加※	「,」を入力します。電話番号の後ろに「,」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから約2秒後に番号がプッシュ信号として自動的に送信されます。
手動ポーズ（;）付加※	「;」を入力します。電話番号の後ろに「;」と番号を入力して電話をかけると、電話がつながってから「送信」をタップしたときに番号をプッシュ信号として送信できます。
通話設定	▶P.31「通話に関する設定をする」

※電話番号が入力されている場合に表示されます。

■ 通話中に利用できる操作

通話中画面で「スピーカー」／「ダイヤルキー」／「保留」／「メニュー」をタップすると、次の操作ができます。

スピーカー		ハンズフリー通話に切り替えます。
ダイヤルキー		プッシュ信号を送信します。
保留		通話を保留状態にします。
メニュー	ミュート	自分の声を相手に聞こえないようにします。
	通話を追加	別の相手に電話をかけます。

■ 緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

memo
◎ 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
◎ 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
◎ 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
◎ GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
◎ GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
◎ 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認の上、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
◎ 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

履歴を利用して電話をかける

1 電話番号入力画面→「発信履歴」／「着信履歴」タブをタップ

発信／着信履歴一覧画面が表示されます。
：発信履歴
：通話着信（青色）
：通話着信（伝言メモあり）
：不在着信（赤色）
：不在着信（伝言メモあり）
：不在着信（着信拒否）
：不在着信（ワン切り※）
※約3秒以内に切れた不在着信をワン切りとみなします。お客様に折り返し電話させ、悪質な有料番組につなげる行為の可能性がありますのでご注意ください。

2 電話をかける履歴の[ ]

選択した相手に電話を発信します。
- 発信／着信履歴一覧画面で履歴をタップすると履歴詳細画面が表示され、音声発信以外にもSMSの作成や伝言メモ再生、着信拒否登録、電話帳に登録などの操作を行うことができます。

memo
◎ 発信／着信履歴はそれぞれ最大100件まで保存され、100件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

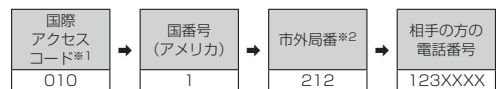
■ 発信／着信履歴一覧画面のメニューを利用する

発信／着信履歴一覧画面で「メニュー」をタップすると、メニューが表示され、履歴の削除や通話設定（▶P.31）などの操作を行うことができます。

au電話から海外へかける（au国際電話サービス）

本製品からは、特別な手続きなしで国際電話をかけることができます。

例：本製品からアメリカの「212-123-XXXX」にかける場合

1 電話番号入力画面→国際アクセスコード、国番号、市外局番、相手の方の電話番号を入力→[発信]

※1 「0」をロングタッチすると、「＋」が入力され、発信時に「010」が自動で付加されます。
※2 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo
◎ au国際電話サービスは毎月のご利用限度額を設定させていただきます。auにて、ご利用限度額を超過したことが確認された時点から同月内の末日までの期間は、au国際電話サービスをご利用いただけません。
◎ ご利用限度額超過によりご利用停止となっても、翌月1日からご利用を再開できます。また、ご利用停止中も国内通話は通常通りご利用いただけます。
◎ 通話料は、auより毎月のご利用料金と一括してのご請求となります。
◎ ご利用を希望されない場合は、お申し込みによりau国際電話サービスを取り扱わないようにすることもできます。
au国際電話サービスに関するお問い合わせ：
au電話から（局番なし）157番（通話料無料）
一般電話から 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00～20:00（年中無休）

電話を受ける

1 着信中に「◎」から「◎」まで右にスライド

2 通話→［通話終了］

■着信を応答保留する場合

1 着信中に［メニュー］→［応答保留］

■着信を拒否する場合

1 着信中に［メニュー］→［拒否］

着信音が止まって電話が切れ、相手の方には音声ガイダンスでお知らせします。

■電話がかかってきた場合の表示について

お買い上げ時は、着信すると次の内容が表示されます。

- 相手の方から電話番号の通知があると、ディスプレイに電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、名前や画像などの情報も表示されます。
- 相手の方から電話番号の通知がないと、ディスプレイに理由が表示されます。「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能※」
  ※相手の方が通知できない電話からかけている場合です。

着信時に相手の方の電話番号や名前、画像などを表示しないようにすることもできます（▶P.31「着信相手非表示」）。

memo

◎ LTE NET、LTE NET for DATAをご契約いただいていない場合、モバイルネットワークの「4G」および「データ通信」（▶P.83）を解除してご利用ください。

応答保留について

◎ 保留中も、かけてきた相手の方には通話料がかかります。

◎ 保留を解除するには通話中画面で「保留」をタップします。

かかってきた電話に出なかった場合は

◎ ステータスバーに「✕」が表示されます。ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、着信のあった時間や電話番号、または電話帳に登録されている名前が表示されます。

着信時に着信音、バイブレータを無効にするには

◎ 着信時に［＋｜－］を押すと、着信音、バイブレータを無効にすることができます。

他の機能をご利用中に着信した場合は

◎ 電話帳やメールなどをご利用中に着信した場合は、着信が優先され、通話終了後に再度ご利用が可能となります。

◎ 動画を録画していた場合は、録画が中断され、録画していたデータは保存されます。

◎ 音声レコーダーなどで録音していた場合は、録音が中断され、録音していたデータは保存されます。

■着信中のメニューを利用する

1 着信中に［メニュー］

2

SMS応答	着信拒否をして、SMSのメッセージで応答します。 • 定型文を選択するか、または自分で文章を作成して返信することもできます。定型文をあらかじめ編集しておくこともできます。
伝言メモ応答	伝言メモのメッセージで応答し、相手の方の伝言を録音します。
応答保留	着信を応答保留します。
転送	かかってきた電話に出ずに、転送先の電話番号へ転送します。 • 転送先の登録方法については「手動で転送する（選択転送）」（▶P.88）をご参照ください。
拒否	着信を拒否します。

memo

◎ 伝言メモ録音中に「◎」から「◎」まで右にスライドすると、電話に出ることができます。

自分の電話番号を確認する（プロフィール）

1 アプリ一覧→［電話帳］→［メニュー］→［プロフィール表示］

プロフィール画面が表示されます。

■プロフィールを登録する

1 プロフィール画面→［編集］

•「共有」をタップすると、プロフィールをメールなどで共有できます。

2 必要な項目を入力→［OK］

memo

◎ アプリ一覧→［設定］→［端末情報］→［端末の状態］と操作しても、自分の電話番号を確認できます（▶P.86）。

通話に関する設定をする

通話時間の確認や留守番電話の設定など、通話に関する設定を行います。

1 ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］

通話設定画面が表示されます。

2

通話時間	通話時間	国内での前回／累計の通話時間を表示します。
	通話時間（海外）	海外での前回／累計の通話時間を表示します。
発信者番号通知を許可	自分の電話番号を相手の方に通知するかどうかを設定します。	
着信相手非表示	着信時に相手の名前や画像などを表示しないようにするかどうかを設定します。	
伝言メモ	伝言メモ応答設定	電話に出ることができないとき、応答メッセージを流して相手の方の伝言を録音するかどうかを設定します。
	応答時間	伝言メモで応答するまでの時間を設定します。
	伝言メモリスト	伝言メモを選択して再生します。 • 伝言メモリスト画面で、「⋮」をタップしたり、伝言メモをロングタッチしたりすると、伝言メモの保護や削除などの操作が行えます。
留守番電話	▶P.90「お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）」	
転送電話	▶P.88「着信転送サービスを利用する（標準サービス）」	
着信拒否	▶P.31「着信を拒否する」	
SMS応答	SMS応答（▶P.31）のメッセージを編集します。	

memo

通話時間について

◎ 表示される通話時間は、自分から発信したときの通話時間になります。

◎ 通話が途切れるなど正常に終了できなかった場合や国際電話をかけた場合など、通話時間が更新されない場合があります。

発信者番号通知について

◎ 電話をかける場合、「184」または「186」を相手の方の電話番号に追加して入力したときは、「発信者番号通知を許可」の設定にかかわらず、入力した「184」または「186」が優先されます。

◎ 発信番号表示サービスの契約内容が非通知の場合は、「発信者番号通知を許可」を有効にしていても相手の方に電話番号が通知されません。電話番号を通知したい場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

◎「発信者番号通知を許可」を無効に設定しても、緊急通報番号（110、119、118）への発信時や、SMS送信時は発信者番号が通知されます。

◎ 海外でのローミング中は、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

伝言メモについて

◎ 録音できるのは、1件あたり約60秒間で、20件までです。20件録音されている場合は、再生済みで保護されていない伝言メモが、古いものから順に削除されます。

◎ 録音されている伝言メモがすべて未再生または保護されている場合、伝言メモで応答しません。

着信を拒否する

自動的に着信を拒否する条件を設定できます。着信を拒否した場合は、着信音・バイブレータの鳴動は行われません。

1 通話設定画面→［着信拒否］

2

電話番号指定	リストされた着信を拒否する	特定の電話番号からの着信を拒否します。
	電話番号指定リスト	特定の電話番号を指定して、その電話番号からの着信を拒否します。 電話帳／履歴を引用して登録する場合 **1.［＋］→［👤］／［📞］** **2.連絡先／履歴を選択→［登録］** 電話番号を入力して登録する場合 **1.［＋］** **2.電話番号を入力→［登録］**
非通知	電話番号を通知しない着信を拒否します。	
公衆電話	公衆電話からの着信を拒否します。	
通知不可能	電話番号を通知できない着信を拒否します。	
電話帳登録外	電話帳に登録されている電話番号以外からの着信を拒否します。	
着信履歴を保存する	拒否した着信を着信履歴に保存するかどうかを設定します。	

memo

◎ 割込通話サービスの割込通話は、着信拒否できません。

メール

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■Eメール

（@ezweb.ne.jp）のアドレスを利用してメールの送受信ができるサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます（▶P.34）。

■SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます（▶P.47）。

■PCメール

「メール」アプリを利用して、Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントや一般のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます（▶P.49）。

■Gmail

Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます（▶P.50）。

Eメールを利用する

Eメール（@ezweb.ne.jp）はEメールに対応した携帯電話やパソコンとメールのやりとりができるサービスです。文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます。

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめEメールアドレスの初期設定を行う必要があります。Eメールアプリの初回起動時に、画面の指示に従って初期設定を行ってください。
  詳しくは、同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

◎ Eメールの送受信は無線LAN（Wi-Fi®）通信で利用できますが、初期設定は4G（LTE）／3Gデータ通信で行ってください。
◎ Eメールは海外でもご利用になれます。
◎ Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。海外でのご利用は、通信料が高額となる可能性があります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
◎ 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかる場合があります。

Eメールの表示モードを切り替える

相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードと指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 **ホーム画面→[Eメール]**

2 **[切替]**

表示モードが切り替わります。

《会話モード》　《フォルダモード》

memo

◎ 本書では会話モードでの操作を基準に説明しています。フォルダモードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

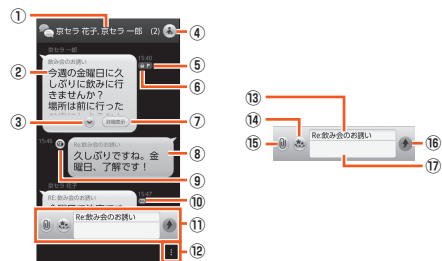
会話モードでの画面の見かた

■スレッド一覧画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。

《スレッド一覧画面》

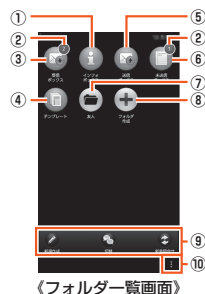
① **すべて表示／お気に入り表示切替タブ**
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。
② **スレッド**
③ **（赤色）：新着Eメールあり**
（青色）：未読Eメールあり
④ **インフォボックス**
インフォボックスメールを表示できます。
※新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。
⑤ **（黄色）：お気に入り**
（灰色）：お気に入り解除
⑥ **アクションバー**
⑦ **メニューボタン**

■スレッド内容表示画面の見かた

《スレッド内容表示画面》

① **スレッド名称（相手先）**
電話帳未登録の場合は、Eメールアドレスが表示されます。
② **受信したEメール**
③ **続き表示ボタン**
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは「」をタップします。
④ **宛先一覧表示ボタン**
送受信しているアドレスを一覧で表示します。宛先を追加・削除すると別のスレッドとして表示されます。
⑤ **フラグ付きEメール**
⑥ **保護されたEメール**
⑦ **詳細表示ボタン**
Eメール詳細表示画面を表示します。
⑧ **送信したEメール**
⑨ **：送信予約Eメール**
：自動再送信Eメール
⑩ 送信者がBccやメーリングリストのアドレスを使用して送信した場合に表示されるアイコンです。
⑪ **メール作成バー**
⑫ **メニューボタン**
⑬ **件名入力欄**
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。
⑭ **D絵文字ボタン**
D絵文字やピクチャを入力するときに使用します。
⑮ **添付ボタン**
データを添付するときに使用します。
⑯ **送信ボタン**
⑰ **本文入力欄**

フォルダモードでの画面の見かた

フォルダー一覧画面の見かた

フォルダー一覧画面には、「受信ボックス」や「送信ボックス」、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《フォルダー一覧画面》

① インフォボックス
② フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
③ 受信ボックス
④ テンプレート
⑤ 送信ボックス
⑥ 未送信ボックス
⑦ フォルダ
⑧ フォルダ作成
⑨ アクションバー
⑩ メニューボタン

Eメール一覧画面の見かた

《受信メール一覧画面》

《送信メール一覧画面》

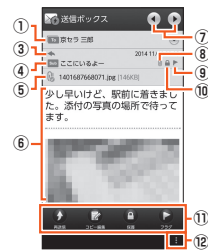
《未送信メール一覧画面》

《フォルダメール一覧画面》

① ：未読のEメール
：本文を未受信のEメール
：サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
② 件名
③ 宛先／差出人の名前またはEメールアドレス
Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
電話帳に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、Eメールアドレスが表示されます。
※電話帳にEメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
④ ：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール
⑤ 2行表示／本文プレビュー表示切替ボタン
⑥ 添付データあり
⑦ 保護されたEメール
⑧ フラグ付きEメール
⑨ アクションバー
⑩ メニューボタン
⑪ ：返信のEメール
：転送のEメール
⑫ 送信に失敗したEメール
⑬ ：送信予約Eメール
：自動再送信Eメール
⑭ 受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

◎ 横画面表示に切り替えた場合は、本文プレビュー表示固定になります。

Eメール詳細表示画面の見かた

《受信メール詳細表示画面》

《送信メール詳細表示画面》

① 受信メール
From：差出人の名前またはEメールアドレス
To／CC：宛先の名前またはEメールアドレス
※宛先が複数ある場合は1件のみ表示されます。「」をタップすると、その他のEメールアドレスを表示できます。
送信メール
To／CC／BCC：宛先の名前またはEメールアドレス
② ：本文を未受信のEメール
：サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
③ 受信メール
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール
送信メール
：返信のEメール
：転送のEメール
④ 件名
⑤ ：添付データ（本体メモリ保存）
：添付データ（内部ストレージ保存）
：添付データ（内部ストレージ保存失敗）
：インライン添付データ（本体メモリ保存）
：インライン添付データ（内部ストレージ保存）
：未受信の添付データ
※添付データが複数ある場合は1件のみ表示されます。「」をタップすると、その他の添付データを表示できます。
⑥ 本文
⑦ 次のEメール／前のEメールを表示
※本文表示エリアを左右にフリックすることで、次のメール／前のメールを表示することもできます。
⑧ 添付データあり
⑨ フラグ付きEメール
⑩ 保護されたEメール
⑪ アクションバー
⑫ メニューボタン

Eメールを送信する

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [新規作成]

宛先入力画面が表示されます。

- 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、操作6へ進みます。

3 [ ]

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

- 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

4

アドレス帳引用	電話帳のEメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	電話帳のグループに登録されたすべてのEメールアドレスを宛先に入力します。 • グループに登録されているEメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。 • 「Friends Noteでグループ作成」を選択すると、グループを作成することもできます。Friends Noteアプリがインストールされていない場合もしくはバージョンが古い場合は、最新のFriends Noteアプリをauスマートパスからダウンロードしてください。
メール受信履歴引用	受信メール履歴／送信メール履歴の一覧から選択して、Eメールアドレスを宛先に入力します。 **Eメールアドレスを選択→[選択]** • [ ]→[削除]→Eメールアドレスを選択→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
メール送信履歴引用	
プロフィール引用	プロフィールに登録されているEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたEメールアドレスを貼り付けます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 [作成]

スレッド内容表示画面が表示されます。

6 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角33／半角100文字相当まで入力できます。

7 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角3,333／半角10,000文字相当まで入力できます。

8 [ ]→[送信]

■フォルダモードでEメールを送信する場合

1 フォルダ一覧画面→[新規作成]

送信メール作成画面が表示されます。

2 [ ]

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.36)の操作4をご参照ください。

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 件名入力欄をタップ→件名を入力

件名は、全角33／半角100文字相当まで入力できます。

4 本文入力欄をタップ→本文を入力

本文は、全角3,333／半角10,000文字相当まで入力できます。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

◎ デコレーションアニメには対応しておりません。
◎ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号「ー(長音)゛(濁点)゜(半濁点)、。・「」」は入力できません。
◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件(To／Cc／Bccを含む。1件につき半角64文字以内)までです。
◎ 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ 「送信時確認表示」は非表示に設定することもできます(▶P.43)。
◎ フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
◎ あらかじめ「自動再送信」(▶P.43)をオンにしておくと、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、「送信予約」をタップすると、日時指定送信か、あるいはお客様のau電話が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 宛先入力画面→未入力のアドレス入力欄の「 」をタップ

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.36)の操作4をご参照ください。

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■宛先を削除する場合

1 宛先入力画面→入力済みのアドレスの「 」をタップ→[OK]

◎ フォルダモードではアドレス入力欄の「To」をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先(To)の種類を変更することはできません。

送信予約をする

■会話モードで送信予約する場合

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [ ]→[送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

スレッド内容表示画面に「 」が付いた送信予定のEメールが表示されます。

■フォルダモードで送信予約する場合

1 送信メール作成画面→[ ]

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.36)の操作4をご参照ください。

アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

2 本文入力欄をタップ→本文を入力

3 [送信予約]→[OK]

4 送信する日付を入力→[設定]

5 送信する時間を入力→[設定]

未送信ボックスに「 」が付いた送信予定のEメールが保存されます。

◎ メールの自動送信は20件まで設定できます。
◎ 送信予約が設定されているメールを編集しようとしたり、指定した日時を変更しようとすると、一度送信予約が解除されます。
◎ 電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
◎ 送信予約(日時指定)された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
◎ 日時指定したメールがローミング中に送信された場合、料金が高額となる場合がありますのでご注意ください。
◎ 電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信か圏内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件(合計2MB以下)のデータを添付できます。

1 スレッド内容表示画面→[ ]

2

ストレージ	内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存しているデータを添付します。
ギャラリー(静止画)	ギャラリーや写真などから静止画データを選択して添付します。
ギャラリー(動画)	ギャラリーや写真などから動画データを選択して添付します。
カメラ(静止画)	静止画を撮影して添付します。
カメラ(動画)	動画を撮影して添付します。
その他	他のアプリを利用してデータを添付します。

■静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。

◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
◎ フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
◎ 添付データを削除するには、削除する添付データの「 」をタップします。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 スレッド内容表示画面→[ ]

2 [D絵文字]／[ピクチャ]→[▲]

3

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ 内部ストレージやmicroSDメモリカードのD絵文字を利用する場合

2 [microSD]→[ダウンロード]

3

メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。
更新	内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されているD絵文字を検索し、表示します。

本文入力中にできること

1 スレッド内容表示画面→本文入力欄をタップ→[ ]

2

検索	▶P.39「Eメールを検索する」 • 会話モードのときのみ選択できます。
送信予約	▶P.36「送信予約をする」 • 会話モードのときのみ選択できます。
アドレス帳引用	電話帳から、電話番号やEメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 • 冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.43）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。 • フォルダモードのときのみ選択できます。
文字サイズ	文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
完了	本文の入力を終了し、送信メール作成画面に戻ります。 • フォルダモードのときのみ選択できます。

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾したり、テンプレートを使用して装飾メールを作成することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送信できます（デコレーションメール）。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [装飾]

デコレーションメニューが表示されます。

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→「 」／「 」で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。
[ ]→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

4

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存しているデータや、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

memo

◎ 本文を装飾する場合は、装飾情報を含めて約10KBの文字を入力できます。
◎ 本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／D絵文字を挿入できます。
※一度挿入した画像／D絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
※挿入できる画像／D絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
◎「Eメールにデータを添付する」（▶P.36）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／D絵文字を合計して2MBまで添付できます。
◎ 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
◎ 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
◎ 会話モードでは、本文を装飾できません。

■ 速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したりフォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリをダウンロードしてください。
• フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [速デコ]

装飾結果プレビュー画面が表示されます。
「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

◎ 装飾結果プレビュー画面→[ ]→[設定]と操作すると、速デコの設定を変更できます。

■ テンプレートを利用する

テンプレートにメッセージを挿入することで、簡単に装飾メールを作成して送信することができます。
• フォルダモードでのみ利用できます。

1 フォルダ一覧画面→[テンプレート]

テンプレート一覧画面が表示されます。
[ ]→[ストレージから読み込み]と操作すると、内部ストレージおよびmicroSDメモリカード内のテンプレート一覧を表示できます。本体メモリに読み込んでからご利用ください。

2 テンプレートをタップ→[メール作成]

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定で「基本通知設定」（▶P.44）または「個別通知設定」（▶P.44）にてオフにすることができます。

- スリープモード中にEメールを受信すると画面が点灯します。
- スタート画面上に通知ポップアップを表示することができます。
- ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
ステータスバーにEメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。Eメールアドレスが電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。

《通知ポップアップ》

2 ホーム画面→[Eメール]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるスレッドには「」（赤色）、未読Eメールがあるスレッドには「」（青色）が表示されます。

3 確認するスレッドをタップ

受信したEメールを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

- 確認するEメールをロングタッチ→[詳細表示]と操作するとEメール詳細表示画面が表示されます。

◎ Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」（▶P.43）を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。

◎「メール自動受信」（▶P.43）を自動受信しない設定にしている場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り「」が表示されます。「新着メールを問い合わせて受信する」（▶P.39）の操作を行い、Eメールを受信してください。

◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもパケット通信料がかかる場合があります。

◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。

◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 スレッド内容表示画面→添付データをタップ→[表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。

受信完了後、もう一度添付データをタップ→[表示]と操作してください。

memo

◎ 添付データをタップ→[ストレージへ保存]→保存先を選択→[保存]と操作すると、添付データを内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存できます。

◎ 通常のEメール（テキストメール）では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。

※データによっては、インライン再生されない場合があります。

◎ デコレーションメールの本文内に挿入されている画像は最大150KBまで受信できます。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存できます。

1 スレッド内容表示画面→本文をロングタッチ

2 [画像保存]

3 保存する画像を選択

「全選択」をタップすると、表示されている画像をすべて選択できます。

4 [保存先選択]

保存先選択画面が表示されます。

5 [保存]

選択した画像が保存されます。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は内部ストレージに保存されます。

memo

◎ 保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。

◎ 未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください（▶P.38）。

差出人／宛先／件名／電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面／Eメール詳細表示画面を表示

■差出人／宛先／本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のEメールアドレスをタップ

3

Eメール作成	選択したEメールアドレスを宛先にしてEメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したEメールアドレスを電話帳に登録します。
アドレスコピー	選択したEメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加※	選択したEメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 **[新規振分けフォルダ作成]／[「×××」（×××はフォルダ名）に追加]→[保存]** • ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 •「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.41「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.45「迷惑メールフィルターを設定する」

※フォルダモードのときのみ選択できます。

■件名をコピーする場合

2 件名をタップ→[コピー]

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3

音声発信	選択した電話番号に電話をかけます。
特番付加184	選択した電話番号に「184（発信者番号非通知）」を付加して電話をかけます。
特番付加186	選択した電話番号に「186（発信者番号通知）」を付加して電話をかけます。
au国際電話サービス	選択した電話番号に国際電話の識別番号「010」を付加して国際電話をかけます。 • au国際電話サービスを利用した国際電話のかけかたについては、下記のホームページをご参照ください。 http://www.001.kddi.com/lineup/001mobile/au.html
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.47「SMSを送信する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を電話帳に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3

開く	選択したURLのページをブラウザで表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

◎ 本文中のEメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

「メール自動受信」（▶P.43）を「自動受信しない」に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [新着問合せ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

◎ スレッド内容表示画面で、メール作成バーより上の部分を上方向へスライドさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [⋮]→[全検索]

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 [🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダー覧画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

◎ キーワード検索以外にも「⌄」をタップし、検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにスレッドにまとめて表示できます。新着Eメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面→[Eメール]

Eメールのスレッド一覧画面が表示されます。
- 新着Eメールがあるスレッドには「●」（赤色）、未読Eメールがあるスレッドには「●」（青色）が表示されます。

2 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示画面が表示されEメールが確認できます。

スレッド一覧画面でできること

1 スレッド一覧画面→[⋮]

2

項目	説明
件名を非表示／件名を表示	件名の表示／非表示を設定します。
全検索	▶P.39「Eメールを検索する」
削除	選択したスレッドをすべて削除します。 **削除するスレッドを選択→[削除]→[削除]** ・スレッド内のEメールはすべて削除されます。 ・「全選択」ですべてのスレッドを選択することもできます。 ・スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。 ・削除するスレッドをロングタッチ→[削除]→[削除]と操作しても削除できます。
Eメール設定	▶P.42「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

スレッド内容表示画面でできること

1 スレッド内容表示画面→[⋮]

2

項目	説明
検索	▶P.39「Eメールを検索する」

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示画面→操作するEメールをロングタッチ

2

項目	説明
詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 ・保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 ・フラグ付きEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	インライン画像を保存します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。
送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面→[Eメール]→[切替]

Eメールのフォルダー覧画面が表示されます。
- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

■ 受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス]／フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。
[返信]：返信のEメールを作成
[転送]：転送のEメールを作成
[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／外す
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

■ 送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス]／フォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。
[再送信]：同じEメールをもう一度送信
[コピー編集]：コピーして編集
[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／外す
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

■ 未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。
- 送信に失敗したEメールをロングタッチ→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをロングタッチ→[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、一度送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをロングタッチ→[送信予約解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メール詳細表示画面が表示されます。
[送信]：Eメールを送信
[編集]：Eメールを編集
[コピー編集]：保護されたEメールをコピーして編集
[保護]／[保護解除]：Eメールを保護／保護解除
[フラグ]／[フラグ解除]：Eメールにフラグを付ける／外す
▶：前のEメールを表示
◀：次のEメールを表示

送信予約メールをタップした場合、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。
- [⋮]→[その他]→[送信予約情報]と操作すると、送信予約日時が表示されます。
- [⋮]→[その他]→[送信予約解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

memo

◎ 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
◎ 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
◎ 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
◎ 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたEメール、送信予約メールは削除されません。

Eメール一覧画面でできること

1 **受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→[⋮]**

2

検索	▶P.39「Eメールを検索する」	
移動	Eメールを移動します。 **移動するEメールを選択→[移動]→移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.41）。 • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。	
削除	Eメールを削除します。 **削除するEメールを選択→[削除]→[削除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している削除可能なEメールをすべて選択できます。 • 保護されたEメールは選択できません。	
保護／解除	Eメールが自動的に削除されないように保護したり、保護を解除します。 **保護／解除するEメールを選択→[保護]／[解除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 受信メールは、受信ボックス容量の50%または1,000件まで保護できます。 • 送信・未送信メールは、送信ボックス容量の50%または500件まで保護できます。	
フラグ	Eメールにフラグを付けたり、フラグを外します。 **フラグを付ける／外すEメールを選択→[つける]／[解除]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。	
その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は内部ストレージに保存します。 **保存するEメールを選択→[保存]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示しているEメールをすべて選択できます。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.45）。
	フォルダ編集	表示中の受信ボックス／フォルダを編集します。 ▶P.41「フォルダを作成／編集する」
	選択受信	本文が未受信のEメールの本文を取得します。 **本文を受信するEメールを選択→[受信]** • 「全選択」をタップすると、一覧表示している本文受信可能なEメールをすべて選択できます。
	Eメール設定	▶P.42「Eメールを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメールを個別に操作する

1 **受信メール一覧画面／送信メール一覧画面／未送信メール一覧画面／検索結果一覧画面→操作するEメールをロングタッチ**

2

返信	Eメールに返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Re:」を付けた件名が入力されます。 • 宛先には、差出人／返信先のEメールアドレスが入力されます。
全員に返信	同報されている全員に返信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 宛先が複数ある場合のみ選択できます。
転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
送信	未送信のEメールを送信します。 • 宛先がないEメールでは表示されません。
編集	未送信のEメールを編集して送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
コピー編集	送信したEメールや保護されている未送信のEメールをコピーして編集し、送信します。 • 送信メール作成画面が表示されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認・編集します。
送信予約解除	送信予約を解除します。
削除	Eメールを削除します。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.41）。
拒否リスト登録	差出人のEメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.45「迷惑メールフィルターを設定する」

※画面により選択できる項目は異なります。

Eメール詳細表示画面でできること

1 **受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面／検索結果メール詳細表示画面→[⋮]**

2

転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。	
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** • あらかじめフォルダを作成してください（▶P.41）。	
削除	Eメールを削除します。	
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または「⇦」／「⇨」でカーソルを移動→[選択開始]→「⇦」／「⇨」で選択範囲を指定→[コピー]** • Eメール詳細表示画面→本文をロングタッチ→[本文選択]と操作しても本文選択画面を表示できます。 • 本文選択画面をロングタッチ→「◢」／「◣」をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 • 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 • 絵文字やインライン画像もコピーできます。 • 一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。	
文字サイズ	本文の文字サイズを一時的に切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」 • Eメール詳細表示画面を閉じると、「受信・表示設定」で設定した文字サイズに戻ります。	
その他	ストレージへ保存	Eメールを保存します。microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに、取り付けられていない場合は内部ストレージに保存します。 • 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます（▶P.45）。
	文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift-JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 • 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
	本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文受信を開始します。
	共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※画面により選択できる項目は異なります。

フォルダ一覧画面でできること

1 **フォルダ一覧画面→[⋮]**

2

検索	▶P.39「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.41「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 **削除するフォルダを選択→[削除]→[削除]** • ロックされたフォルダは選択できません。 • フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 • ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.42「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 **フォルダ一覧画面→[フォルダ作成]**

フォルダ編集画面が表示されます。

2 **フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力**

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■フォルダアイコンを変更する場合

3 **画面左上のフォルダアイコンをタップ**

4 **アイコンを選択→カラーを選択→[OK]→[保存]**

■フォルダ画像を設定する場合

3 **画面左上のフォルダアイコンをタップ→[ギャラリーから写真を選択]**

4 **画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]→[保存]**

memo

◎ 最大20個のフォルダを作成できます。

■フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 **フォルダ一覧画面→[⋮]→[フォルダ編集]→フォルダを選択**

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■振分け条件を追加する場合

2 **[振分け条件追加]→[▾]**

3

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力→[OK]→[保存]** • 「👤」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力→[OK]→[保存]** • 「👤」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力→[OK]→[保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

※クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 **「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」を選択→[保存]**

memo

◎ 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。

◎ 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。

◎ 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。

◎ 「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「⊗」をタップして、条件を編集したり削除することができます。

◎ 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。

◎ 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞・・・＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■ フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーション、着信ランプを設定できます。

1 フォルダ一覧画面→[⋮]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	アプリを利用して着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	内部ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**	
LED	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信ランプを設定します。 **[OFF]／[ON]→[OK]**	
着信音鳴動時間	受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	スタート画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	

4 [OK]→[保存]

■ フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。
あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください（▶P.42）。

1 フォルダ一覧画面→[⋮]→[フォルダ編集]→受信ボックス／フォルダを選択

フォルダ編集画面が表示されます。

2 [フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

「フォルダロック」が選択されます。
フォルダ編集画面で「フォルダロック」の選択を解除すると、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

■ フォルダを並べ替える

1 フォルダ一覧画面→移動するフォルダをロングタッチ

画面上部に「選択したフォルダの場所を移動できます。」が表示されます。

2 移動する位置にドラッグ

◎ 作成したフォルダ以外は移動できません。

Eメールを設定する

1 ホーム画面→[Eメール]

2 [⋮]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

3

受信・表示設定	▶P.43「受信・表示に関する設定をする」	
送信・作成設定	▶P.43「送信・作成に関する設定をする」	
通知設定	基本通知設定	▶P.44「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.44「個別の通知に関する設定をする」
添付ファイル保存設定※	保存場所の設定	Eメールにファイルが添付されていると き、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 **本体メモリに保存：** 本体メモリに保存します。 **ストレージに保存：** 内部ストレージに保存します。
	添付ファイル一括移動	自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 **ストレージへ一括移動：** 本体メモリから内部ストレージに移動します。 **本体メモリへ一括移動：** 内部ストレージから本体メモリに移動します。
プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問を選択→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロックを解除時に、パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効／無効を設定します。 **パスワードを入力→[OK]** • 表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 • パスワード未設定の場合は設定できません。 • シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
アドレス変更・その他の設定	▶P.44「アドレスの変更やその他の設定をする」	
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。	
バックアップ・復元	▶P.45「Eメールをバックアップ／復元する」	
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。	

※受信／送信／未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」（▶P.38）にてご確認ください。

受信・表示に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[受信・表示設定]**

2

項目		説明
メール自動受信		サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。オフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。
メール受信方法	全受信	差出人・件名と本文を受信します。
	指定全受信※1	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 **アドレス帳:** 電話帳に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 **個別アドレスリスト:** 「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信します。 **個別アドレスリスト編集:** 個別アドレスを登録します。 • 「 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※2」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 • 登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの[ ]→[削除]→[登録]と操作します。
	差出人・件名受信※1	差出人・件名のみを受信します。
添付自動受信		受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。オンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。
添付自動受信サイズ		自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」
アドレス帳登録名表示		電話帳に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
文字サイズ		Eメール詳細表示画面/送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
テーマ設定		Eメールアプリの画面デザインを設定します。
背景画像設定	背景画像(縦画面)	背景画像を設定します。 **[設定する]→アプリを選択→画像を選択→[切り抜き]**
	背景画像(横画面)	

※1 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、[⋮]→[その他]→[本文受信]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。

※2 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

送信・作成に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→[送信・作成設定]**

2

項目	説明
返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **[設定する]→返信先のEメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **[設定する]→差出人名称(全角8/半角24文字まで)を入力→[OK]**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **[設定する]→冒頭文(全角833/半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** • 冒頭文には、最大10種類の画像/D絵文字を挿入できます。 • 冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/D絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/D絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面の本文入力欄→[⋮]→[挿入]→[冒頭文]と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **[設定する]→署名(全角833/半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[完了]→[設定]** • 署名には、最大10種類の画像/D絵文字を挿入できます。 • 冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/D絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/D絵文字を挿入できません。 • 冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 • 会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示画面の本文入力欄→[⋮]→[挿入]→[署名]と操作して挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。オンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 • 会話モードでご利用の場合、オンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信を防ぐために、送信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信に失敗したEメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→［通知設定］→［基本通知設定］**

2

項目		説明
着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	アプリを利用して着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	内部ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択→［OK］**	
LED	Eメール受信時の着信ランプを設定します。 **［OFF］／［ON］→［OK］**	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 •「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時、ステータスバーに通知アイコンとともに差出人･件名または差出人を表示するか、または通知アイコンのみ表示するかを設定します。 「差出人･件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。	
通知ポップアップ	スタート画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
電源キー押下による着信音鳴動停止	着信音鳴動中に、⏻を押すことによって鳴動を停止するかどうかを設定します。	

個別の通知に関する設定をする

1 **Eメール設定画面→［通知設定］→［個別通知設定］**

2 **［新規設定］**

3 **［アドレス帳引用］／［メール受信履歴引用］／［メール送信履歴引用］→設定するアドレスを選択→［選択］**

4

項目		説明
着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	アプリを利用して着信音／通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	内部ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション	Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択→［OK］**	
LED	Eメール受信時の着信ランプを設定します。 **［OFF］／［ON］→［OK］**	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 •「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
通知ポップアップ	スタート画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.38「Eメールを受信する」	

アドレスの変更やその他の設定をする

1 **Eメール設定画面→［アドレス変更･その他の設定］→［接続する］**

2

項目	説明
Eメールアドレスの変更へ	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→［送信］** **2. ［承諾する］** **3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力→［送信］→［OK］** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定／確認へ	**オススメの設定はこちら** ▶P.45「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先の設定へ	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→［送信］** **2. 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→［送信］→［閉じる］** • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更･登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 •「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返る場合がありますのでご注意ください。

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールを2つの方法でバックアップすることができます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。

◎ バックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカード（/storage/sdcard1/private/au/email/BU/）に、取り付けられていない場合は内部ストレージ（/storage/emulated/0/private/au/email/BU/）に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータ（メール本文・添付ファイル）をバックアップすることができます。

1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**

2 **[メールデータバックアップ]→[OK]**

3 **バックアップデータを作成するための文字コードにチェックを付ける→[OK]**
文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。

4 **バックアップするメール種別にチェックを入れる→[OK]**
フォルダモードでバックアップするフォルダを選択します。ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
バックアップしたメールデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに保存されます。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ（メール本文・添付ファイル）を復元することができます。

1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**

2 **[メールデータ復元]**

3 **[受信メール]／[送信メール]／[未送信メール]／[ストレージから探す]→[OK]**

4 **復元するバックアップデータを選択→[OK]**
「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。
「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 **[追加保存]／[上書き保存]→[OK]**
「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

◎ 添付されたデータもバックアップできます。
※バックアップしたファイルサイズが本製品に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付きメールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。
◎ メールデータのバックアップ、復元では、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行うか、まるごとバックアップをご利用ください。
◎ シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされませんのでご注意ください。
◎ バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メールも削除されます）、バックアップしたメールデータを復元します。
◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ（メール本文・添付ファイル）、Eメール設定、振分け条件を、まるごとバックアップすることができます。
シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**

2 **[まるごとバックアップ]**
バックアップしたデータは、microSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに保存されます。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると 、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ（本文・添付ファイル）、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

1 **Eメール設定画面→[バックアップ・復元]**

2 **[まるごと復元]**

3 **復元するバックアップデータを選択→[OK]**

■復元前にメールデータがない場合

4 **[OK]**

■復元前にメールデータをバックアップする場合

4 **[バックアップ]→[OK]**
シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされません。

5 **文字コードを選択→[OK]**

6 **バックアップするメール種別を選択→[OK]**
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

7 **[OK]→[OK]→[OK]**

■復元前にメールデータをバックアップしない場合

4 **[まるごと復元]→[OK]→[OK]**

◎ まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 **Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]**

■おすすめの設定にする場合

2 **[オススメの設定はこちら]→[OK]**
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 **[迷惑メールフィルターの設定／確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]**

3

オススメ設定へ	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。	
個別設定	受信リスト・アドレス帳受信設定へ	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 • 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「携帯／PHSのみ受信設定へ」を「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 **アドレス帳受信設定へ：** Friends Noteもしくはauアドレス帳に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リスト設定へ	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHSのみ受信設定へ	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。
	上記以外の個別設定へ	**迷惑メールおまかせ規制：** メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制：** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。 ※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。 ※なりすまし規制回避リスト設定により「なりすまし規制」を回避して、自動転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制：** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制：** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制：** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。 **拒否通知メール返信設定：** 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。 ※以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、「返信する」の選択のみ可能です。
一括解除	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。	

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明が表示されます。
※最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。
http://www.au.kddi.com/ →[迷惑メールでお困りの方へ]→[迷惑Eメール防止方法]→[迷惑メールフィルター機能]

memo

◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
なりすまし規制回避リスト＞なりすまし規制＞拒否リスト設定＞受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞携帯／PHSのみ受信設定＞迷惑メールおまかせ規制＞ウィルスメール規制
◎ 「なりすまし規制回避リスト」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
◎ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できない場合があります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「なりすまし規制回避リスト」に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。
auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「迷惑メールフィルター設定へ」を選択し、au IDとパスワードを入力してください。
※au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

SMSを利用する

携帯電話同士で、電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ(メール本文)を送信できます。

1 アプリ一覧→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [ ]

SMS作成画面が表示されます。

- 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作 4 へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

「 」をタップして、電話帳などから相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

- 海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 ＋ 国番号 ＋ 相手先電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
※電話帳などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は、全角70／半角160文字まで入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

memo

◎ メッセージ作成中に を押すと、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、SMSを送信せずに保存できます。
◎ SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎ 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。
通話を終了したときに配信	蓄積後すぐに配信できなかった場合は、お客様が本製品で通話を終了したときに、SMSセンターにお預かりしていたSMSをすべて配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なる場合があります。

◎ 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
◎ 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換される場合があります。
◎ SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに「 」が表示される場合があります。
◎ 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご参照ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ステータスバーに「 」が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 アプリ一覧→[SMS]

未読のSMSがあるスレッドには「 」が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎ SMSの受信は、無料です。
◎ 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
◎ スレッド内容表示画面で「 」をタップすると、相手先に電話をかけることができます。
◎ 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 アプリ一覧→[SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ

■返信する場合

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]

■転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

メニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

「 」をタップして、連絡先などから相手先電話番号を選択して宛先を入力することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／Eメールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3

電話	選択した電話番号に電話をかけます。
SMS	選択した電話番号にSMSを送信します。

■本文中のEメールアドレスを利用する場合

2 本文中のEメールアドレスをタップ

3 アプリを選択してEメールを作成

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 アプリを選択してURLのページを表示

memo

◎ 本文中に電話番号やURLを含むSMSを受信するには、SMS安心ブロック機能を解除する必要があります(▶P.48「SMS安心ブロック機能を設定する」)。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

メニューが表示されます。

3 [保護]／[保護解除]

保護したメッセージには「 」が表示されます。

SMSの電話番号を電話帳に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [ ]→[アドレス帳への登録]

電話帳一覧画面が表示されます(▶P.56「連絡先を登録する」)。

- スレッド一覧画面→登録する相手先の[ ]→[はい]と操作しても電話帳一覧画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面→[ ]→[メッセージの検索]→キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

2 [ ]

検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 アプリ一覧→[SMS]
スレッド一覧画面が表示されます。

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ
メニューが表示されます。

4 [削除]→[削除]

■ スレッドごとに削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 [⋮]→[メッセージの全件削除]→[削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 [🗑]→[削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 [⋮]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

1 アプリ一覧→[SMS]

2 [⋮]→[設定]
SMS設定メニューが表示されます。

3

項目	説明
通知設定	SMS受信時、ステータスバーに通知アイコンを表示するかどうかを設定します。オフに設定すると、SMSを受信しても通知アイコンは表示されません。また、「着信音」「バイブレーション」「LED」も動作しません。
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 **[OFF]／[プリセットから選択]／[ダウンロード曲から選択]→着信音を選択→[OK]**
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 **[OFF]／パターンを選択→[OK]**
LED	SMS受信時に着信ランプを点滅するかどうかを設定します。
文字サイズ	SMSの本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 **署名を入力→[設定]**
受信フィルター	▶P.48「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに「✓」を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 **カラーを選択→[OK]**

memo

◎ SMS設定メニュー→[⋮]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、SMSの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー→[受信フィルター]

2

項目	説明
指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 **入力欄をタップ→登録する電話番号を入力→[追加]** ・「👤」をタップすると、電話帳から電話番号を登録できます。 ・スレッド内容表示画面→[⋮]→[受信フィルター登録]→[追加]と操作しても登録できます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除]→削除する電話番号を選択→[削除]→[はい]と操作します。 ・電話番号は、最大10件まで登録できます。
アドレス帳登録外	電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。オンに設定すると、電話帳に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

SMS安心ブロック機能を設定する

SMS安心ブロック機能は、本文中にURLや電話番号を含むSMSを受信拒否する機能です。

◎ SMS安心ブロック機能は、ご利用開始時から設定が有効となっています。
◎ ブロック対象のSMSは、通常のSMS（ぷりペイド送信含む）です。
着信お知らせサービス、お留守番サービスEX（伝言お知らせ）※、待ちうた情報お知らせサービスは対象外です。
※お留守番サービスEXは有料オプションサービスです。

■ SMS安心ブロック機能の設定方法

SMS安心ブロック機能の設定は、特定の電話番号にSMSを送信することで行います。

項目	説明
設定を解除する	本文に「解除」と入力して、09044440010にSMSを送信する。
設定を有効にする	本文に「有効」と入力して、09044440011にSMSを送信する。
設定を確認する	本文に「確認」と入力して、09044440012にSMSを送信する。

※設定時のSMS送信は無料です。
※設定完了の案内SMSは、「09044440012」の番号通知で届きます。

■ SMS安心ブロック機能で受信拒否された場合

送信したSMSがSMS安心ブロック機能により受信拒否された場合は、送信したメッセージに「⚠」が表示され送信されません。

PCメールを利用する

普段パソコンなどで利用しているメールアカウントを本製品に設定し、パソコンと同じようにメールを送受信できます。
• PCメールをご利用になるには、あらかじめPCメールのアカウントを設定する必要があります。

PCメールのアカウントを設定する

初めてPCメールを使用するときには、PCメールのアカウントを設定します。
• 設定を手動で入力する必要がある場合は、PCメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいPCメールアカウント設定を問い合わせてください。

1 アプリ一覧→[PCメール]

2 PCメールのメールアドレスとパスワードを入力→[完了]→[次へ]
自動的にメールサーバーの設定が行われます。
• 「手動設定」をタップした場合、または「次へ」をタップしても自動的に設定できない場合は、アカウントタイプの選択画面が表示されます。画面の指示に従い、手動でPCメールアカウントを設定してください。

3 アカウントの設定で必要事項を選択→[次へ]

4 アカウント設定でアカウント名などを入力→[次へ]
設定したアカウントのメールが読み込まれ、受信トレイ画面が表示されます。

memo

◎ PCメールアカウントを追加するには、受信トレイ画面→[⋮]→[設定]→画面上部の「アカウントを追加」をタップして設定してください。
◎ 複数のPCメールアカウントが登録されている場合、受信トレイ画面上部のアカウント名をタップ→表示を切り替えるアカウントをタップすると、そのアカウントのみの受信トレイ画面が表示されます。
◎ 複数のPCメールアカウントが登録されている場合、受信トレイ画面上部のアカウント名をタップ→[統合ビュー]と操作すると、登録されているすべてのアカウントの受信メールが表示されます。

アカウントの設定を変更する

1 アプリ一覧→[PCメール]
受信トレイ画面が表示されます。

2 [⋮]→[設定]→設定を変更するアカウントを選択

3

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前(差出人名)を変更します。
署名	署名を変更します。
クイック返信	本文に頻繁に挿入する文章を引用して、新規作成／編集できます。
同期頻度※1	新着メールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
添付ファイルのダウンロード	Wi-Fi®接続時に最近受信したメールの添付ファイルを自動的にダウンロードします。
メール着信通知	PCメールを受信した場合にステータスバーに受信したことを表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	着信音を設定します。
バイブレーション	バイブレーションを設定します。
受信設定 送信設定	受信メールサーバーと送信メールサーバーを設定します。

※1 「同期頻度」を「自動確認しない」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに料金がかかる場合があります。
※メニューに表示される項目は、アカウントによって異なります。

PCメールのアカウントを削除する

1 アプリ一覧→[設定]→アカウントの「PCメール」をタップ

2 削除するアカウントをタップ→[⋮]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

PCメールを送信する

1 受信トレイ画面→[✉]
PCメール作成画面が表示されます。

2 [To]→宛先を入力
• アルファベットや名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補が表示されます。

3 [件名]→件名を入力

4 [メールを作成します]→本文を入力

5 [▶]

PCメール作成画面のメニューを利用する

1 PCメール作成画面→[⋮]

2

ファイルを添付	PCメールに添付するファイルを選択します。 添付したファイルを削除する場合は「☒」をタップします。
Cc／Bccを追加	Cc／Bcc入力欄を追加します。宛先と同じ方法で入力できます。
下書きを保存	作成中のPCメールを下書きへ保存します。
破棄	作成中のPCメールを破棄します。
設定	メール受信時の動作など、PCメール全般の設定やアカウントごとに設定します。
クイック返信を挿入	クイック返信を選択し、本文に挿入します。

※メニューに表示される項目は、設定によって異なります。

PCメールを受信する

1 PCメールを受信
PCメールを受信するとステータスバーに「✉」が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 PCメールの情報を選択
受信トレイ画面が表示されます。
1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。

4 受信したPCメールを選択
受信メール内容表示画面が表示されます。

memo

◎ アカウントの設定で「メール着信通知」(▶P.49)をオンに設定していない場合は、ステータスバーに通知されませんので、ご注意ください。

添付ファイルを保存する

1 受信メール内容表示画面→添付ファイルの右にある[⋮]

2 [保存]
添付ファイルは、内部ストレージに保存されます。
• 画像ファイルの場合は、ファイルをタップ→拡大表示された画面で[⋮]→「保存」をタップします。
• 保存された添付ファイルは「ギャラリー」(▶P.59)または「ファイル管理」(▶P.60)で確認できます。

memo

◎ 添付ファイルのあるメールは、受信トレイ画面に📎が表示されます。

メールを別のフォルダに移動する

1 受信トレイ画面→移動するメールをロングタッチ

2 [📁]→移動先のフォルダをタップ

memo

◎ 受信メール内容表示画面→[📁]→移動先のフォルダをタップ、と操作しても、メールを別のフォルダに移動できます。
◎ 登録したアカウントによっては、フォルダへの移動ができない場合があります。

PCメールを返信／転送する

1 受信トレイ画面→返信／全員に返信／転送するメールを選択

■送信者に返信する場合

2 「↩」

3 本文を入力

元のメールの本文を削除するには「元のメッセージ」を解除します。

4 [▶]

■全員に返信／転送する場合

2 「↩」の右側にある「⋮」をタップ→[全員に返信]／[転送]

3 本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。
「全員に返信」を選択した場合に、元のメールの本文を削除するには「元のメッセージ」を解除します。

4 [▶]

PCメールを削除する

1 受信トレイ画面→削除するメールをロングタッチ→[🗑]

- 複数件削除したい場合は、ロングタッチ後、削除したいメールを複数件ロングタッチ→[🗑]と操作してください。

memo

◎ 受信メール内容表示画面→[🗑]と操作しても、メールを削除できます。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送受信などができます。
- Gmailの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.20）をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

Gmailを起動する

1 アプリ一覧→[Gmail]

アカウント設定したGmailの受信トレイ画面が表示されます。
- [⋮]→[ラベルの設定]と操作すると、メールの同期と通知設定画面が表示されます。
- 画面の左端を右方向にスライドすると、受信トレイや送信トレイなどが一覧できるラベル画面が表示されます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリとサーバーのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→下方向にスライド

- 受信トレイ画面→[⋮]→[更新]と操作してもGmailを更新できます。

Gmailを送信する

1 アプリ一覧→[Gmail]

2 [✉]

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成します]→本文を入力

6 [▶]

Gmailを受信する

1 Gmailを受信

Gmailを受信すると、ステータスバーに「M」が表示され、メール受信音が鳴ります。

2 ステータスバーを下にスライド

3 メールの情報を選択

受信トレイ画面が表示されます。
1件受信の場合は、受信メール内容表示画面が表示されます。

4 受信したメールを選択

受信メール内容表示画面が表示されます。

Gmailを返信／転送する

1 アプリ一覧→[Gmail]

■送信者に返信する場合

2 返信するメールを選択→[↩]

3 本文を入力

4 [▶]

■全員に返信／転送する場合

2 全員に返信／転送するメールを選択→「↩」の右側にある「⋮」をタップ→[全員に返信]／[転送]

3 本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

4 [▶]

Gmailのメニューを利用する

Gmail受信トレイ画面や受信メール内容表示画面で、画面の一番上にある「⋮」をタップするとメニューが表示され、設定やヘルプなどの操作が行えます。

インターネット

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。
- パケット通信（LTE NET、LTE NET for DATA）（▶P.52「パケット通信を利用する」）
- Wi-Fi®（▶P.79「無線LAN（Wi-Fi®）機能」）

memo

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、アプリ一覧→［設定］→［その他...］→［モバイルネットワーク］→［au ネットワーク設定］→［接続サービスの設定］→［LTE NET for DATA］と操作します。

memo

◎ LTEフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auのホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリやGoogleサービスなどのアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/（auお客さまサポート）
- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面→［ブラウザ］
ブラウザ画面が表示されます。
お買い上げ時はAndroid向けの「auスマートパス」がホームページに設定されています。

memo

◎ 非常に大きなWebページをブラウザで表示した場合は、アプリが自動的に終了することがあります。

■ ブラウザ画面での基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます（Webページによっては操作できない場合があります）。
- タップ：リンクやキーを選択・実行できます。
- スライド／フリック：ページをスクロールできます。
- 2本の指を広げる／狭める：ページを拡大／縮小できます。

■ Webページ内のテキストをコピーする場合

1 ブラウザ画面→テキストをロングタッチ

2 「 」／「 」をドラッグして、テキストの範囲を選択

3 ［ ］（Copy）

4 貼り付け先の入力欄をロングタッチ→［貼り付け］
コピーしたテキストを貼り付けます。

Webページを移動する

ブラウザ画面の上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、Webサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ブラウザ画面→URL表示欄を選択

2 URL表示欄にキーワード／URLを入力→［実行］
- 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。

memo

◎ URL表示欄にキーワードを入力した場合、ブラウザ設定メニューの「検索エンジンの設定」で設定した検索エンジンで検索します（▶P.52）。
◎ クイックメニュー（▶P.52）をオンにしている場合、URL表示欄はブラウザ画面上部には表示されません。クイックメニューから表示してください。
◎ URL表示欄が表示されていない場合は、ブラウザ画面を下にスライドしてください。

ブラウザ画面のメニューを利用する

1 ブラウザ画面→［ ］

2

再読み込み／停止	表示中のサイトの情報を再読み込みします。読み込み中の場合は、読み込みを中止します。
進む	を押してサイトを表示した場合に、操作前に表示していたサイトに進みます。
ブックマークを保存	▶P.53「ブックマークに登録する」
ブックマーク	▶P.53「ブックマーク／履歴を利用する」
ページを共有	表示しているサイトのURLをメールなどで共有できます。
ページ内を検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ブラウザ終了	ブラウザを終了できます。
PC版サイト表示	パソコン用のサイトを表示します。
新規タブ	タブを追加します。
設定	ホームページの設定、プライバシー設定、セキュリティ設定、文字サイズや検索エンジンの設定、設定のリセットなどを行うことができます。

■ リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとメニューが表示され、リンクの保存、URLのコピーなどの操作が行えます。

クイックメニューを利用する

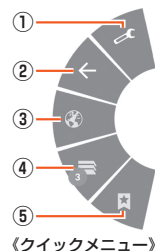
ブラウザ画面→［ ］→［設定］→［Labs］→［クイックメニュー］と操作すると、ブラウザ画面から新しいタブやブックマーク画面をすばやく表示できる「クイックメニュー」を利用できます。
クイックメニューは、ブラウザ画面の左端または右端から画面の中央に向けて指をスライドさせて表示し、サブメニューから項目を選択できます。

① **設定メニュー**
ブラウザ画面の設定メニューやパソコン用／スマートフォン用のサイトを表示します。

② **サイト移動メニュー**
前後のサイト移動や再読み込みします。

③ **URL表示欄**
別のサイトを現在のタブで表示、表示しているサイトの共有、ページ内のテキスト検索ができます。

④ **タブ一覧**
現在開いているタブの一覧表示、タブの追加、削除ができます。

⑤ **ブックマーク**
ブックマーク・履歴の表示、ブックマークの追加ができます。

《クイックメニュー》

ブックマーク／履歴を利用する

1 ブラウザ画面→[ ]

ブックマーク画面が表示されます。

- クイックメニュー（▶P.52）をオンに設定している場合は、クイックメニューから「 」を選択してください。

2 「ブックマーク」／「履歴」タブをタップ

3 利用するブックマーク／履歴を選択

memo

◎ ブックマーク画面→「履歴」タブをタップ→[ ]／[ ]と操作すると、選択した履歴をブックマークに追加／削除できます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 ブラウザ画面→[ ]→[ブックマークを保存]

ブックマーク登録画面が表示されます。

2 ラベルやアカウント先などの項目を入力→[OK]

ブックマーク／履歴画面のメニューを利用する

ブックマーク画面でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。
また、履歴画面で履歴をロングタッチすると、履歴からの消去やホームページとして設定するなどの操作が行えます。

ツール・アプリケーション

電話帳

電話帳には連絡先の各種情報が表示されます。

◎ 電話帳に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で電話帳が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎「アカウントの設定をする」（▶P.85）を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の電話帳を同期できます。（Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。）

連絡先を登録する

1 アプリ一覧→［電話帳］

電話帳一覧画面が表示されます。
連絡先が未登録の場合は、操作 2 で新規連絡先を登録してください。
アカウントが未登録の場合は、アカウントの登録を行ってください。アカウントが未登録でも「新しい連絡先を作成」をタップすると、新規連絡先の登録を行えます。

《電話帳一覧画面》

① **グループの名前**
画面左端の「≡👤」をタップするとグループの一覧を表示します。
「すべて」：すべての連絡先を表示

② **連絡先に登録された名前**
タップすると、連絡先画面が表示され、次の操作ができます。
- 「お気に入り」をタップすると、「☆」が「★」に変わり、連絡先をお気に入りに登録できます。
- 「編集」をタップすると、連絡先を編集できます（▶P.56）。
- 「📞」や「✉」などをタップすると、連絡先の表示項目が切り替わります。
- 「詳細表示」をタップすると詳細表示画面が表示されます。

③ **グループ**
タップするとグループの一覧を表示します。
- 「お気に入り」をタップすると、お気に入り一覧画面が表示され、お気に入りリストを確認できます。

④ **検索**
登録されている連絡先を検索します。

⑤ **メニュー**
メニューを表示します（▶P.57）。

⑥ **インデックスタブ**
上下にフリックすると、インデックスタブがスクロールされます。
タップして文字が表示された場合、その文字にスライドすると、選んだ文字から始まる連絡先が表示されます。
インデックスタブの表示位置は、お買い上げ時は「右側」に設定されています。メニューから「左側」に変更することもできます（▶P.57）。

⑦ **新規作成**
連絡先を登録します。

2 ［新しい連絡先を作成］→［本体に保存］／［アカウントを追加］

- 「アカウントにログイン」／「アカウントを追加」をタップした場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 「連絡先のインポート」をタップした場合は、「連絡先をインポート／エクスポートする」（▶P.57）をご参照ください。

3 必要な項目を入力

- 各項目をタップすると項目を入力できます。また「新しく追加」／「✕」をタップすると、項目を追加／削除できます。
- 「別のフィールドを追加」をタップすると、新しい項目を追加できます。
- 項目によっては、右側に表示されているラベル欄をタップすると、ラベルを変更できます。「カスタム」を選択すると、新しいラベル名を入力できます。

4 ［OK］

memo

◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「着信設定」は有効になりません。
◎ グループの一覧で「グループ作成」をタップすると新規グループの追加を行えます（▶P.56）。

連絡先から電話をかける

1 電話帳一覧画面→電話をかける連絡先をタップ

2 ［電話］

連絡先を編集／削除する

連絡先を編集する

1 編集する連絡先の連絡先画面／詳細表示画面→［編集］

連絡先編集画面が表示されます。

2 項目を選択して編集

3 ［OK］

連絡先を削除する

1 削除する連絡先の詳細表示画面→［この連絡先を削除する］→［OK］

- 電話帳一覧画面→［メニュー］→［削除］→削除する連絡先をタップ→［削除］→［OK］と操作しても、連絡先を削除できます。

◎ 本体の空き容量が少ないと、連絡先の編集／削除ができない場合があります。ご注意ください。

グループを設定する

連絡先をグループに登録できます。
- 「アカウントの設定をする」（▶P.85）を利用して、アカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 電話帳一覧画面→［グループ］→［グループ作成］

- 「登録先」メニューが表示された場合は、使用するアカウントを選択してください。

2 グループに登録する連絡先をタップ→［OK］

3 グループの名前を入力→［OK］

memo

◎ グループの編集は、電話帳一覧画面→［グループ］→［編集］→グループを選択して行うことができます。「グループの着信設定」なども設定できます。
◎ 相手の方から電話番号の通知がない場合は、「グループの着信設定」は有効になりません。
◎ 個別の連絡先に「着信設定」が設定されている場合は、そちらが優先されます。
◎ グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。
◎ グループを並べ替えるには、グループの一覧→［編集］→グループをロングタッチ→移動する位置へドラッグし、指を離す→［編集を終了］と操作します。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先を内部ストレージ／microSDメモリカードからインポート／エクスポートできます。
- 連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている連絡先をインポートします。

■ ご購入後、初めてインポートする場合

1 **アプリ一覧→[電話帳]**

2 **[連絡先のインポート]→[内部ストレージからインポート]／[SDカードからインポート]**

■ 既に電話帳に連絡先が登録済みの場合

1 **電話帳一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]**

2 **[内部ストレージからインポート]／[SDカードからインポート]**
アカウントを登録している場合は、登録先を選択する画面が表示されます。登録先を選択してください。

3 **インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)をタップ→[OK]**
連絡先ファイルの選択画面→[すべて選択]→[OK]と操作すると、すべての連絡先ファイルをインポートできます。

エクスポートする

microSDメモリカードへエクスポートします。

1 **電話帳一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]**

2 **[SDカードにエクスポート]**
連絡先の選択画面が表示されます。

3 **エクスポートする連絡先をタップ→[OK]→[OK]**
連絡先の選択画面→[すべて選択]→[OK]→[OK]と操作すると、すべての連絡先をエクスポートできます。

連絡先をauサーバに保存・同期する

1 **電話帳一覧画面→[メニュー]→[インポート／エクスポート]**

2 **[電話帳をauサーバに保存・同期]**
Friends Note画面(▶P.64「Friends Noteを利用する」)が表示されます。

連絡先のメニューを利用する

■「メニュー」で表示されるメニューについて

電話帳一覧画面／詳細表示画面で「メニュー」をタップするとプロフィールの表示や連絡先の削除、インポート／エクスポート、インデックスタブの表示位置などの表示設定が操作できます。

■ ロングタッチで表示されるメニューについて

連絡先画面／詳細表示画面で、電話番号・メールアドレスなどをロングタッチすると、クリップボードにコピーなどの操作ができます。

カメラ

本製品に搭載されているカメラ機能を使って、静止画の撮影や動画の録画、バーコードの読み取りなどを行えます。

カメラを利用する

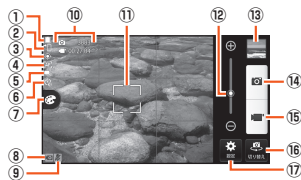
本製品は有効画素数約800万画素のCMOSアウトカメラと約200万画素のCMOSインカメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。
電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前にはめがね拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。ストラップが撮影の邪魔になる場合は、ストラップを手で固定してから撮影してください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。
  特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。
  また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- 撮影ライトを目に近づけて点灯させないでください。撮影ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、静止画撮影時にシャッター音が鳴ります。動画録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

撮影画面の見かた

1 **［カメラキー］(1秒以上長押し)**

- ホーム画面→［カメラ］と操作しても「カメラ」を起動できます。

《モニター画面》

① **電池残量**
電池残量を表示します。

② **保存先**
設定している保存先を表示します。
(内部ストレージ)、(SDカード)

③ **位置測位中/位置情報付加**
(位置測位中)　(測位成功)　(測位失敗)

④ **シーン別撮影/フォーカス**
(人物)、(風景)、(夜景+人物)、(夜景)、(アクション)
シーン別撮影を「標準」に設定している場合は、フォーカス設定のアイコンが表示されます。
(コンティニュアスAF)、(顔検出)、(マクロ)

⑤ **モード**
(連写撮影)、(背景ぼかし撮影)、(クイック撮影)

⑥ **セルフタイマー**
セルフタイマーを設定しているときに表示されます。アイコンの右下に設定した秒数が表示されます。

⑦ **エフェクト**
モードを「エフェクト」に設定しているときに表示されます。
- 設定しているエフェクトによっては調整バーが表示され、エフェクトの効果を調整できます。

⑧ **インターバル録画**
「インターバル録画」を設定しているときに表示されます。

⑨ **ミュート**
ミュートに設定しているときに表示されます。

⑩ **撮影可能残り枚数/録画可能時間**

⑪ **オートフォーカス枠**
タッチオートフォーカスでオートフォーカスしたときに表示されます。
※操作やカメラの状態によって表示が異なる場合があります。

⑫ **ズームバー**
画面上で2本の指を広げたり狭めたり［＋｜－］を押したりするとズームバーが表示され、ズームを調整できます。

⑬ **直前に撮影/録画したデータ**
直前に撮影/録画したデータのサムネイルを表示します。タップするとデータを確認できます(▶P.59「静止画や動画を再生する」)。

⑭ **撮影(シャッター)**

⑮ **録画/停止**

⑯ **インカメラ/アウトカメラ切り替え**

⑰ **設定**
カメラを設定します(▶P.58「撮影前の設定をする」)。

撮影前の設定をする

1 **モニター画面→［設定］**
カメラ設定画面が表示されます。

2

項目		説明
モード		▶P.59「撮影モードを切り替える」
シーン		シーン別撮影を選択します。選択したシーンに最適な撮影条件が設定されます。 「標準」「人物」「風景」「夜景+人物」「夜景」「アクション」
セルフタイマー		セルフタイマーを設定します。設定した秒数が経過した後、静止画を撮影します。 「Off」「3秒」「5秒」「10秒」 • カウントダウン中は音でお知らせします。 • カウントダウン中に［カメラキー］/［撮影］と操作すると、カウントダウンを中止して撮影を開始します。
フラッシュ		撮影ライトを設定します。 「オート」「On」「Off」
その他	撮影サイズ	静止画の撮影サイズを設定します。 適切なサイズを選択します。
	録画サイズ	動画の録画サイズを設定します。 適切なサイズを選択します。
	フォーカス設定	フォーカスを設定します。 「コンティニュアスAF」「顔検出」「マクロ」「無限遠」
	測光	測光を設定します。 「中央重点」「平均」「スポット」
	輝度	輝度を設定します。 「オート」「マニュアル」
	コントラスト	コントラストを設定します。 「オート」「マニュアル」
	手振れ補正	手振れ補正のオン/オフを切り替えます。
	ホワイトバランス	被写体を自然な色合いで静止画/動画撮影できるように、白を基準とした色の調整ができます。 「オート」「太陽光」「曇り」「白熱灯」「蛍光灯」
	ISO	ISOを設定します。 「オート」「100」「200」「400」「800」
	オートレビュー	オートレビューを設定します。 「Off」「2秒」「無制限」
	目つむり検出	目つむり検出のオン/オフを切り替えます。
	画質	画質を設定します。 「スーパーファイン」「ファイン」「通常撮影」
	カメラキー	カメラキーの動作を設定します。 「静止画撮影」「動画録画」
	位置情報	位置情報の記録のオン/オフを切り替えます。
	撮影補助ライン	撮影補助ラインを設定します。 「Off」「グリッド」
	インターバル録画	インターバル録画時の撮影間隔時間を設定します。 「Off」「1秒」「1.5秒」「2秒」「2.5秒」「3秒」「5秒」「10秒」
	録音	ミュートを設定します。 「ミュート解除」「ミュート」
	保存先	保存先を設定します。 「内部ストレージ」「SDカード」
	初期設定に戻す	カメラの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

memo

◎ フラッシュを「On」に設定すると、静止画の撮影時や動画の録画時に撮影ライトが点灯します。フラッシュを「オート」に設定した場合は、静止画の撮影時や動画の録画時に、周囲が暗い場合のみ撮影ライトが点灯します。

静止画／動画を撮影する

1. [カメラ]（1秒以上長押し）
   モニター画面が表示されます。

■静止画を撮影する場合

2. [カメラ]／[撮影]
   画面をタップするとフォーカス位置を調節できます。
   撮影したデータは自動的に保存されます。

■動画を録画する場合

2. [録画]
   録画が開始されます。
   「録画」が表示されていないときは、動画の録画はできません。
   録画中に[撮影]と操作すると、静止画を撮影できます。
3. [停止]
   録画が停止します。録画したデータは自動的に保存されます。

memo

◎ モニター画面で約2分間何も操作しないと、カメラが終了します。
◎ 常時、オートフォーカスが動作し、自動でピントを合わせるコンティニュアスAF機能を搭載しておりますが、被写体によっては、ピントが合うまでに時間がかかる場合があります。
◎ 撮影モードを「スマイルシャッター」にし、セルフタイマー撮影を行った場合、カウントダウン終了後に笑顔を検出して、自動的に撮影します。
◎ 録画中は送話口（マイク）でのみ、録音できます。

■撮影モードを切り替える

1. モニター画面→[設定]→[モード]
2.

項目	説明
通常撮影	最適な設定で静止画／動画を撮影します。
エフェクト	エフェクト効果を設定します。
連写撮影	静止画を連写撮影できます。
パノラマ撮影	パノラマ写真を撮影できます。
スマイルシャッター	撮影対象の笑顔を検出して、自動的に静止画を撮影します。フォーカスは「顔検出」に設定されます。
HDR	露出レベルの異なる複数の写真を1枚に合成します。
背景ぼかし撮影	撮影対象の背景をぼかして静止画を撮影します。
クイック撮影	モニター画面で[カメラ]／[撮影]と操作した瞬間に静止画を撮影します。

バーコードリーダーを利用する

バーコードリーダーでバーコードやQRコードを読み取ることができます。読み取った内容は、ウェブサイト表示や電話帳・メールの作成などに利用できます。JANコードとQRコードの読み取りに対応しています。

1. アプリ一覧→[バーコードリーダー]
   初めて起動したときは、利用規約などが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

ギャラリー

microSDメモリカードに保存されている静止画や動画などを閲覧したり、簡単な編集を行ったりすることができます。
再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」（▶P.100）をご参照ください。

静止画や動画を再生する

1. アプリ一覧→[ギャラリー]
   アルバム一覧画面が表示されます。
   「[カメラ]」をタップするとカメラを起動できます。
   「アルバム」をタップすると、アルバム以外のカテゴリーに切り替えることができます。
2. アルバムをタップ
   データ一覧画面が表示されます。
3. 再生する静止画や動画をタップ
   静止画や動画のデータ再生画面が表示されます。

memo

◎ 静止画のデータ再生画面で[メニュー]→[スライドショー]と操作すると、スライドショーを開始します。

ギャラリーのメニューを利用する

■アルバム一覧画面のメニューを利用する

1. アルバム一覧画面→[メニュー]
2.

項目	説明
アルバムを選択	選択したアルバムの共有や削除が行えます。
グループの選択	選択したグループの共有や削除が行えます。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

■データ一覧画面／データ再生画面のメニューを利用する

1. データ一覧画面／データ再生画面→[メニュー]
2.

項目	説明
削除	静止画や動画を削除します。
スライドショー	スライドショーを開始します。
項目を選択	複数の画像を選択できます。
グループ化	「場所」「時刻」でグループ分けします。
編集	静止画を編集します。
左に回転	静止画を左に回転させます。
右に回転	静止画を右に回転させます。
トリミング	静止画をトリミングします。
登録	登録可能なアプリを選択します。
トリム	動画の再生時間をトリミングします。
ミュート	動画の音を削除して保存します。
キャプション	動画に字幕を追加します。
詳細情報	静止画や動画の詳細情報を表示します。
地図に表示	静止画の位置情報をマップで表示します。
印刷	静止画を印刷します。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

音楽を聴く

音楽やプレイリストなどを視聴できます。再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」（▶P.100）をご参照ください。

音楽データを再生する

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されたコンテンツをカテゴリー別に表示して再生できます。

• 音楽再生中に「SDカードのマウント解除」（▶P.84）は行わないでください。

音楽を再生する

1 アプリ一覧→［Playミュージック］

• 初めてPlayミュージックを起動した場合はアカウントの選択画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 ［☰］→［Listen Now］／［マイライブラリ］／［プレイリスト］

アイテムのリスト画面が表示されます。

• 初めて「Listen Now」画面を表示した場合は、「Listen Nowへようこそ」が表示されます。閉じるには「OK」をタップしてください。
• 「マイライブラリ」をタップした場合は、カテゴリー（タブ）を選択します。「曲」タブを選択した場合は、操作 4 に進みます。

3 アイテムをタップ

4 曲をタップ

◎ 音量は、［＋］［－］で調節します。

曲や曲に関連する情報を検索する

内部ストレージ／microSDメモリカードに保存されている曲を検索したり、曲に関連する情報を検索することができます。

1 アプリ一覧→［Playミュージック］

2 ［🔍］→検索する曲の情報を入力→表示された検索結果をタップ

プレイリストを作成する

1 アプリ一覧→［Playミュージック］

2 アルバム／曲の「⋮」をタップ→［プレイリストに追加］→［新しいプレイリスト］

3 プレイリスト名を入力→［OK］

memo

◎ プレイリストに曲を追加するには、アプリ一覧→［Playミュージック］→曲の「⋮」をタップ→［プレイリストに追加］→プレイリストを選択、と操作します。

◎ プレイリストを削除するには、アプリ一覧→［Playミュージック］→［☰］→［プレイリスト］→プレイリストの「⋮」をタップ→［削除］→［OK］と操作します。なお、曲は削除されません。

ビデオを再生する

Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を再生したりできます。

• ビデオの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.20）をご参照ください。

1 アプリ一覧→［Playムービー&TV］

2 再生する動画をタップ

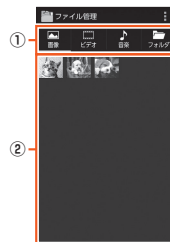
動画再生画面が表示され、動画が再生されます。

ファイルを一覧で表示する

ファイル管理は、データをカテゴリー別に一覧表示し、再生することができます。

データを再生する

1 アプリ一覧→［ファイル管理］

データ表示画面が表示されます。

《データ表示画面》

① カテゴリー

タップすると、選択したカテゴリーのデータをデータ表示エリアに表示します。

※画面に表示しきれていないカテゴリーがある場合は、左右にフリックすると他のカテゴリーを表示できます。

画像：すべての画像データを表示します。

ビデオ：すべての動画データを表示します。

音楽：すべての音／音楽データを表示します。

フォルダ：microSDメモリカード内をフォルダ階層ごとに表示します。

② データ表示エリア

データの一覧を表示します。エリアを左右にフリックするとカテゴリーを切り替えることができます。

データをロングタッチすると、データの共有や削除、ファイル名やフォルダ名の編集、壁紙や着信音への登録、詳細情報の確認などの操作ができます。

2 データを選択

データの種別に応じたアプリが起動し、データが再生されます。

再生するアプリが複数存在する場合、「アプリケーションを選択」メニューが表示される場合があります。アプリを選択すると再生されます。

◎ 表示されるデータの中には、再生できないものもあります。

データ表示画面のメニューを利用する

ファイル管理から、データの共有や削除、登録などさまざまな操作ができます。

■「⋮」をタップして表示されるメニューについて

データ表示画面で「⋮」をタップすると、データの並び替えや検索、削除、ストレージ容量の確認、最新情報に更新などの操作ができます。

memo

◎ 著作権保護されたデータは、登録データとして利用できないことがあります。

データをコピー／移動する

1 データ表示画面→［フォルダ］→バックアップするフォルダ／ファイルを選択

2 コピー／移動するフォルダ／ファイルをロングタッチ→［コピー］／［移動］

3 コピー／移動先のフォルダを選択→［ここにコピー］／［このフォルダに移動］→［OK］

上書き確認のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

おサイフケータイ®

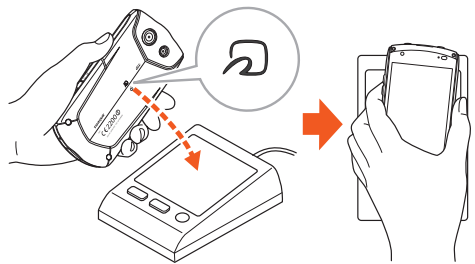
おサイフケータイ®とは

おサイフケータイ®とはNFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用いた、電子マネーやポイントなどのサービスの総称です。
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。FeliCaを含む非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（R/W）、機器間通信（P2P）機能などが本製品でご利用いただけます。おサイフケータイ®を利用したサービスによっては、ご利用になりたいサービスプロバイダのおサイフケータイ®対応アプリをダウンロードする必要があります。
おサイフケータイ®対応サービスのご利用にあたっては、au電話に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカード（micro au ICカード、au Micro IC Card (LTE)、au Nano IC Card (LTE)を含む）へ、サービスのご利用に必要となるデータを書き込む場合があります。
なお、ご利用にあたっては、「おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意」（▶P.106）をあわせてご参照ください。

おサイフケータイ®ご利用にあたって

- 本製品の紛失には、ご注意ください。ご利用いただいていたおサイフケータイ®対応サービスに関する内容は、サービス提供会社などにお問い合わせください。
- 紛失・盗難などに備え、おサイフケータイ®のロックをおすすめします。紛失・盗難・故障などによるデータの損失につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 各種暗証番号およびパスワードにつきましては、お客様にて十分ご留意のうえ管理をお願いいたします。
- ガソリンスタンド構内などの引火性ガスが発生する場所でおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。おサイフケータイ®をロックされている場合はロックを解除したうえで電源をお切りください。
- おサイフケータイ®対応アプリを削除するときは、各サービスの提供画面からサービスを解除してから削除してください。
- FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行うことはできません。携帯電話の故障・修理の場合は、あらかじめお客様にFeliCaチップ内のデータを消去していただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。データの消去の結果、お客様に損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消失してしまっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。万一消失してしまった場合の対応は、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件などについては、各サービス提供会社にご確認、お問い合わせください。
- 各サービスの提供内容や対応機種は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 対応機種によって、おサイフケータイ®対応サービスの一部がご利用いただけない場合があります。詳しくは、各サービス提供会社にお問い合わせください。
- 電話がかかってきた場合や、アラームの時刻になるとおサイフケータイ®対応アプリからのFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの読み書きが中断され、読み書きがされない場合があります。
- 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®がご利用いただけない場合があります。
- おサイフケータイ®対応アプリ起動中は、おサイフケータイ®によるリーダー／ライターとのデータの読み書きができない場合があります。
- 次の場合は、おサイフケータイ®を利用できません。ただし、リーダー／ライターにかざしてのデータのやりとりは可能です。
  - 機内モード中
  - 一度も電波を受けていない場合
  - 海外ローミング時に充電またはmicroUSBケーブル01（別売）やイヤホンなどのケーブル類を接続している場合
- au ICカードが正常に挿入されていない場合やau ICカードが取り外された場合、おサイフケータイ®対応サービスおよびNFC機能がご利用いただけないことがあります。

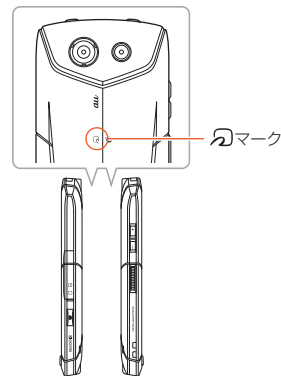
リーダー／ライターとやりとりする

マークをリーダー／ライターにかざすだけで、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのやりとりができます。

- マークをリーダー／ライターにかざす際に強くぶつけないようにご注意ください。
- マークはリーダー／ライターの中心に平行になるようにかざしてください。
- マークをリーダー／ライターの中心にかざしても読み取れない場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークとリーダー／ライターの間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。
- マークを強い力で押さないでください。通信に障害が発生するおそれがあります。

memo

◎ おサイフケータイ®対応アプリを起動せずに、リーダー／ライターとのデータの読み書きができます。

他の携帯電話とデータをやりとりする

NFC機能（Android Beam）を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- 2台の携帯電話を平行にしてマークを重ね合わせ、送受信が終了するまで動かさないようにしてください。マークを重ね合わせても通信ができない場合は、携帯電話を少し浮かす、または前後左右にずらしてください。
- 送受信の操作や送受信されるデータについては、対応するアプリの動作に依存します。画面の指示に従って操作してください。
- マークを重ね合わせても、送受信に失敗する場合があります。失敗した場合は、送受信の操作を再度行ってください。
- NFC機能を利用した送受信を行う場合は、「Android Beam」を有効にしてください。

おサイフケータイ®の機能を設定する

1 **アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[NFC／おサイフケータイ設定]**

2

NFC／おサイフケータイロック	おサイフケータイ®の機能をロック／解除します。 • [次へ]→ロックNo.を入力→[次へ]→[OK]と操作すると、おサイフケータイ®機能のロックが設定／解除されます。
Reader/Writer, P2P	▶P.62「NFC機能を有効にする」
Android Beam	Android Beam(Reader/Writer, P2P機能)を利用したデータ通信ができます。 • Android Beamについては、「Android Beamでデータを送受信する」(▶P.62)をご参照ください。
NFC／おサイフケータイロックNo.変更	「NFC／おサイフケータイロック」のロックNo.を変更します。 • ロックNo.を入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると変更できます。
NFC／おサイフケータイロックNo.初期化	「NFC／おサイフケータイロック」のロックNo.を忘れた場合は、PINロック解除コードを利用してロックNo.を再設定できます。 • [OK]→PINロック解除コードを入力→[次へ]→新しいロックNo.を入力→[次へ]→再度新しいロックNo.を入力→[OK]と操作すると再設定できます。

memo

◎ PINロック解除コードについて詳しくは、「PINコードについて」(▶P.11)をご参照ください。

「NFC／おサイフケータイロック」について

◎「NFC／おサイフケータイロック」を有効にしている場合は、おサイフケータイ®をご利用できません。

◎「NFC／おサイフケータイロック」ご利用中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイロック」が解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後に「NFC／おサイフケータイロック」を解除してください。

◎ ロックNo.はau Nano IC Card (LTE)に保存され、本製品から取り外してもau Nano IC Card (LTE)内に保持されます。ロックNo.について詳しくは、「ご利用いただく各種暗証番号について」(▶P.11)をご参照ください。

◎ おサイフケータイ®をロックすると、ステータスバーに「 」が表示されます。

NFCを利用する

NFC機能を有効にする

NFCリーダー／ライター機能を利用したNFCカードの読み書きができます。

1 **アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[NFC／おサイフケータイ設定]→「Reader/Writer, P2P」を選択**

- NFC機能が有効になると、ステータスバーに「 」が表示されます。
- 非接触ICカード機能は、NFC機能の有効／無効にかかわらず利用できます。

Android Beamでデータを送受信する

NFC機能を搭載した携帯電話との間でデータを送受信できます。

- Android Beamでデータを送受信するには、あらかじめ「Reader/Writer, P2P」を有効にし、「Android Beam」を「ON」に設定しておいてください。
- すべてのNFC機能を搭載した携帯電話との通信を保証するものではありません。

データを送信する

例：電話帳を1件送信する場合

1 **アプリ一覧→[電話帳]→連絡先を選択→[詳細表示]**

2 **受信側の端末と、マークを向かい合わせる**

初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

3 **画面をタップ**

データを受信する

1 **送信側の端末と、マークを向かい合わせる**

◎ アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。

◎ 通信に失敗した場合は、本製品を少し浮かす、または前後左右にずらしてもう一度かざしてください。

NFCメニューを利用する

NFCサービスに対応するアプリの一覧表示やNFCロックの設定などのほか、各種設定を行うことができます。

1 **アプリ一覧→[NFCメニュー]**

NFCメニュー画面が表示されます。
NFCサービスに対応したアプリが表示されます。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 **アプリを選択**

NFCメニュー画面のメニューを利用する

1 **NFCメニュー画面→[ ]**

2

サービス一覧更新	登録しているサービスの情報を更新します。	
NFCポータルサイト	ブラウザを起動してNFCポータルサイトを表示します。	
NFCロック	「NFC／おサイフケータイロック」などの設定を行います。 • 詳しくは「おサイフケータイ®の機能を設定する」(▶P.62)をご参照ください。	
ヘルプ	NFCメニューのヘルプを表示します。	
設定	表示タイプ変更	NFCメニュー画面の表示タイプを設定します。
	カテゴリータイプ変更	カテゴリーの表示方法を横方向／縦方向に切り替えます。
	配色変更	NFCメニュー画面の色を設定します。
	アニメーション	NFCメニュー画面をアニメーションするかどうかを設定します。
	利用規約	NFCメニューの利用規約を表示します。
決済カード設定	決済するカードを設定します。	
サービス移行支援	NFCサービスの移行情報を、他の端末に送受信できます。	

NFCタグリーダーを利用する

NFCタグの読み込みやデータ書き込みを行えます。またデータ読み取り後、その情報に応じた動作をします。

1 **アプリ一覧→[NFCタグリーダー]**

NFC機能が無効に設定されている場合は、注意画面が表示されます。画面の指示に従って操作して、NFC機能を有効にしてください。
初回起動時は、許可画面や利用規約画面、自動起動設定画面などが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2

Share	NFC機能を持つ相手側の機器との間で電話帳などの各種データを送受信します。
Writing	NFCタグに書き込む情報を設定し、NFCタグにかざして書き込みます。
History	NFC機能の利用履歴を表示します。
Setting	NFC SettingやApp Settingを行います。 • NFC Settingについて詳しくは「おサイフケータイ®の機能を設定する」(▶P.62)をご参照ください。 • App Settingを設定すると、自動起動、メインカラー選択、効果音、NFCタグ認識音、NFCタグ書き込み音、バイブレーションの設定や、利用規約の確認ができます。

NFCデータをやりとりする

本製品背面のマークをリーダー／ライターにかざしたり、NFC機能を持つ機器間同士でマークを近づけたりすることで、NFCデータのやりとりができます。

FeliCaに対応したサービスを利用する

利用方法などの詳細については、アプリ一覧→[おサイフケータイ]→[⋮]→[サポートメニュー]→[操作ガイド]と操作しておサイフケータイ アプリ操作ガイドをご参照ください。

1 アプリ一覧→[おサイフケータイ]

おサイフケータイ アプリが起動します。

確認画面や初期設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 [おすすめ]→サービスを選択

表示されたショートカット、またはサービス紹介サイトから、ご利用になりたいサービスを選択してください。

- サービスによっては初期登録が必要です。画面の指示に従って操作してください。

memo

◎「ロック設定」をタップすると、NFC/おサイフケータイ設定画面(▶P.62)が表示され、「NFC/おサイフケータイロック」の設定などを行うことができます。

■ おサイフケータイ アプリのメニューを利用する

1 アプリ一覧→[おサイフケータイ]→[⋮]

2

項目		説明
表示形式切替		表示モードを切り替えます。
サービス表示情報更新		サービス表示情報を最新の状態に更新します。
メモリ使用状況		FeliCaチップのメモリ使用状況を確認します。
サポートメニュー	おサイフケータイ アプリ ご利用規約	おサイフケータイ アプリの利用規約を表示します。
	電子マネー残高表示機能 ご利用条件	電子マネー残高表示機能の利用条件を表示します。
	バージョン情報	利用中のバージョンを確認します。
	操作ガイド	おサイフケータイ アプリの操作ガイドを表示します。
	設定リセット	サービス表示情報をリセットします。 • おサイフケータイ®のアプリやデータは削除されません。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

Androidアプリ

Google Playを利用すると、便利なアプリやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリや本製品と互換性がないアプリを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

Google Playを利用する

Google Playは、Googleのサービスです。

- Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。
- ダウンロードするアプリやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリ一覧ではその区別が明示されています。有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」(▶P.63)でご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- アプリによっては、microSDメモリカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールされているアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリを検索し、インストールする

1 ホーム画面→[Playストア]

Playストア画面が表示されます。

- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

■ 有料のアプリを購入するときは

アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。
  過去に一度購入したアプリに対して返金請求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてお困りのときや質問がある場合は、Google Play画面左上の「≡」をタップ→[ヘルプ]と操作します。アプリを選択すると、Google PlayヘルプWebページに進みます。

アプリを管理する

インストールされたアプリを表示したり、設定を調整したりできます。

提供元不明のアプリのダウンロード

提供元不明のアプリをダウンロードする前に、本製品の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリは発行元が不明な場合もあります。お使いの本製品と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 アプリ一覧→［設定］→［セキュリティ］→「提供元不明のアプリ」を選択

2 注意文を確認→［OK］

インストールされたアプリを削除する

インストールされたアプリを削除する前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。
• アプリによっては削除できないものもあります。

1 アプリ一覧→［設定］→［アプリ］
アプリ管理画面が表示されます。

2 「ダウンロード済み」タブをタップ→削除するアプリをタップ

3 ［アンインストール］

4 ［OK］

memo

◎ Google Playからダウンロード、インストールしたアプリはすべてアンインストールすることができます。
◎ アプリ内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ管理画面→データを消去するアプリをタップ→［データを消去］→［OK］と操作します。
◎ アプリのキャッシュを消去する場合は、アプリ管理画面→キャッシュを消去するアプリをタップ→［キャッシュを消去］と操作します。
◎ アプリを強制終了／無効にする場合は、アプリ管理画面→強制終了／無効にするアプリをタップ→［強制停止］／［無効にする］→［OK］と操作します。無効にしたアプリがある場合は「無効」タブが表示され、タップすると無効となっているアプリの一覧が表示されます。

ダウンロードしたアプリを表示する

1 アプリ管理画面→「ダウンロード済み」タブをタップ
ダウンロードしたアプリの一覧が表示されます。
• 「すべて」タブをタップするとすべてのアプリの一覧が表示されます。

2 確認するアプリをタップ

memo

◎ 「auスマートパスを利用する」（▶P.71）の［アプリ］→［マイアプリ］からも、ダウンロードしたアプリを表示できます。

YouTube

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリー別表示、撮影した動画のアップロードができます。

YouTubeを利用する

1 アプリ一覧→［YouTube］
利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 再生する動画を選択

memo

◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。
◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→［⋮］→［ヘルプ］と操作してご確認ください。

Facebookを利用する

Facebookを利用して、メッセージの投稿や閲覧などができます。
• Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。
http://www.facebook.com/

1 アプリ一覧→［Facebook］

2 電話番号またはメールアドレスを入力→パスワードを入力→［ログイン］
アカウントをお持ちではない場合は「Facebookに登録」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

Friends Noteを利用する

Friends Noteは、au携帯電話からのアドレス帳移行やサーバーへのバックアップもできる安心・便利なアドレス帳です。また、Facebook・TwitterなどのSNSの友人をアドレス帳で一元管理できます。
• Friends Noteを利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、「au IDを設定する」（▶P.20）をご参照ください。

1 アプリ一覧→［Friends Note］
初めて起動したときはFriends Noteの紹介画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

Googleサービス

ハングアウトやマップ、カレンダーなどGoogleが提供するアプリを利用することができます。

ハングアウトを利用する

ハングアウトは、Googleのインスタントメッセージサービスです。
ハングアウトを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。
• ハングアウトの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.20）をご参照ください。

ハングアウトにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 アプリ一覧→［ハングアウト］
Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。
• 初めて起動したときはSMSの利用に関するメッセージが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ ハングアウトの詳細については、ハングアウトの画面→［⋮］→［ヘルプとフィードバック］と操作して確認してください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

1 アプリ一覧→[マップ]

Googleマップ画面が表示されます。
メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎ Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめデータ通信/GPS機能を有効にする必要があります。
◎ 指定のACアダプタ、microUSBケーブル01(別売)、ワイヤレス充電台01(別売)による充電中は、電流による磁気が影響し、地磁気センサーが正常に動作しないことがあります。ケーブル類やワイヤレス充電台01(別売)から外してご使用ください。
◎ 方位計は、地球の微小な磁場を感知して方位を算出しています。以下の場所では、計測の障害になったり、誤差が大きく発生したりする場合がありますので、それらがない場所に移動してから計測してください。
-建物(特に鉄筋コンクリート造り)、大きな金属の物体(電車、自動車)、高圧線、架線など、金属(鉄製の机、ロッカーなど)、家庭電化製品(テレビ、パソコン、スピーカーなど)、永久磁気(磁気ネックレスなど)
◎ 地磁気の弱い場所では方位計測に影響する場合があります。
◎ 以下の場合は、方位計測の精度に影響を及ぼすおそれがあります。
-方位計の起動直後や、本製品を強い磁力に近づけた場合
-急激な温度変化を伴う環境に長時間置いた場合
-本製品が磁気を帯びた場合
◎ Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

ストリートビューを表示する

地図から実際の景色を表示できます。

1 Googleマップ画面→表示する地点をロングタッチ

2 地点情報をタップ→[ストリートビュー]

ストリートビュー画面が表示されます。

興味のある場所を検索する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄に検索する場所を入力

2 [ ]

検索した場所が表示されます。
地点情報をタップすると、検索した場所の詳細情報が表示されます。

周辺のスポットを確認する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄をタップ

2 カテゴリーをタップ

マップ画面に「 」が表示され、画面下部に検索した場所の名前などの地点情報が表示されます。
- 「周辺のスポット」の場合は検索結果一覧が表示されます。目的の情報をタップするとマップ画面に「 」が表示されます。画面上部の「周辺のスポット」をタップすると、検索結果一覧に戻ります。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 Googleマップ画面→[ ]

2 [ ](車)/[ ](公共交通機関)/[ ](徒歩)

3 「目的地を入力...」に目的地を入力→[ ]

経路の一覧が表示されます。画面上部には出発地・目的地の情報、画面下部には経路情報が表示されます。
- 「現在地」をタップすると、出発地を入力できます。
- 「⇅」をタップすると、現在地と目的地を入れ替えることができます。
- 移動方法や経路などを変更する場合は、画面上部の出発地・目的地の情報をタップし、経路の候補一覧を表示してください。必要に応じて「出発時刻」や「オプション」、「経路オプション」をタップして、日付と時刻の編集や経路オプションを変更することもできます。

4 道案内を取得する

目的地への道案内が表示されます。
- 移動方法に車または徒歩を選択した場合は、画面下部の「ナビ開始」をタップすると道案内が開始されます。画面下部の経路情報をタップすると、経路を文字情報で確認できます。
- 移動方法に公共交通機関を選択した場合は、画面下部の経路情報をタップすると経路を確認できます。

カレンダーを利用する

カレンダーを1日、1週間、1ヶ月で表示することができます。
- カレンダーのイベント/タスクの作成等を利用するにはExchangeアカウント/Googleアカウントのいずれかが必要です。初回利用時にはGoogleアカウント設定画面が表示されます。アカウント未設定時には、アカウント追加画面が表示され、Exchangeアカウントの場合は「Microsoft Exchange ActiveSync」、Googleアカウントの場合は「Google」を選択します。Exchangeアカウントの設定については、画面の指示に従って操作してください。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。
- 「アカウントと同期」を利用して、サーバーに保存されたカレンダーと本製品のカレンダーを同期できます。

1 アプリ一覧→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

memo

◎ カレンダー画面左上部の暦をタップ→[日]/[週]/[月]/[予定リスト]/[タスク]と操作すると、カレンダーの表示を1日表示/1週間表示/1ヶ月表示/予定リスト/タスク表示に切り替えることができます。
◎ カレンダー画面で「 」をタップすると、イベントやタスクを検索できます。

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[＋]

新規作成画面が表示されます。

2 [イベント]/[タスク]

- タスクを利用するには、Exchangeアカウントの設定が必要です。

3

	予定の色を選択します。
カレンダー名/アカウント名	複数のカレンダーを設定している場合、予定を登録するカレンダーを選択します。
タイトル/タスク名	予定のタイトル/タスク名を入力します。
場所	イベントの場所を入力します。
開始	イベントの開始日時と終了日時を設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。
終了	
終日	イベントを終日に設定します。
日本標準時(タイムゾーン)	タイムゾーンを設定します。
ゲスト	登録するイベントに招待する人のメールアドレスを入力します。 • 「,」で区切って、複数入力できます。 • イベントの登録が完了すると、入力した宛先にイベントデータを添付したメールが送信されます。
説明	予定の内容などを入力します。
期限	タスクの期限を設定します。
期限なし	タスクを期限なしに設定します。
繰り返し	予定の繰り返しを指定します。
通知	イベント開始日時からどのくらい前に通知するかを設定します。メールで通知を行うことも可能です。 • 「通知を追加」/「╳」をタップすると、通知を追加/削除できます。不要な通知は削除してください。
リマインダ	タスクの期限を通知する日時を設定します。
優先度	タスクの優先度を設定します。
外部向け表示	外部にイベントの有無を公開します。
公開設定	イベントを外部に公開するか設定します。

※メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

4 [完了]

memo

◎ カレンダー画面で予定を追加したい日時の欄をロングタッチして、新しい予定を追加することもできます。

カレンダーを設定する

カレンダーの表示、通知方法、通知音、バイブレーションなどを設定します。

1 カレンダー画面→[ ]→[設定]→[全般設定]

2 変更する項目を選択

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[ ]

2

更新	同期しているカレンダーを更新します。
表示するカレンダー	同期しているカレンダーから表示するカレンダーを選択します。
設定	▶P.65「カレンダーを設定する」

時計を利用する

アラーム、時計、タイマー、ストップウォッチ機能が利用できます。

アラームを利用する

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

1 アプリ一覧→[時計]→[アラーム]

アラーム一覧画面が表示されます。

2 [アラームの設定]→時刻を選択→[完了]

アラームの時刻の右側にある[ON]／[OFF]を操作するとアラームのオン／オフが切り替わります。

アラームを編集する

1 アラーム一覧画面→編集するアラームの「 」をタップ

2

時刻	アラームの時刻を編集します。
ON／OFF	アラームのオン／オフを設定します。
ラベルを追加	名称を設定します。
削除	アラームを削除します。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
バイブレーション	アラーム音と同時にバイブレータを動作させるかどうかを設定します。

◎ アラーム一覧画面→[メニュー]と操作すると、夜間モードの設定や、アラーム鳴動時の消音までの時間、スヌーズの長さ、アラームの音量などの設定が行えます。
◎ アラームを設定した時刻になると、アラーム音やバイブレータが設定時間の間鳴動し、ラベルの内容が表示されます。
◎ アラーム音量が1以上に設定されていて、通話中にアラームが起動した場合、受話部(レシーバー)からアラームを知らせる割込音が鳴ります。
◎ アラームを停止する場合は、「停止」または「スヌーズ」アイコンをスライドします。
◎ 電源が入っていない場合は、アラームは鳴りません。
◎ 日本以外のタイムゾーンが設定されていて、アラームの繰り返しが平日に設定されている場合は、日本の祝休日でもアラームは鳴動します。

時計を表示する

1 アプリ一覧→[時計]→[時計]

時計表示画面が表示されます。

◎ 時計表示画面→[メニュー]と操作すると、夜間モードの設定や、時刻の表示スタイル、自宅タイムゾーンなどの設定が行えます。

世界時計を表示する

1 時計表示画面→[世界時計]

世界時計一覧画面が表示されます。

2 表示したい都市をタップ→

時計表示画面に、選択した都市の世界時計が表示されます。

memo

◎ 世界時計一覧画面で「 」をタップすると、並び順の変更や各種設定が行えます。

タイマーを利用する

指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

1 アプリ一覧→[時計]→[タイマー]

タイマー設定画面が表示されます。
タイマーを設定している場合は、設定済みのタイマーが表示されます。
- 「開始」をタップすると設定済みのタイマーが開始されます。

2 時間を入力→[開始]

タイマー画面が表示され、カウントダウンが始まります。カウントダウンが終了すると、タイマー音が鳴ります。「停止」をタップするとタイマー音は止まります。また、タイマーを途中で停止する場合も「停止」をタップします。「開始」をタップするとカウントダウンを再開します。「 」をタップするとカウントダウンをリセットします。
- 「ラベルを追加」をタップすると、ラベルを設定できます。
- 「 」をタップすると、カウントダウン中の時間を1分ずつ増やすことができます。
- 「 」をタップすると、タイマーを削除できます。
- 「タイマーを追加」をタップすると、タイマーを追加できます。

ストップウォッチを利用する

1 アプリ一覧→[時計]→[ストップウォッチ]

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 「開始」

時間計測が始まります。

◎ 計測を停止する場合は、「停止」をタップします。「リセット」をタップすると、計測をリセットします。「共有」をタップすると、計測時間をBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
◎ ラップタイムを計測する場合は、「Lap」をタップします。

Barometerを利用する

Barometerを起動すると、現在地の気圧と高度の目安が表示されるため、山登りなどで便利です。時刻ごとの変化をグラフで見ることもできます。

1 アプリ一覧→[Barometer]

Barometer画面が表示されます。
- 初回利用時には情報画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 [自動測定をONにする]

- 「 」をタップすると、現在表示している気圧をグラフに配置します。
- 「 」をタップすると、Barometerの設定を行えます。
- 「 」をタップすると、高度の補正を行えます。
- 画面下部を上方向にフリックすると詳細データが表示されます。

memo

◎ 気圧値は絶対的なものではありません。さまざまな変動要因があり、あくまで目安の値となります。
◎ 気圧から高度を算出していますが、高度は気圧変化により誤差が出る場合があります。
◎ 天気の表示は気圧の変化によって予測するもので、現在の天気を表しているわけではありません。

Tideを利用する

Tideを起動すると、指定した各地点の潮汐情報が表示されるため、釣りなどをする際に便利です。

1 アプリ一覧→[Tide]

地点設定画面が表示されます。
- 初回利用時には注意画面が表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

2 地点を選択

Tide画面が表示されます。
- 「 」をタップすると、地点を変更できます。
- 画面下部を上方向にフリックすると詳細データが表示されます。

Keepを利用する

Keepを利用するとメモをかんたんにすばやく作成できます。
- Keepの利用にはGoogleアカウントが必要です。初回利用時にはGoogleアカウント設定画面が表示されます。アカウント未設定時には、アカウント追加画面が表示されます。Googleアカウントの設定については、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

メモを追加する

1 アプリ一覧→[Keep]

メモ一覧画面が表示されます。

2 [メモを追加]→メモを入力→[完了]

- メモの入力中に次の操作を行うこともできます。
  - :メモの色を選択できます。
  - :メモの詳細を編集できます。

メモを確認／編集する

1 メモ一覧画面→メモをタップ

メモ画面が開きます。
- メモ記載欄をタップすると「タイトル」が表示され、タイトルを入力できます。
- メモを編集後に「 」をタップすると編集した内容で保存します。

メモを削除する

1 メモ一覧画面→メモをロングタッチ

2 [⋮]→[削除]

メモが削除されます。削除されたメモは「ゴミ箱」に移動します。
- メモ画面→[⋮]→[削除]と操作しても削除できます。

memo

◎ メモ一覧画面→[ ]→[ゴミ箱]と操作すると削除したメモを表示できます。削除したメモを元に戻すにはゴミ箱内のメモをロングタッチ→[ ]と操作します。
◎ ゴミ箱内のメモは7日後に自動的に削除されます。

電卓を利用する

1 アプリ一覧→[電卓]

電卓画面が表示されます。
「削除」：最後に入力した数字／記号を消去します。ロングタッチすると入力した内容をすべて消去できます。
「消去」：計算結果を消去します。

memo

◎ 数値や数式、計算結果をロングタッチ→[切り取り]／[コピー]／[貼り付け]と操作すると、切り取り／コピー／貼り付けができます。
◎ 電卓画面→[ ]→[関数機能]と操作すると、関数電卓表示となります。

音声レコーダーを利用する

1 アプリ一覧→[音声レコーダー]

音声レコーダー画面が表示されます。

2 [ ]

録音が開始されます。

3 [ ]

録音を停止し、録音した音声が保存されます。

memo

◎ 音声データは、内部ストレージに保存されます。
◎ Bluetooth®機能で接続しているマイクから録音することはできません。本製品の送話口（マイク）で録音してください。

音声を再生する

1 音声レコーダー画面→[ ]

音声データ一覧画面が表示されます。
- 音声データの「 」をタップすると、音声データの共有や削除、ファイル名編集、詳細情報の表示を行うことができます。

2 音声データをタップ

再生が開始されます。
- 「アプリケーションを選択」メニューが表示された場合は、使用するアプリを選択してください。常に同じアプリを使用する場合は、アプリを選択してから、「常時」をタップします。
- 「 」をタップすると、音声データをBluetooth®やメール添付などで送信したりできます。
- 「 」をタップすると、音声データの削除、巻き戻しの設定を行うことができます。

音声データを選択して削除する

1 音声データ一覧画面→[ ]

2 削除する音声データを選択→[ ]→[OK]

- [0選択済み]→[すべて選択]→[ ]→[OK]と操作すると、すべての音声データを削除することができます。

簡易ライトを利用する

1 アプリ一覧→[簡易ライト]

簡易ライトが点灯します。
- 「 」をタップするたび、簡易ライトが消灯／点灯します。

memo

◎ 簡易ライトを目に近づけて点灯させないでください。また、簡易ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。同様に簡易ライトを他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
◎ ご使用時は電池の減りにご注意ください。

エコモードを利用する

バックライトの消灯時間や画面の明るさを調整したり、画面の自動回転をオフにしたりすることで、電池の消耗を抑えます。

1 アプリ一覧→[エコモード]

エコモード画面が表示されます。

2 [ON]／[自動ON]

- 「自動ON」をタップした場合は、エコモードに切り替える電池残量を設定します。

3

スリープ	15秒後にスリープするかどうかを設定します。
画面の明るさ	画面の明るさを暗くします。
壁紙	電力消費を抑える壁紙を設定します。
タッチ操作バイブ	タッチ操作時のバイブレーションを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。

スクリーンショットシェアを利用する

表示中の画面をかんたんな操作で撮影、保存することができます。撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり、編集してFacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。

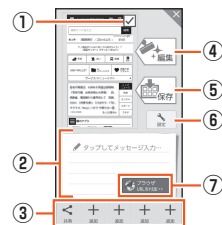
スクリーンショットを撮る

撮影したい画面を表示した状態で、画面左上端の領域から中央に向けて指をスライドさせるとスクリーンショットシェアのアプリが起動し、スクリーンショットを撮ることができます。
- お買い上げ時は画面をスライドさせてスクリーンショットを撮影できません。アプリ一覧→[スクリーンショットシェア]と操作するか、ステータスバーを下にスライド→[スクリーンショットシェア]と操作して、スクリーンショットシェアを起動させると撮影できるようになります。
- スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置は、スクリーンショットシェア画面→「設定」→[スライド位置設定]で設定できます。

画像を編集する

編集ボタンからスクリーンショットで撮った画像を編集できます。トリミング・画像の回転・画像にスタンプを押すことができます。

画像を他のアプリへ連携する

送信先アプリ選択ボタンに画像を共有するアプリ（SNSやEメール）を登録することができます。登録したアプリのアイコンを押すことで、スクリーンショット画像とテキストエリアに入力したコメントやURLをSNSに投稿したり、Eメールで送信できます。

① **画像添付切替ボタン**
撮影したスクリーンショット画像を添付するかどうかを切り替えます。

② **テキストエリア**
画像を他のアプリに共有する際に一緒に入力した文字を連携できます。

③ **送信先アプリ選択ボタン**
画像をメールアプリやSNSアプリに連携します。
表示されているアプリを変更する場合は、変更するアプリをロングタッチし、「エリア内までアイコンを運び離すと削除されます」にドラッグして指を離します。アプリが削除された後「追加」をタップし、アプリを選択します。

④ **編集ボタン**
画像を編集できます。

⑤ **保存ボタン**
画像を保存できます。

⑥ **設定ボタン**
機能の有効／無効、スライドの位置設定など次の設定項目についての変更ができます。

⑦ **情報付加ボタン**
タップすると、テキストエリアにマップの位置や、表示されているアプリの詳細説明ページのURLなどの情報を追加できます。

■ 設定項目

項目	概要
スクリーンショット設定	スクリーンショットシェアを利用するかどうかを設定します。
スライド位置設定	スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置の設定をします。
クリップボード設定	共有時にテキスト入力欄に入力したテキストをコピーするかどうかを設定します。Facebookなど、送信先のアプリでテキストの連携ができない場合は、この設定を「保存する」にして、送信先のアプリでテキストを貼り付けてください。
auスマートパスアプリ情報設定	「情報付加ボタン」で追加するときに、auスマートパスの情報を付加するかどうかを設定します。
バイブ設定	スクリーンショットを撮影するときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。
ヘルプ	スクリーンショットシェアのヘルプを表示します。

◎「バーコードリーダー」アプリなど、画像の保存が禁止されているアプリではスクリーンショットは撮影できません。

auお客さまサポートを利用する

au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に画面右上の[☰]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- 初めて起動したときは設定メニューが表示され、アカウント設定およびメッセージ受信設定が行えます。アカウントを設定せずに利用する場合は、「アカウントを設定せずに利用する」をタップします。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2

確認する	au電話の契約内容や月々の利用状況などを簡単に確認できます。
変更する	au電話の契約内容を変更できます。
操作・設定・トラブル	機種別の操作ガイドやお問い合わせの多いQ&Aを確認できます。
おすすめアプリ	各種サポートアプリを利用できます。
auスマートサポート	auスマートサポート会員専用メニューです。
お客さまセンターからのメッセージ	お客さまセンターからのメッセージを確認できます。

◎ 画面右上の「☰」をタップすると、各種お問い合わせ先窓口や設定メニューなどが表示されます。

安心セキュリティパックを利用する

安心セキュリティパックでできること

「3LM Security」「リモートサポート」「ウイルスバスター™ for au」の3種類のアプリを利用して、さまざまなセキュリティ機能とサポートサービスをご利用になれます。

- 安心セキュリティパックは有料です。

memo

◎ 安心セキュリティパックは、auスマートサポートと併用できません。auスマートサポートのご解約と同時に安心セキュリティパックへお申し込みください。
◎ 安心セキュリティパックをお申し込みいただいた場合、「3LM Security」と「ウイルスバスター™ for au」のセットアップを行ってください。

■ 3LM Security

- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品を遠隔操作でロックすることができます。
- 初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認の上、[同意します]→[有効にする]と操作してください。
- セキュリティ(スタート画面)の暗証番号を忘れてしまった場合に、遠隔操作で暗証番号の初期化、変更ができます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、KDDIオペレータやお客様のパソコンから、本製品の位置をGPSで検索できます。
- 本製品を盗難・紛失された場合に、本製品とmicroSDメモリカード内のデータを削除する場合には、お客さまセンターへご連絡ください。
- 「3LM Security」を起動したときや、本製品が遠隔操作でロックされたときなどは、端末の位置情報がサーバーに送信されます。また、常に位置情報を送信するように設定することもできます。
- 定期的に本製品の端末情報をサーバーに送信します。

■ リモートサポート

- スマートフォンの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレータがお客様のスマートフォンの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

■ ウイルスバスター™ for au

- 不正アプリ対策
  アプリのインストール時にファイルをスキャンして、不正アプリのインストールを防止します。また、インストール済みアプリを手動でスキャンして削除することもできます。
- Webフィルタ
  ギャンブルや出会い系サイトなど、青少年に不適切なサイトへのアクセスをブロックします。
- Web脅威対策
  ウイルス、不正アプリの配布元サイトや、フィッシング詐欺サイトなど、不正サイトへのアクセスを未然にブロックします。
- 着信ブロック/SMSブロック
  迷惑電話やSMSの着信拒否だけでなく、特定のキーワードを含むメッセージをブロックすることもできます。
- プライバシースキャン
  アプリが個人情報を漏えいする可能性がある場合、警告を表示します。

位置検索をご利用いただくにあたって

当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

ご利用上の注意

- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状況が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ご契約いただいているau Nano IC Card (LTE)の情報と、利用開始設定時のau Nano IC Card (LTE)の情報が一致している端末の検索ができます。
- auご契約者とご利用者が異なる場合は、必要に応じてauお客さまサポートから利用者認証番号を設定してください。
  - 利用者認証番号はauお客さまサポートからのみ設定解除が可能です。
  - 利用者認証番号を設定された際は必ずお忘れにならないようにご注意ください。
  - 利用者認証番号を忘れた場合、サービスをご利用になれませんのでご注意ください。また、お客様のau携帯電話より操作しない限り、番号の再設定などが行えません。

3LM Securityを利用する

安心セキュリティパックの紛失端末対応機能について設定していない場合は、次の操作で設定します。

1 アプリ一覧→[3LM Security]→[盗難紛失対策]

初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認の上、[同意します]→[有効にする]と操作してください。

- アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[安心セキュリティパック]→[安心セキュリティパック]→[リモートロックと位置検索(3LM)]→[アプリを起動する]でも同様に操作できます。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンターまでお問い合わせ

「リモートサポート」をご希望のスマートフォン以外からお電話ください。

2 アプリ一覧→[リモートサポート]

起動時には、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」を選択してください。

- アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[安心セキュリティパック]→[安心セキュリティパック]→[リモートサポート]→[アプリを起動する]でも同様に操作できます。

3 オペレータの指示に従って操作

ウイルスバスター™ for auを利用する

1 アプリ一覧→[auお客さまサポート]→[おすすめアプリ]→[安心セキュリティパック]→[安心セキュリティパック]→[ウイルス・Web脅威対策とWebフィルタリング(ウイルスバスター™for au)]

「アプリをダウンロードする」が表示された場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードしてください。

2 [アプリを起動する]

初めて起動したときは、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

3 項目を選択

4 画面の指示に従って操作

◎ Webフィルタは、Android標準ブラウザでのLTE NET、無線LAN(Wi-Fi®)接続時に有効です。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制※のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「3LM Security」「リモートサポート」の2種類のアプリを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。
その他、「スマホお試しレンタル」など初心者の方でも安心してスマートフォンをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。
※23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

memo

◎ auスマートサポートは、安心セキュリティパックと併用できません。安心セキュリティパックのご解約と同時にauスマートサポートへお申し込みください。
◎ ウイルス・Web脅威対策は安心セキュリティパックのご解約により適用されなくなります。お客様にて別途セキュリティ対策を行うことをおすすめいたします。詳しくはお客さまセンターへお問い合わせください。
◎ 「3LM Security」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「安心セキュリティパックでできること」の「3LM Security」(▶P.68)、「リモートサポート」(▶P.68)および「位置検索をご利用いただくにあたって」(▶P.68)をあわせてご参照ください。

3LM Securityを利用する

auスマートサポートの紛失端末対応機能について設定していない場合は、次の操作で設定します。

1 アプリ一覧→[3LM Security]

2 [盗難紛失対策]

初めて起動したときは、3LM Securityの利用規約説明画面が表示されます。内容をご確認の上、[同意します]→[有効にする]と操作してください。

リモートサポートを利用する

1 auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。
「リモートサポート」をご希望のスマートフォン以外からお電話ください。

2 アプリ一覧→[リモートサポート]

起動時は、使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

3 アドバイザーの指示に従って操作

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にスマートフォンを安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。
お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、保護者が指定した相手先にのみ通話を制限したり、夜間などスマートフォンのご利用を制限することもできます。

1 アプリ一覧→[安心アクセス]

ログインにはau IDが必要です。au IDについては「au IDを設定する」(▶P.20)をご参照ください。
アイコンをタップすると「安心アクセス for Android」のダウンロードページに遷移します。「無料」をタップし、画面の指示に従ってダウンロード、および、インストールをしてください。
正常にインストールが完了したら「アプリ起動」をタップしてください。初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認の上、「同意する」をタップし、画面の指示に従って操作してください。

2 [au IDでログイン]→[ログイン]

画面の指示に従って操作してください。

3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリは利用可能です。
高校生向け	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト/アプリは利用可能です。

※一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]

利用規約を必ずご確認ください。
デバイス管理者を有効にする画面が表示されます。

6 [有効にする]

ウェブページが表示されます。

■ 管理者情報を登録する

1 アプリ一覧→[安心アクセス]

2 [▮]→[その他]→[管理者登録]

• 画面上の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]

■ 管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

※以下の手順でお子様のスマートフォンから利用することも可能です。

1 アプリ一覧→［安心アクセス］

2 ［⋮］→［その他］→［設定］→［管理者ページ］

3 管理者IDとパスワードを入力→［ログイン］

管理者情報	管理者ID（メールアドレス）やパスワードの変更ができます。
スマホ情報	管理しているスマートフォンの名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。

- 詳しくはauホームページをご参照ください。
http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/

スマートフォン自動診断を利用する

■ スマートフォン自動診断でできること

- スマートフォンの設定や状態を自動的に診断し、問題が見つかった場合は、自動的に修復したり、修復方法を確認することができます。
- スマートフォンの設定や状態以外にも、契約状況に問題がある場合は、状況を確認することができます。
- コンディションレコーダーの機能により、スマートフォンを好調だった時点に戻すことができます。
- スマートフォンの状態によっては、インストール済みのアプリをバージョンアップすることにより修復できる場合もあります。
- 診断コードを使用した修理相談ができます。

1 アプリ一覧→［auお客さまサポート］→［おすすめアプリ］→［スマートフォン自動診断］→［アプリを起動する］

- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。

2

自動診断	「問題を検出する」をタップすると診断を開始します。診断が終了したら「次へ」をタップして診断結果および修復結果と、修復方法を確認してください。
アプリの更新	インストール済みのアプリのバージョンアップによる修復を行います。アプリの種類（「Google Play」または「auマーケット」）を選んでください。
コンディションレコーダー	自動診断で解決しなかった場合、グラフによりスマートフォンの調子を確認し、指定の日時の状態に戻すことができます。 詳細は「ヘルプ」タブをタップしてください。
修理相談	画面に表示された診断コードを使用して、安心ケータイサポートセンターに修理相談をすることができます。

memo

◎ トップメニュー画面下部の「サービス概要」をタップすると、スマートフォン自動診断アプリの操作についての詳細を確認できます。

自動診断

◎ 診断終了後に「よくあるご質問」が表示されます。そちらもご確認ください。

コンディションレコーダー

◎ 指定した日時の状態に戻すと、その間に行った一切の変更（アプリのインストール、アンインストール含む）が元に戻ります。

◎ 本アプリは、本アプリをインストールしてから、スマートフォンの状態を記録し始めます。
本アプリを利用する前の状態には情報がないため、戻せません。

◎ 過去の状態に戻して何らかの不都合が生じた場合は、再度今の状態に戻すことも可能です（ただし、一部データを除く）。詳細は「ヘルプ」タブをタップしてください。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi®親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。

- 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→［ヘルプ］と操作してヘルプをご参照ください。

1 アプリ一覧→［au Wi-Fi接続ツール］

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。初回起動時には、許可画面などが表示されます。内容をご確認の上、画面の指示に従って操作し、設定してください。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービス、災害情報／義援金サイトを利用することができるアプリです。

1 アプリ一覧→［au災害対策］

au災害対策メニュー画面が表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。

詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー画面→［災害用伝言板］

画面の指示に従って、登録／確認を行ってください。

memo

◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（～ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。Eメールアドレスの設定について、詳しくは「Eメールを設定する」（▶P.42）をご参照ください。

◎ 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。

◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了承のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

お買い上げ時は、緊急速報メール（緊急地震速報および災害・避難情報）の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー画面→［緊急速報メール］

受信ボックスが表示されます。
確認したいメールを選択すると、メールの詳細を確認できます。

2

削除	受信したメールを削除します。
設定	**緊急地震速報**：緊急地震速報を受信するかどうかを設定します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報を受信するかどうかを設定します。
	音量：受信音の音量を設定します。 **バイブ**：受信時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。 **マナー時の鳴動**：マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。
	緊急地震速報：緊急地震速報の受信音やバイブレータの動作を確認します。 **災害・避難情報**：災害・避難情報および津波警報の受信音やバイブレータの動作を確認します。

memo

◎ 日本国内のみのサービスです（海外ではご利用になれません）。
◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
◎ 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
◎ SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音とバイブレータの振動で通知します。警報音は変更できません。
※ 緊急地震速報の場合は、警報音と音声（「地震です」）、バイブレータの振動で通知します。
◎ お客様の現在地とは、異なる地域に関する情報を受信する場合があります。
◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

緊急地震速報について

◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ（震度4以上）が予測される地域をお知らせするものです。
◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは、配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。

津波警報について

◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。

災害・避難情報について

◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報を、お知らせするものです。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 au災害対策メニュー画面→［災害用音声お届けサービス］

画面の指示に従って、登録を行ってください。

■ 音声を送る（送信）

「声をお届け」を選択し、「①お届け先を選択※」→「②お届けしたい声を録音」の順で操作してください。
※ お届け先は、電話帳からも選択可能です。

■ 音声を受け取る（受信）

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面、もしくは、SMSで通知されます。音声メッセージを受信（ダウンロード）し、再生することで、聞くことができます。
- 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応した「au災害対策アプリ」を立ち上げていないスマートフォンや、au携帯電話の場合、SMSでお知らせします。
- SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎ Wi-Fi®でのご利用には、4G（LTE）／3Gネットワークにて初期設定が必要になります。
◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。
◎ au携帯電話間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとりが可能です。
◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。
◎ 本体（メモリ）に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できない場合があります。
◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくはauホームページをご覧ください。

災害情報／義援金サイトを利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害情報ポータル、義援金サイトなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー画面→［災害情報／義援金サイト］

2 画面の指示に従って操作

auスマートパスを利用する

auスマートパスは、月額372円（税抜）で、アプリ取り放題、会員特典としてのお得なクーポンやプレゼント、大切な写真や動画・連絡先のお預かりサービス、セキュリティアプリなど、スマートフォンを安心・快適にご利用いただけるサービスです。
- 利用方法などの詳細情報については、auスマートパスTOPページの「その他」をタップ→［設定］→［ヘルプ］と操作してヘルプをご参照ください。
- ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引へのご加入をおすすめします。
- 一部アプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→［auスマートパス］

auスマートパスTOPページが表示されます。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認の上、「同意する」をタップしてください。
- プッシュ通知設定やパーソナル設定の画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- au ID設定画面が表示された場合は、「au IDを設定」をタップし、画面の指示に従ってau IDを設定してください。au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDの設定方法については、『設定ガイド』をご参照ください。
- auスマートパスにご加入いただいていない場合は、auスマートパスTOPページの「その他」をタップ→［設定］→［auスマートパス入会／退会］と操作し、画面の指示に従って操作し、加入してください。

2

タイムライン	ニュース、天気、乗換案内など、便利な情報が表示されます。
アプリ	利用したいアプリを検索してダウンロードできます。
会員特典	クーポン、イベント、ショッピングなど、さまざまな会員限定の特典をご利用いただけます。
au WALLET	au WALLETの情報やポイントの確認などができます。
その他	auスマートパスの設定などができます。

memo

◎ サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後はご利用いただけません。
◎ アプリなどにより、お客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。
◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ファイル管理

内部ストレージ

本製品にはmicroSDメモリカードとは別の内部ストレージにデータを保存できます。
主なデータの保存先は、本製品の内部ストレージです。ただし、アプリによっては、データの保存先としてmicroSDメモリカード／内部ストレージのどちらかを選択することができる場合もあります。
また、電話帳のエクスポートなどについては、microSDメモリカードにのみ保存されます。
「ファイル管理」(▶P.60)を利用して、内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存されたデータを確認したり、移動することができます。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード(microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。

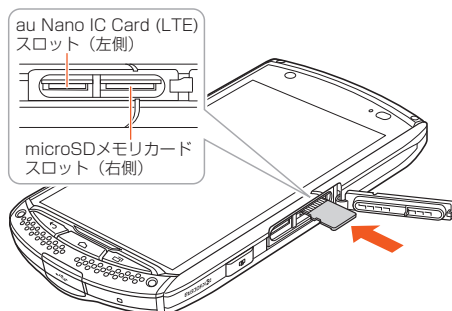
◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモリカードを初期化する」(▶P.75)をご参照ください。
◎ 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。
◎ microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■ 取扱上のご注意

- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- microSDメモリカードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- microSDメモリカードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

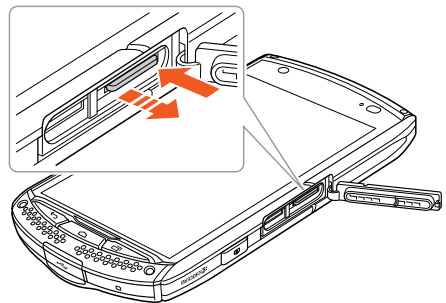
microSDメモリカードを取り付ける

1. **カードスロットカバーを開ける**
2. **microSDメモリカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む**
   挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモリカードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。

3. **カードスロットカバーを閉じる**

memo

◎ microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

1. **アプリ一覧→[設定]→[ストレージ]→[SDカードのマウント解除]→[OK]**
2. **カードスロットカバーを開ける**
3. **microSDメモリカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む**
   カチッと音がしたら、microSDメモリカードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモリカードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。

4. **microSDメモリカードをゆっくり引き抜く**
   まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
   microSDメモリカードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。
5. **カードスロットカバーを閉じる**

◎ microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
◎ microSDメモリカードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
◎ microSDメモリカードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

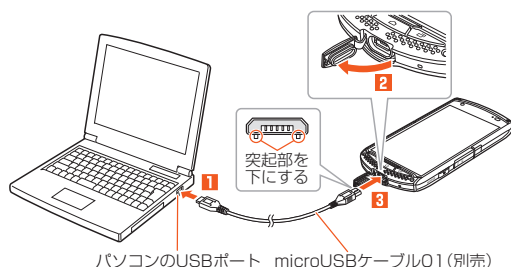
microUSBケーブルでパソコンと接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

- USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
  auのホームページ：http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/usb-driver/

1 **パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）をパソコンのUSBポートに接続**

2 **本製品の外部接続端子カバーを開ける**

3 **本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む**

■ パソコンのデータを同期する

パソコンのWindows Media® Playerと音楽や動画などのデータを同期させたり、パソコンと本製品の内部ストレージ、microSDメモリカードとの間で、ドラッグ＆ドロップでデータをコピー／移動できます。

1 **本製品とパソコンを接続する**

2 **パソコンでWindows Media® Playerを起動する**

3 **Windows Media® Playerを操作してデータを同期する**

詳しい操作方法については、Windows Media® Playerのヘルプをご参照ください。Windows Media® Player11／12をご使用ください。
ドラッグ＆ドロップでデータをコピー／移動するには、パソコンで本製品のフォルダを開き、内部ストレージ／SDカードフォルダを開いてから操作します。

4 **転送終了後、microUSBケーブル01（別売）を本製品から取り外す**

microUSBケーブル01（別売）のコネクタ部分を持って、まっすぐに引き抜いてください。

メモリの使用量を確認する

本体内メモリや内部ストレージ、microSDメモリカードの合計容量や空き容量を確認できます。

1 **アプリ一覧→［設定］→［ストレージ］**

2

内部ストレージ	合計容量	内部ストレージの合計容量／空き容量が確認できます。
	空き容量	
SDカード	合計容量	microSDメモリカードの合計容量／空き容量が確認できます。※
	空き容量	

※ メモリの一部をmicroSDメモリカード仕様に基づく管理領域として使用するため、実際にご使用いただけるメモリ容量は、microSDメモリカードに表記されている容量より少なくなります。

microSDメモリカードを初期化する

microSDメモリカードを初期化すると、microSDメモリカードに保存されているデータ（アプリを含む）はすべて削除されます。

1 **アプリ一覧→［設定］→［ストレージ］**

2 **［SDカード内データを消去］→［SDカード内データを消去］→［すべて消去］**

◎ 初期化は充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

データ通信

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング（登録）を行ってください。

memo

◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

■ 無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、ハンズフリー通話、データ送受信などが利用可能になります。

- 他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります（▶P.78）。

1 アプリ一覧→［設定］→「Bluetooth」を「ON」にする
Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに「 」（接続待機中のアイコン）が表示されます。

memo

◎ Bluetooth®機能のオン／オフ設定は、電源を切っても変更されません。
◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消耗が早くなります。使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。
また飛行機の中や病院など、無線機器の使用が禁止されている場所では、Bluetooth®機能をオフにしてください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング（登録）を行います。

- 機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 アプリ一覧→［設定］→「Bluetooth」を「ON」にする→［Bluetooth］
Bluetooth設定画面が表示されます。
検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

2 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

3 画面の指示に従って操作
パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー（4～16桁の数字）を入力します。

memo

◎ Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「デバイスの検索」をタップして、機器を再検索します。

■ パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときに、お互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4～16桁の数字を入力できます。

memo

◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 Bluetooth設定画面→本製品のデバイス名をタップ
本製品が、他のBluetooth®機器から一定時間検出可能になります。
- 検出可能な時間は、Bluetooth設定画面→［ ］→［表示のタイムアウト］と操作すると変更できます。

■ 他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペア設定する」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続を解除するBluetooth®デバイス名をタップ→［OK］
- ペアリングを解除する場合は、［ ］→「ペアを解除」をタップします。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth®機能をオンにしてください。

Bluetooth®機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth®機器に送信できます。
- 送信は各アプリの「 」のメニューから行ってください。

Bluetooth®機能でデータを受信する

1 他のBluetooth®機器からデータ送信
ステータスバーに「Bluetooth共有：ファイル着信」と表示されます。

2 ステータスバーを下にスライド

3 ［Bluetooth共有：ファイル着信］

4 ［承諾］
ステータスバーに「 」が表示され、データの受信が開始されます。
通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN（Wi-Fi®）機能

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。

memo

◎ ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN（Wi-Fi®）親機（Wi-Fi®ネットワーク）をご用意ください。
◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi®ネットワーク状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。
公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
◎ 無線LAN（Wi-Fi®）機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi®機能をオンにする

Wi-Fi®機能を使用するには、Wi-Fi®機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi®ネットワークを検索して接続します。

1 アプリ一覧→［設定］→「Wi-Fi」を「ON」にする
Wi-Fi®機能が起動し、利用可能なWi-Fi®ネットワークがスキャンされます。
Wi-Fi®機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

◎ Wi-Fi®機能がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi®ネットワーク接続中は、Wi-Fi®機能が優先されます。
◎ Wi-Fi®ネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。
◎ Wi-Fi®機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi®ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi®ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 アプリ一覧→［設定］→「Wi-Fi」を「ON」にする→［Wi-Fi］
Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。

2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→［接続］
- セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）※を入力し、「接続」をタップします。
  ※パスワード（セキュリティキー）は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続が完了すると、ステータスバーに「 」が表示されます。

memo

◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

Wi-Fi®ネットワークを簡単に設定する

WPSマークがあるWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを利用して接続する場合は、簡単な操作で接続できます。
- あらかじめ無線LAN（Wi-Fi®）機能をオンにしてください。

■ WPSボタン方式の場合

1 Wi-Fi設定画面→［ ］

2 画面の指示に従って操作

■ WPS PIN入力方式の場合

1 Wi-Fi設定画面→［ ］→［WPS PIN入力］

2 画面の指示に従って操作

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 Wi-Fi設定画面→［＋］

2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力

3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 ［保存］

memo

◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi®機能を切断する

1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択

2 ［削除］

memo

◎ Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→［ネットワークから切断］と操作しても、接続を切断できます。
◎ 切断すると、再接続のときにパスワード（セキュリティキー）の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がスリープするように設定できます。
また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

1 Wi-Fi設定画面→［ ］→［詳細設定］→［スリープ時にWi-Fi接続を維持］

2 スリープ設定を選択

Wi-Fi®機能の詳細設定をする

1 Wi-Fi設定画面→［ ］→［詳細設定］

2 必要な項目を設定

ネットワークの通知	オープンネットワーク（パスワードなどが設定されていないWi-Fi®ネットワーク）が検出されたら通知するように設定します。
スリープ時にWi-Fi接続を維持	▶P.79「Wi-Fi®機能のスリープ設定をする」
接続不良のとき無効にする	電波が安定しているときのみWi-Fi®機能を使用するように設定します。
証明書のインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
Wi-Fi最適化	Wi-Fi®機能がONのときに電池消費を抑えるように設定します。
MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	IPアドレスが表示されます。

memo

◎「接続不良のとき無効にする」をオンにした状態でWi-Fi®が不安定になったとき、Wi-Fi®のみに通信を制限する一部のアプリにおいて、アプリの動作仕様により、一時的に4G（LTE）／3Gデータ通信を行う場合があります。

Wi-Fi Directを設定する

Wi-Fi Direct対応デバイス同士を接続するように設定できます。

1 Wi-Fi設定画面→[⋮]→[Wi-Fi Direct]

デバイス一覧画面が表示されます。
- 接続要求を出す場合は、デバイス一覧画面から接続先を選択し、画面の指示に従って操作します。接続を切断する場合は、接続済みのデバイスをタップして切断します。
- 「デバイスの検索」をタップすると、デバイス一覧を更新できます。
- 「デバイス名を変更」をタップすると、デバイス側で表示される本製品の名前を変更できます。

テザリング機能を利用する

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。無線LAN(Wi-Fi®)機器を最大10台まで接続したり、microUSBケーブル01(別売)でパソコンと本製品を接続したり、Bluetooth®機器を最大5台まで接続して、インターネットに接続することもできます。

◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[テザリング]

2

USBテザリング※	USB経由でテザリングします。 あらかじめ「microUSBケーブルでパソコンと接続する」(▶P.75)を参照してmicroUSBケーブル01(別売)を接続してください。

※USBテザリング機能を使用する場合は、あらかじめパソコンにUSBドライバのインストールが必要です。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。
auのホームページ:http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/usb-driver/

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」を選択してください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

memo

◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、microUSBケーブル01(別売)を抜いてください。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[テザリング]

2

Wi-Fiテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。
Wi-Fiテザリング設定	ポータブルアクセスポイントのセットアップと管理をします。必要な情報を入力します。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」を選択してください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

memo

◎ 「Wi-Fiテザリング設定」で「セキュリティ」を「なし」にすると、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。

Bluetooth®テザリング機能を利用する

1 アプリ一覧→[設定]→[その他...]→[テザリング]

2

Bluetoothテザリング	本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続します。

初回起動時には確認画面が表示されます。内容をご確認の上、「OK」を選択してください。
「次回から表示しない」を選択すると、次回以降は表示されません。

機能設定

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や着信音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

設定メニューを表示する

1 アプリ一覧→[設定]
すべての設定メニューが表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
機内モード	ワイヤレス機能（電話、パケット通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）をすべてオフに設定します。	P.82
Wi-Fi	無線LAN（Wi-Fi®）機能を設定します。	P.79
Bluetooth	Bluetooth®機能を設定します。	P.78
データ使用量	データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。	P.82
オート通信制御	電力消費に関する設定を行います。	P.82
その他. . .	テザリングやVPNなどの通信に関する設定を行います。	P.82
ホーム切替	ホームアプリを切り替えます。	P.23
音／バイブ／LED	マナーモードや着信音、バイブレータ（振動）、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.83
ディスプレイ	画面の明るさ、壁紙、自動回転、スリープやフォントサイズなど、画面表示に関する設定を行います。	P.84
ダイレクトボタン	ダイレクトボタンの動作を設定します。	P.84
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモリカードのメモリ容量の確認、microSDメモリカードの初期化を行います。	P.84
電池	電池残量や使用量を表示します。	P.84
アプリ	ダウンロードしたアプリを確認したり、実行中のアプリに関する設定を行います。	P.64
位置情報	無線LAN（Wi-Fi®）機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.84
スタート画面	スタート画面に関する設定を行います。	P.84
セキュリティ	UIMカードロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。	P.85
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.85
バックアップとリセット	データのバックアップや復元の設定をしたり、データの初期化を行います。	P.85
アカウントを追加	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.85
日付と時刻	日付と時刻の表示形式などの設定を行います。	P.86
ユーザー補助	表示される文字サイズや通話終了時の動作など、ユーザー補助サービスの設定を行います。	P.86
印刷	印刷に関する設定を行います。	P.86
端末情報	電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.86

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi®やBluetooth®接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー

2

機内モード	▶P.82「機内モードを設定する」	
Wi-Fi	▶P.79「無線LAN（Wi-Fi®）機能」	
Bluetooth	▶P.78「Bluetooth®機能」	
データ使用量	データ通信を使用するかどうかを設定します。 •「モバイルデータの制限を設定する」をオンにするとモバイルデータの通信量を制限することもできます。 •[⋮]→「データの自動同期」や「モバイルアクセスポイント」を選択して、データ通信の詳細な設定を行うことができます。 •[⋮]→「Wi-Fi使用を表示する」を選択すると、Wi-Fi®使用のタブが表示され、データ使用量を確認できます。	
オート通信制御	▶P.82「オート通信制御を利用する」	
その他. . .	デフォルトのSMSアプリ	電話帳などから起動するSMSのアプリを設定します。
	NFC／おサイフケータイ設定	▶P.62「おサイフケータイ®の機能を設定する」
	テザリング	▶P.80「テザリング機能を利用する」
	VPN	▶P.83「VPNを設定する」
	モバイルネットワーク	▶P.83「モバイルネットワークを設定する」

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（電話、パケット通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）がすべてオフになります。

1 設定メニュー→「機内モード」を「ON」にする
機内モードが設定されると、ステータスバーに「✈」が表示されます。

memo

◎ 機内モードがオンの場合でも無線LAN（Wi-Fi®）／Bluetooth®機能をオンにすることができます。携帯電話の使用が禁止されている場所（航空機内、医療機器や電子機器のそばなど）では、電源を切ってください。

◎ 機内モードをオンに設定すると、電話をかけることができません。ただし、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）には、電話をかけることができます。なお、電話をかけた後は、自動的にオフに設定されます。

◎ 機内モードをオンに設定すると、電話を受けることはできません。また、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能による通信などもオフにします。

◎ ⏻（1秒以上長押し）→[機内モード]と操作してもオン／オフを切り替えることができます。

オート通信制御を利用する

バックグラウンドで通信するアプリを制限し、電力消費量を抑えることができます。

1 アプリ一覧→[設定]→[オート通信制御]→「オート通信制御」を「ON」にする

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
  - PPTP
  - L2TP/IPSec PSK
  - L2TP/IPSec RSA
  - IPSec Xauth PSK
  - IPSec Xauth RSA
  - IPSec Hybrid RSA

VPNを追加する

1 設定メニュー→［その他...］→［VPN］
VPN画面が表示されます。
- 初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「スタート画面の設定をする」（▶P.84）をご参照ください。

2 ［＋］

3 VPN設定の各項目を設定→［保存］
VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→［プロフィールを編集］→必要に応じてVPNの設定を変更→［保存］と操作します。
削除するには、削除するVPNをロングタッチ→［プロフィールを削除］→［OK］と操作します。

VPNに接続する

1 設定メニュー→［その他...］→［VPN］
VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→［接続］
VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。

VPNを切断する

1 ステータスバーを下にスライド→VPN接続中を示す通知をタップ
VPN接続済みポップアップで、「切断」をタップすると切断されます。

モバイルネットワークを設定する

データ通信やローミングなどのネットワークを利用できるように設定します。

4G（LTE）ネットワークに接続する

1 設定メニュー→［その他...］→［モバイルネットワーク］→「4G」を選択

データ通信を設定する

1 設定メニュー→［その他...］→［モバイルネットワーク］→「データ通信」を選択

memo

◎「4G」を解除すると4G（LTE）通信でのパケット通信ができなくなります。
◎「データ通信」を解除するとデータ通信が無効になり、CDMA 1X WIN（国内でのEVDOマルチキャリアサービスを含む）／4G（LTE）通信でのパケット通信ができなくなります。
◎ ローミング設定については、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.94）をご参照ください。

ローミング時のデータ通信を設定する

1 設定メニュー→［その他...］→［モバイルネットワーク］→「データローミング」を選択→［OK］

音／バイブ／LEDの設定をする

マナーモードの設定や着信音など、音やバイブレータ、着信ランプに関する設定を行います。

1 設定メニュー→［音／バイブ／LED］

2

項目	説明
音量	▶P.83「各種音量を調節する」
マナーモード	▶P.83「マナーモードを設定する」
マナーモード種別	
着信音	着信音に設定するデータを選択して登録します。
バイブパターン	▶P.83「バイブレータのパターンを設定する」
着信時のバイブ	▶P.83「バイブレータを設定する」
お知らせLED	新着通知受信時に通知を確認するまで着信ランプを点滅させるかどうかを設定します。
デフォルトの通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
ダイヤルパッド操作音	ダイヤルパッドのタッチ操作音を有効にするかどうかを設定します。
タッチ操作音	タッチ操作音を有効にするかどうかを設定します。
スタート画面の音	スタート画面のセキュリティ設定／解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作バイブ	タッチ操作時にバイブレータが動作するかどうかを設定します。
充電完了音	充電完了音を有効にするかどうかを設定します。

各種音量を調節する

1 設定メニュー→［音／バイブ／LED］→［音量］
次の項目の音量を調節します。
- 音楽、動画、ゲーム、その他のメディア
- 着信音と通知音
- アラーム

2 スライダを左右にドラッグして、音量を調節
音量を上げる／下げるにはスライダを右／左にドラッグします。

3 ［OK］

memo

◎ マナーモード設定時に、「着信音と通知音」の音量を上げるとマナーモードは解除されます。

バイブレータのパターンを設定する

1 設定メニュー→［音／バイブ／LED］→［バイブパターン］
次の項目のバイブレータのパターンを調節します。
- マナーモード
- 着信時

2 ［パターン1］／［パターン2］／［パターン3］／［パターン4］／［パターン5］

3 ［OK］

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 設定メニュー→［音／バイブ／LED］→「マナーモード」を選択→「注意」表示を確認→［OK］
マナーモードがオンに設定されます。
- 「注意」表示で「次回から表示しない」を選択すると、次回から表示されません。

マナーモードの種別を変更する

1 設定メニュー→［音／バイブ／LED］→［マナーモード種別］→［バイブレーション］／［ミュート］

memo

◎ ⓞ（1秒以上長押し）→［🔇］／［📳］／［🔊］と操作しても、ミュート／バイブレーション／オフを切り替えられます。
◎ ［－］を長く押すと、マナーモードのオン／オフが設定できます。
◎ マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音は鳴動します。
◎ マナーモード設定中に消音の状態でデータが再生された場合、機能によっては、再生中に［＋｜－］を押すと音量を調節できます。

バイブレータを設定する

1 設定メニュー→［音／バイブ／LED］

2 「着信時のバイブ」を選択

memo

◎ 解除すると、着信時にバイブレータは動作しません。

画面の設定をする

画面の明るさの設定やフォントサイズの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー→［ディスプレイ］

2

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 •「明るさを自動調整」を選択すると、周囲の明るさに合わせて画面の明るさが自動的に調整されます。
壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
スリープ	スリープモードへ移行するまでの時間を設定します。
スクリーンセーバー	▶P.84「スクリーンセーバーを設定する」
フォントサイズ	画面に表示されるフォントサイズを設定します。
キーバックライト	／／キーのバックライトを点灯するかを設定します。
電池残量をパーセント表示	電池残量をパーセント表示するかを設定します。

スクリーンセーバーを設定する

1 設定メニュー→［ディスプレイ］→［スクリーンセーバー］→「スクリーンセーバー」を「ON」にする

2 スクリーンセーバーの種類を選択

「」をタップすると、詳細な設定を行うことができます。
「今すぐ起動」をタップすると、選択したスクリーンセーバーが起動します。

ダイレクトボタンの設定をする

ダイレクトボタン（）を押したときの動作や起動させるアプリを設定します。

■ ダイレクトボタンを押したときの動作を選択する

1 設定メニュー→［ダイレクトボタン］

初回起動時は、ダイレクトボタンの説明が表示されます。内容を確認し「OK」をタップしてください。

2 アプリを選択→［OK］

memo

◎ 以下の状態の場合は、ダイレクトボタンの動作は無効となります。
- ソフトウェアアップデート中
- 緊急通報時の折り返しモード中
- セキュリティが「なし」「スライド」以外に設定されたスタート画面

◎ ダイレクトボタンに設定していたアプリをアンインストールした場合、ダイレクトボタンは未設定状態になります。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー→［ストレージ］

2

内部ストレージ	内部ストレージの使用量を確認します。
合計容量	内部ストレージの容量を確認します。
SDカード	microSDメモリカードの使用量を確認します。
合計容量	microSDメモリカードの容量を確認します。
SDカードをマウント	microSDメモリカードを認識します。
SDカードのマウント解除	microSDメモリカードの認識を解除して、microSDメモリカードを安全に取り外します。
SDカード内データを消去	▶P.75「microSDメモリカードを初期化する」

※表示される項目は、端末の状態によって異なります。

電池使用量を表示する

1 設定メニュー→［電池］

電池残量、充電状況や電池使用時間などが表示されます。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー→［位置情報］→「位置情報」を「ON」にする

2 「位置情報の承諾」で内容確認の上、［同意］

3 「位置情報についての同意」画面で［同意しない］／［同意する］

「同意する」をタップすると、位置情報の取得モードが「高精度」になります。

4

モード	位置情報の取得モードを設定します。
最近の位置情報リクエスト	位置情報を取得したアプリを表示します。 • アプリをタップするとアプリ情報を表示します。
位置情報サービス	Googleアカウントを設定している場合に、Googleの位置情報サービスを利用するかどうかを設定したり、ロケーション履歴を管理したりします。

memo

GPS機能の使用について

◎ 電池の消費を節約する場合は、位置情報をオフに設定してください。

◎ 周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

スタート画面の設定をする

スタート画面でのセキュリティの解除の方法などを設定します。

1 設定メニュー→［スタート画面］

2

セキュリティの種類	なし	セキュリティを無効にします。
	スライド	アイコンをスライドして、セキュリティを解除します。
	フェイスアンロック	顔認証でセキュリティを解除します。
	パターン	解除パターンを入力して、セキュリティを解除します。
	PIN	PINを入力して、セキュリティを解除します。
	パスワード	4～16桁の英数字／記号を入力して、セキュリティを解除します。
顔認識の精度を改善	いろいろな状態の顔を登録することで、顔認識の精度を改善することができます。	
生体検知	顔認識で写真などが認識されないようにすることができます。	
パターンを表示する	セキュリティを解除するときに指の軌跡を線で表示するかどうかを設定します。	
自動ロック	スリープモード移行後、「セキュリティの種類」で設定した解除方法が必要になるまでの時間を設定します。	
電源ボタンでロック	を押してスリープモードに移行した場合に、スタート画面のセキュリティをかけるかどうかを設定します。	
ウィジェットの有効化	スタート画面のウィジェットの操作を有効／無効にします。	
所有者情報	スタート画面に表示する所有者の情報を設定します。	

※表示される項目は、「セキュリティの種類」の設定により異なります。

スタート画面のセキュリティをかける

スタート画面のセキュリティの解除方法を「なし」以外に設定している場合、画面のバックライト点灯中にを押す、または自動的に画面のバックライトが消灯すると、セキュリティがかかります。
ただし、「電源ボタンでロック」をオフにすると、を押してもセキュリティはかかりません。

スタート画面のセキュリティを解除する

1 スタート画面で現在のセキュリティ解除方法を実行する

セキュリティ解除を5回続けて失敗した場合は、画面の指示に従って再試行してください。

memo

◎ スタート画面のセキュリティを解除していない状態でも「緊急通報」をタップして、110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）、157番（お客さまセンター）への電話はかけられます。

◎ セキュリティの解除パターン／PIN／パスワードを5回続けて失敗した場合は、正しく指定されていない旨のメッセージが表示されます。「OK」をタップして30秒後に再試行できます。

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー→[セキュリティ]

セキュリティメニューが表示されます。

2

UIMカードロック設定	▶P.85「UIMカードロックを設定する」
パスワードを表示する	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理者	端末管理者の情報を表示します。
提供元不明のアプリ	▶P.64「提供元不明のアプリのダウンロード」
アプリを確認する	ウイルスなどの損害を受ける可能性のあるアプリのインストールを禁止したり、警告表示します。
信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージとmicroSDメモリカードからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。

※表示される項目は、設定によって異なります。

UIMカードロックを設定する

UIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.11)をご参照ください。

1 セキュリティメニュー→[UIMカードロック設定]→「UIMカードロック」を選択

2 UIMカードのPINコードを入力→[OK]

■電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■PINコードを変更する

UIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 セキュリティメニュー→[UIMカードロック設定]→[PINコードの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

言語と入力に関する設定をする

1 設定メニュー→[言語と入力]

2

言語	日本語と英語の表示を切り替えます。 • 起動中のアプリが終了する場合があります。	
デフォルト	デフォルトのキーボードを設定します。	
iWnn IME	▶P.27「iWnn IMEの設定を行う」	
Google音声入力	音声入力の言語や不適切な語句に関する設定をします。	
音声検索	音声認識アプリの設定画面が表示されます。	
テキスト読み上げの出力	Pico TTS	テキストを読み上げる言語を設定することができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることができます。
	音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
	サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。	

※表示される項目は、画面によって異なります。

memo

◎ テキスト読み上げを利用する場合は、あらかじめ音声合成エンジンをインストールする必要があります。また、テキスト読み上げは「言語」が「日本語」の場合には利用できないことがあります。

◎ microSDメモリカードに音声データをインストールした状態で、ソフトウェアアップデートなどのソフトウェアの更新を実行すると、テキスト読み上げの動作が不安定になる場合があります。ソフトウェアの更新を実行した場合は、microSDメモリカードにインストールされている音声データを削除し、再度音声データのインストールを行ってください。

バックアップとリセット

1 設定メニュー→[バックアップとリセット]

2

データのバックアップ	アプリのデータや設定などをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みのデータや設定を復元するように設定します。
データの初期化	▶P.85「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

1 設定メニュー→[バックアップとリセット]→[データの初期化]

2 [携帯端末をリセット]→[OK]→[すべて消去]

• スタート画面の設定によっては、セキュリティ解除が必要な場合があります。

memo

◎ データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。

◎ 「SDカード内データを消去」を選択するとmicroSDメモリカード内のデータを消去できます。

◎ すべての設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
- UIMカードロック設定
- 「NFC／おサイフケータイロック」の設定／ロックNo.

◎ プリセットされているアプリの一部は削除されます(▶P.23)。

アカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

• 同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

アカウントを追加／削除する

■アカウントを追加する

1 設定メニュー→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種別を選択

3 画面の指示に従って操作

■アカウントを削除する

1 設定メニュー→削除するアカウントの種別を選択→削除するアカウントを選択

2 [⋮]→[アカウントを削除]→[アカウントを削除]

memo

◎ 他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」(▶P.85)が必要です。

日付と時刻の設定をする

1 **設定メニュー→[日付と時刻]**

2

自動設定	ネットワーク上の日付･時刻情報を使って、自動的に補正します。
自動タイムゾーン	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.86「日付を設定する」
時刻設定	▶P.86「時刻を設定する」
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
24時間表示	選択すると24時間表示、解除すると12時間表示となります。 ※アプリによっては、対応されない場合があります。
日付形式の選択	日付の表示形式を選択します。

memo

◎「自動設定」を選択するとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時は「自動設定」に設定されています。
◎日付、時刻やタイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「自動設定」や「自動タイムゾーン」を解除する必要があります。
◎海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。設定メニュー→[日付と時刻]→[タイムゾーンの選択]→設定するタイムゾーンを選択、と操作して、タイムゾーンを設定することができます。

日付を設定する

1 **設定メニュー→[日付と時刻]→[日付設定]**

2 **数字を上下にスライドして日付を合わせる**

3 **[設定]**

時刻を設定する

1 **設定メニュー→[日付と時刻]→[時刻設定]**

2 **数字を上下にスライドして時間と分を合わせる**

「24時間表示」を解除している場合は、「午前」/「午後」をスライドして切り替えます。

3 **[設定]**

ユーザー補助の設定をする

1 **設定メニュー→[ユーザー補助]**

2

サービス	インストールされているサービス名を表示します。
字幕	字幕表示に対応したアプリ使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。
拡大操作	トリプルタップで拡大/縮小表示をするかどうか設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズが大きくなります。
電源ボタンで通話を終了	⏻で通話を終了するかどうかを設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示/横表示を切り替えるかどうかを設定します。
パスワードの音声出力	パスワードを音声で出力するか設定します。
ユーザー補助のショートカット	ユーザー補助機能をスタート画面で使用できるように設定します。
テキスト読み上げの出力	▶P.85「言語と入力に関する設定をする」
押し続ける時間	ロングタッチの時間を設定します。

ユーザー補助プラグインを利用する

ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助プラグインを有効にします。ユーザー補助のプラグインは、Google Playからインストールすることができます。

memo

◎TalkBackをインストール後、初めてTalkBackをオンにしたときは、タッチガイド機能をオンにするかどうかのメッセージが表示されます。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。
タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向へなぞります。
タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー→[ユーザー補助]→[TalkBack]→[設定]と操作し、「タッチガイド」を解除します。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。
• 印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。

1 **設定メニュー→[印刷]**

2 **[クラウド プリント]→「クラウド プリント」を「ON」にする→[OK]**

使用できるプリンタの一覧が表示されます。
• 「⋮」をタップすると、プリンタの追加や設定を変更できます。

端末情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。また、アップデートやセンサーの補正などを行います。

1 **設定メニュー→[端末情報]**

2

ソフトウェアアップデート	▶P.99「ソフトウェアやOSを更新する」
端末の状態	電池残量や電話番号などの、端末の状態を確認できます。
法的情報	利用規約などの法的情報を表示します。
モデル番号	バージョンや各番号を確認できます。
Androidバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	
認証情報	

auのネットワークサービス・海外利用

auのネットワークサービスを利用する

auでは、次のような便利なサービスを提供しています。

サービス		参照先
標準サービス	SMS	P.47
	着信お知らせサービス	P.88
	着信転送サービス	P.88
	割込通話サービス	P.89
	発信番号表示サービス	P.90
	番号通知リクエストサービス	P.90
	呼び出し時間設定機能	P.90
有料オプションサービス※	お留守番サービスEX	P.90
	三者通話サービス	P.92
	迷惑電話撃退サービス	P.92
	通話明細分計サービス	P.93

※ 有料オプションサービスは、別途ご契約が必要になります。
お申し込みやお問い合わせの際は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。
各サービスのご利用料金や詳細については、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）でご確認ください。

着信お知らせサービスを利用する（標準サービス）

着信お知らせサービスについて

「着信お知らせサービス」は、au電話の電源を切っていた場合や機内モード中の場合、または電波の届かない場所にいた場合、着信があったことをSMSでお知らせするサービスです。電話をかけてきた相手の方が伝言を残さずに電話を切った場合に、着信があった時間と、相手の方の電話番号をお知らせします。

memo

◎ 電話番号通知がない着信についてはお知らせしません。ただし、番号通知があっても番号の桁数が20桁以上の場合はお知らせしません。
◎ お留守番サービスセンターが保持できる着信お知らせは、最大4件です。
◎ 着信があってから約6時間経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから着信お知らせは自動的に消去されます。
◎ ご契約時の設定では、着信お知らせで相手の方の電話番号をお知らせします。お留守番サービス総合案内（▶P.90）で着信お知らせ（着信通知）を停止することができます。
◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

着信転送サービスを利用する（標準サービス）

電話がかかってきたときに、登録した別の電話番号に転送するサービスです。
電波が届かない地域にいるときや、通話中にかかってきた電話などを転送する際の条件を、無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送の4つから選択できます。

memo

◎ 緊急通報番号（110、119、118）、時報（117）、天気予報（177）など一般に転送先として望ましくないと思われる番号には転送できません。
◎ 着信転送サービスとお留守番サービス（▶P.90）は同時に開始することはできません。着信転送サービスの設定中にお留守番サービスを開始すると、着信転送サービスは自動的に停止されます。
◎ 着信転送サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.90）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスを優先します。
◎ 無応答転送、話中転送、選択転送は同時に設定が可能です。同時に開始している場合の優先順位は、次の通りです。
① 話中転送　② 選択転送　③ 無応答転送
◎ 無応答転送、話中転送、選択転送を開始した後でフル転送を開始すると、フル転送のみ有効となります。

■ ご利用料金について

月額使用料	無料
サービス開始「1422」～「1425」	無料
サービス停止「1420」	無料
相手先から本製品までの通話料	有料 ※電話をかけてきた相手の方のご負担となります。
本製品から転送先までの通話料	有料 ※お客様のご負担となります。 ※海外の電話に転送した場合は、ご契約された国際電話通信事業者からのご請求となります。

応答できない電話を転送する（無応答転送）

電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときなど、かかってきた電話に出ることができないときに電話を転送します。

1 **ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［2］＋転送先電話番号を入力→［発信］**
ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［転送電話］→［無応答転送］→［OK］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 **［通話終了］**

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［1］［2］→［発信］と操作して設定できます。
◎ 着信転送サービスの応答時間は変更できません。
◎ 無応答転送を設定しているときに電話がかかってくると、着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。
◎ GSM／UMTSローミング中は、電波の届かない場所にいるときや、電源が切ってあるときのみ転送されます。

通話中にかかってきた電話を転送する（話中転送）

1 **ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［3］＋転送先電話番号を入力→［発信］**
ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［転送電話］→［話中転送］→［OK］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 **［通話終了］**

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［1］［3］→［発信］と操作して設定できます。
◎ 話中転送と割込通話サービス（▶P.89）を同時に設定している場合は、割込通話サービスが優先されます。
◎ GSM／UMTSローミング中は、話中転送はご利用になれません。

かかってきたすべての電話を転送する（フル転送）

1 **ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［4］＋転送先電話番号を入力→［発信］**
ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［転送電話］→［フル転送］→［OK］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 **［通話終了］**

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［1］［4］→［発信］と操作して設定できます。
◎ フル転送を設定している場合は、お客様の本製品は呼び出されません。

手動で転送する（選択転送）

かかってきた電話に出ることができないときなどに、手動で転送します。

1 **ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［5］＋転送先電話番号を入力→［発信］**
ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［転送電話］→［選択転送］→［OK］と操作し、ガイダンスに従って転送先電話番号を登録しても設定できます。

2 **［通話終了］**

memo

◎ 前回と同じ転送先を設定する場合には、ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［1］［5］→［発信］と操作して設定できます。
◎ 着信中に転送操作をすると、転送先電話番号に転送します。
◎ 国際ローミング中はご利用になれません。

海外の電話へ転送する

au国際電話サービスをご利用いただくと、海外の電話に転送できます。

例：アメリカの「212－123－XXXX」に転送する場合

1 ホーム画面→［電話］→転送の種類によって、それぞれの番号を入力→［発信］

［1］［4］［2］［2］：無応答転送　　［1］［4］［2］［4］：フル転送
［1］［4］［2］［3］：話中転送　　［1］［4］［2］［5］：選択転送

2 転送先電話番号を入力

転送先電話番号を国際アクセスコードから入力します。

※市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワの固定電話など一部例外もあります）。

3 ［通話終了］

◎ au国際電話サービス以外の国際電話サービスでも転送がご利用いただけますが、一部の国際電話通信事業者で転送できない場合があります。

着信転送サービスを停止する（転送停止）

着信転送サービスを停止します。

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［2］［0］→［発信］

ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［転送電話］→［転送停止］→［OK］と操作しても設定できます。

2 ［通話終了］

着信転送サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他社の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、着信転送サービスの転送開始（無応答転送、話中転送、フル転送、選択転送）、転送停止ができます。

1 090－4444－XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
無応答転送開始	1422
話中転送開始	1423
フル転送開始	1424
選択転送開始	1425
転送停止	1420

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.11）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

割込通話サービスを利用する（標準サービス）

通話中に別の方から電話がかかってきたときに、現在通話中の電話を一時的に保留にして、後からかけてこられた方と通話ができるサービスです。

◎ 新規にご加入いただいた際には、サービスは開始されていますので、すぐにご利用いただけます。ただし、機種変更の場合や修理からのご返却時またはau Nano IC Card (LTE)を差し替えた場合には、ご利用開始前に割込通話サービスをご希望の状態（開始／停止）に設定し直してください。

ご利用料金について

月額使用料	無料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

割込通話サービスを開始する

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［5］［1］→［発信］

2 ［通話終了］

memo

◎ 割込通話サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.90）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 割込通話サービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.92）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ 国際ローミング中はご利用になれません。

割込通話サービスを停止する

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［5］［0］→［発信］

2 ［通話終了］

memo

◎ 4G（LTE）パケット通信中や、3Gパケット通信中は、割込通話サービスを「停止」に設定しても着信します。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

割込通話を受ける

例：Aさんと通話中にBさんが電話をかけてきた場合

1 Aさんと通話中に割込音が聞こえる

2 着信中に「」から「」まで右にスライド

Aさんとの通話は保留になり、Bさんと通話できます。
「切り替え」をタップするたびにAさん・Bさんとの通話を切り替えることができます。
「通話終了」をタップすると、通話中／保留中の両方の通話が終了します。

memo

◎ 通話中に相手の方が電話を切ったときは、保留中の相手の方との通話に切り替わります。
◎ 割込通話時の着信も着信履歴に記録されます。ただし、発信者番号通知／非通知などの情報がない着信については記録されない場合があります。

割り込みされたくないときは

大事な用件などで割り込みされたくない通話相手の場合は、その相手の方との通話だけ、割り込みを禁止できます。

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［5］［2］＋相手先電話番号を入力→［発信］

memo

◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ 割込禁止の通話中に別の相手の方から電話があった場合は、お話し中になります。ただし、お留守番サービスを開始しているときは、お留守番サービスへ転送されます。

発信番号表示サービスを利用する（標準サービス）

電話をかけた相手の方の電話機にお客様の電話番号を通知したり、着信時に相手の方の電話番号をお客様の携帯電話に表示したりするサービスです。

■ お客様の電話番号の通知について

相手の方の電話番号の前に「184」（電話番号を通知しない場合）または「186」（電話番号を通知する場合）を付けて電話をかけることによって、通話ごとにお客様の電話番号を相手の方に通知するかどうかを指定できます。

memo

◎ 発信者番号（お客様の電話番号）はお客様の大切な情報です。お取り扱いについては十分にお気をつけください。
◎ 電話番号を通知しても、相手の方の電話機やネットワークによっては、お客様の電話番号が表示されないことがあります。
◎ 海外から発信した場合、相手の方に電話番号が表示されない場合があります。

■ 相手の方の電話番号の表示について

電話がかかってきたときに、相手の方の電話番号が本製品のディスプレイに表示されます。
相手の方が電話番号を通知しない設定で電話をかけてきたときや、電話番号が通知できない電話からかけてきた場合は、その理由がディスプレイに表示されます。

表示	説明
「非通知設定」（ID Unsent）	相手の方が発信者番号を通知しない設定で電話をかけている場合に表示されます。
「公衆電話」（Pay Phone）	相手の方が公衆電話からかけている場合に表示されます。
「通知不可能」（Not Support）	相手の方が国際電話、一部地域系電話、CATV電話など、発信者番号を通知できない電話から電話をかけている場合に表示されます。

番号通知リクエストサービスを利用する（標準サービス）

電話をかけてきた相手の方が電話番号を通知していない場合、相手の方に電話番号の通知をしてかけ直して欲しいことをガイダンスでお伝えするサービスです。

memo

◎ 初めてご利用になる場合は、停止状態になっています。
◎ お留守番サービス（▶P.90）、着信転送サービス（▶P.88）、割込通話サービス（▶P.89）、三者通話サービス（▶P.92）のそれぞれと、番号通知リクエストサービスを同時に開始すると、番号通知リクエストサービスが優先されます。
◎ 番号通知リクエストサービスと迷惑電話撃退サービス（▶P.92）を同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。
◎ サービスの開始・停止には、通話料はかかりません。

番号通知リクエストサービスを開始する

1 **ホーム画面→［電話］→［1］［4］［8］［1］→［発信］**

2 **［通話終了］**

memo

◎ 電話をかけてきた相手の方が意図的に電話番号を通知してこない場合は、相手の方に「こちらはauです。お客様の電話番号を通知しておかけ直しください。」とガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 番号通知リクエストサービスを開始したまま海外（国際ローミングエリア）へ行かれた場合にも、電話番号を通知してこない相手の方からの着信には、番号通知リクエストサービスのガイダンスが流れます。
◎ 次の条件からの着信時は、番号通知リクエストサービスは動作せず、通常の接続となります。
- 公衆電話、国際電話
- SMS
- その他、相手の方の電話網の事情により電話番号を通知できない電話からの発信の場合

番号通知リクエストサービスを停止する

1 **ホーム画面→［電話］→［1］［4］［8］［0］→［発信］**

2 **［通話終了］**

呼び出し時間を変更する（標準サービス）

呼び出し時間設定機能について

au携帯電話に着信してから留守番電話等の各種ガイダンスにつながるまでの時間、「着信転送サービス」にて無応答転送を設定している場合の転送までの時間を、5秒〜55秒の間で設定することができます。

memo

◎ 初期設定は約20秒となっています。

呼び出し時間を変更する

1 **ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］［8］［X］［X］を入力→［発信］**
XXには、設定する秒数（05〜55）を入力してください。

2 **［通話終了］**

memo

◎ お留守番サービスまたは無応答転送のご利用を停止したときや、無応答転送以外の着信転送サービスを設定したときは、呼び出し時間に設定した秒数が解除されます。再度お留守番サービスまたは無応答転送のご利用を開始していただくと、設定した秒数が有効になります。

お留守番サービスEXを利用する（オプションサービス）

お留守番サービスEXについて

電源を切っているときや、電波の届かない場所にいるとき、「機内モード」を有効に設定しているとき、一定の時間が経過しても電話に出られなかったときなどに、留守応答して相手の方からの伝言をお預かりするサービスです。

■ お留守番サービスEXをご利用になる前に

- au電話ご購入時や、機種変更や電話番号変更のお手続き後、修理時の代用機貸し出しと修理後返却の際にお留守番サービスEXに加入中の場合、お留守番サービスは開始されています。
- お留守番サービスと着信転送サービス（▶P.88）は同時に開始できません。お留守番サービスを開始しているときに着信転送サービスを開始すると、お留守番サービスは自動的に停止されます。
- お留守番サービスと番号通知リクエストサービス（▶P.90）を同時に開始すると、非通知からの着信を受けた場合に番号通知リクエストサービスが優先されます。

■ お留守番サービスEXでお預かりする伝言・ボイスメールについて

お留守番サービスEXでは、次の通りに伝言・ボイスメールをお預かりします。

お預かり（保存）する時間	7日間まで※1
お預かりできる件数	99件まで※2
1件あたりの録音時間	3分まで

※1 お預かりから7日間以上経過している伝言・ボイスメールは、自動的に消去されます。
※2 件数は伝言とボイスメール（▶P.91）の合計です。100件目以降の場合は、電話をかけてきた相手の方に、伝言・ボイスメールをお預かりできないことをガイダンスでお知らせします。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
特番へのダイヤル操作	入力する特番にかかわりなく、蓄積された伝言・ボイスメールを聞いた場合は通話料がかかります。伝言・ボイスメールがないときなど、伝言・ボイスメールを聞かなかった場合は通話料がかかりません。
遠隔操作	遠隔操作を行った場合、すべての操作について遠隔操作を行った電話に対して通話料がかかります。
伝言・ボイスメールの録音	伝言・ボイスメールを残す場合、伝言・ボイスメールを残した方の電話に通話料がかかります。 ※お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しません。転送され応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

お留守番サービス総合案内（141）を利用する

総合案内からは、ガイダンスに従って操作することで、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更、英語ガイダンスの設定／日本語ガイダンスの設定、不在通知（蓄積停止）の設定／解除、着信お知らせの開始／停止ができます。

1 **ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］→［発信］**

2 **ガイダンスに従って操作**

お留守番サービスを開始する

■通話中にかかってきた電話もお留守番サービスに転送する（留守番開始1）

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］［1］→［発信］

ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［留守番電話］→［留守番開始1］→［OK］と操作しても設定できます。

2 ［通話終了］

■通話中にかかってきた電話はお留守番サービスに転送しない（留守番開始2）

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］［3］→［発信］

ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［留守番電話］→［留守番開始2］→［OK］と操作しても設定できます。

2 ［通話終了］

■お留守番サービスEXでの留守応答について

電話がかかってきたとき、本製品の状態が次の場合には、お留守番サービスに転送され、留守応答します。

- 電波の届かない場所にいた場合や電源を切っていた場合、または一定時間呼び出しても電話に出なかった場合（無応答転送）
- 通話中にかかってきた場合（「留守番開始1」で開始した場合のみ）（話中転送）
- 着信中に転送操作した場合（選択転送）

memo

◎ お留守番サービスを開始しているときに電話がかかってきても、着信音が鳴っている間は電話に出ることができます。

◎ 国際ローミング中は、「留守番開始2」でお留守番サービスを開始できません。日本で「留守番開始2」のお留守番サービスを開始したまま海外へ行かれた場合は、通話中の着信もお留守番サービスに転送します。

お留守番サービスを停止する

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］［0］→［発信］

ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［留守番電話］→［留守番停止］→［OK］と操作しても設定できます。

2 ［通話終了］

◎ お留守番サービスを停止しても、録音された伝言・ボイスメールや応答メッセージは消去されません。

◎ お留守番サービスを停止していても、伝言・ボイスメール再生「1417」、応答メッセージの録音／確認／変更「1414」などの操作をすることができます。

電話をかけてきた方が伝言を録音する

ここで説明するのは、電話をかけてきた方が伝言を録音する操作です。

1 お留守番サービスで留守応答

- かかってきた電話がお留守番サービスに転送されると、本製品のお客様が設定された応答メッセージで応答します（▶P.91「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）。
- 電話をかけてきた相手の方は「#」を押すと、応答メッセージを最後まで聞かずに（スキップして）操作 2 に進むことができます。ただし、応答メッセージのスキップ防止が設定されている場合は、「#」を押しても応答メッセージはスキップしません。

2 伝言を録音

録音時間は、3分以内です。

伝言を録音した後、操作 3 へ進む前に電話を切っても伝言をお預かりします。

3 「#」を押して録音を終了

録音終了後、ガイダンスに従って次のキー操作ができます。

「1」：録音した伝言を再生して、内容を確認する

「2」：録音した伝言を「至急扱い」にする

「9」：録音した伝言を消去して、取り消す

「＊」：録音した伝言を消去して、録音し直す

4 電話を切る

◎ 電話をかけてきた方が「至急扱い」にした伝言は、伝言やボイスメールを再生するとき、他の「至急扱い」ではない伝言より先に再生されます。

◎ お留守番サービスに転送する旨のガイダンス中に電話を切った場合には通話料は発生しませんが、転送されて応答メッセージが流れ始めた時点から通話料が発生します。

ボイスメールを録音する

相手の方がau電話でお留守番サービスをご利用の場合、相手の方を呼び出すことなくお留守番サービスに直接ボイスメールを録音できます。また、相手の方がお留守番サービスを停止していてもボイスメールを残すことができます。

1 ホーム画面→［電話］→［1］［6］［1］［2］＋相手の方のau電話番号を入力→［発信］

2 ガイダンスに従ってボイスメールを録音

伝言お知らせについて

お留守番サービスセンターで伝言やボイスメールをお預かりしたことを通知音と文字でお知らせします。

伝言お知らせは、SMSで確認できます。

memo

◎ 同じ電話番号から複数の伝言をお預かりした場合は、最新の伝言のみについてお知らせします。

◎ お留守番サービスセンターが保持できる伝言お知らせの件数は99件です。

◎ 伝言・ボイスメールをお預かりしてから約7日経過してもお知らせできない場合、お留守番サービスセンターから伝言お知らせは自動的に消去されます。

◎ 通話中などですぐにお知らせできない場合があります。その場合は、お留守番サービスセンターのリトライ機能によりお知らせします。

伝言・ボイスメールを聞く

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］［7］→［発信］

ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［留守番電話］→［留守伝言再生］→［OK］と操作しても設定できます。

ホーム画面→［電話］→「1」をロングタッチ→［OK］と操作しても設定できます。

2 ガイダンスに従ってキー操作

「1」：同じ伝言をもう一度聞く

「4」：5秒間巻き戻して聞き直す

「5」：伝言を一時停止（20秒間）※

「6」：5秒間早送りして聞く

「9」：伝言を消去

「0」：伝言再生中の操作方法を聞く

「#」：次の伝言を聞く

「＊」：前の伝言を聞く

※「通話終了」以外のキーをタップすると、伝言の再生を再開します。

3 ［通話終了］

◎ お留守番サービスの留守応答でお預かりした伝言も、ボイスメール（▶P.91）も同じものとして扱われます。

応答メッセージの録音／確認／変更をする

新しい応答メッセージの録音や現在設定されている応答メッセージの内容を確認／変更したり、スキップ防止などの設定を行うことができます。

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］［4］→［発信］

ホーム画面→［電話］→［メニュー］→［通話設定］→［留守番電話］→［応答内容変更］→［OK］と操作しても設定できます。

■すべてお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（個人メッセージ）

2 ［1］→3分以内で応答メッセージを録音→［#］→［#］→［通話終了］

■名前のみお客様の声で録音するタイプの応答メッセージを録音する場合（名前指定メッセージ）

2 ［2］→10秒以内で名前を録音→［#］→［#］→［通話終了］

■設定／保存されている応答メッセージを確認する場合

2 ［3］→応答メッセージを確認→［通話終了］

■蓄積停止時の応答メッセージを録音する場合（不在通知）

2 ［7］→3分以内で応答メッセージを録音→［#］→［#］→［通話終了］

memo

◎ 録音できる応答メッセージは、各1件です。

◎ ご契約時は、標準メッセージに設定されています。

◎ 応答メッセージを最後まで聞いて欲しい場合は、応答メッセージ選択後の設定でスキップができないようにすることもできます。

◎ 録音した応答メッセージがある場合に、ガイダンスに従って「4」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。

◎ 録音した蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）がある場合に、ガイダンスに従って「8」をタップすると標準メッセージに戻すことができます。

◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

伝言の蓄積を停止する（不在通知）

長期間の海外出張やご旅行でご不在の場合などに伝言・ボイスメールの蓄積を停止することができます。
あらかじめ蓄積停止時の応答メッセージ（不在通知）を録音しておくと、お客様が録音された声で蓄積停止時の留守応答ができます（▶P.91「応答メッセージの録音／確認／変更をする」）。

1 ホーム画面→［電話］→［1］［6］［1］［0］→［発信］

2 ガイダンスを確認→［通話終了］

◎ 蓄積を停止する場合は、事前にお留守番サービスを開始しておく必要があります。
◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

蓄積停止を解除する

1 ホーム画面→［電話］→［1］［6］［1］［1］→［発信］

2 ガイダンスを確認→［通話終了］

◎ 蓄積を停止した後、お留守番サービスを停止／開始しても、蓄積停止は解除されません。お留守番サービスで伝言・ボイスメールをお預かりできるようにするには、「1611」にダイヤルして蓄積停止を解除する必要があります。
◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

お留守番サービスを遠隔操作する（遠隔操作サービス）

お客様の本製品以外のau電話、他通信事業者の携帯電話、PHS、NTT一般電話、海外の電話などから、お留守番サービスの開始／停止、伝言・ボイスメールの再生、応答メッセージの録音／確認／変更などができます。

1 090−4444−XXXXに電話をかける

上記のXXXXには、サービス内容によって次の番号を入力してください。

サービス内容	番号
総合案内（伝言再生など）	0141
お留守番サービスの開始	1411／1413
お留守番サービスの停止	1410
伝言・ボイスメールの再生	1417

2 ご利用の本製品の電話番号を入力

3 暗証番号（4桁）を入力

暗証番号については「ご利用いただく各種暗証番号について」（▶P.11）をご参照ください。

4 ガイダンスに従って操作

memo

◎ 暗証番号を3回連続して間違えると、通話は切断されます。
◎ 遠隔操作には、プッシュトーンを使用します。プッシュトーンが送出できない電話を使って遠隔操作を行うことはできません。

日本語／英語ガイダンスを切り替える

お留守番サービスの操作ガイダンスや、標準の応答メッセージの言語を変更できます。
ご契約時は、日本語ガイダンスに設定されています。

■ 英語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］［9］［1］→［発信］

英語ガイダンスに切り替わったことが英語でアナウンスされます。

2 ［通話終了］

◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

■ 日本語ガイダンスへ切り替える

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［1］［9］［0］→［発信］

日本語ガイダンスに切り替わったことが日本語でアナウンスされます。

2 ［通話終了］

◎ 国際ローミング中は、ご利用になれません。

三者通話サービスを利用する（オプションサービス）

通話中に他のもう1人に電話をかけて、3人で同時に通話できます。

例：Aさんと通話中に、Bさんに電話をかけて3人で通話する場合

1 Aさんと通話中に［メニュー］→［通話を追加］→Bさんの電話番号を入力

通話中に電話帳や発信履歴／着信履歴から電話番号を呼び出すこともできます。

2 ［発信］

通話中のAさんとの通話が保留になり、Bさんを呼び出します。

3 Bさんと通話

4 ［グループ通話］

3人で通話できます。
「通話終了」をタップすると、Aさんとの電話とBさんとの電話が両方切れます。

◎ 三者通話中の相手の方が電話を切ったときは、もう1人の相手の方との通話になります。
◎ 三者通話ではAさんとの通話、Bさんとの通話それぞれに通話料がかかります。通話料はそれぞれ電話をかけた方のご負担になります。
◎ 三者通話中は、割込通話サービスをご契約のお客様でも割り込みはできません。
◎ 三者通話の2人目の相手として、割込通話サービスをご利用のau電話を呼び出したとき、相手の方が割込通話中であった場合には、割り込みはできません。
◎ 国際ローミング中はご利用になれません。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
通話料	電話をかけた方のご負担（保留中でも通話料はかかります）

迷惑電話撃退サービスを利用する（オプションサービス）

迷惑電話やいたずら電話がかかってきて通話した後に「1442」にダイヤルすると、次回からその発信者からの電話を「お断りガイダンス」で応答するサービスです。

◎ お留守番サービス（▶P.90）、着信転送サービス（▶P.88）、割込通話サービス（▶P.89）、三者通話サービス（▶P.92）、番号通知リクエストサービス（▶P.90）のそれぞれと、迷惑電話撃退サービスを同時に開始すると、迷惑電話撃退サービスが優先されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料
番号登録「1442」	無料
最後の登録を削除「1448」	無料
すべての登録を削除「1449」	無料

最後に着信した電話番号を登録する

迷惑電話などの着信後、次の操作を行います。

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［4］［2］→［発信］

2 ［通話終了］

memo

◎ 登録できる電話番号は10件までです。10件を超えて登録すると、最も古い電話番号を削除して、新しい電話番号を登録します。
◎ 電話番号の通知のない着信についても登録できます。
◎ 国際ローミング中や、次の条件からの着信時は登録できません。
- 警察、消防機関、海上保安本部
- 公衆電話、国際電話
- SMS

◎ 通話をせずに、不在着信となった電話番号は登録できません。
◎ 登録した相手の方から電話がかかってくると、相手の方に「こちらはauです。おかけになった電話番号への通話は、お客様のご希望によりおつなぎできません。」とお断りガイダンスが流れ、相手の方に通話料がかかります。
◎ 登録された相手の方が、電話番号を非通知で発信した場合もお断りガイダンスに接続されます。
◎ 国際ローミング中は、受信拒否リストへの登録ができません。日本で登録されていた相手の方から着信があった場合には、お断りガイダンスに接続されます。
◎ 登録した相手の方でも次の条件の場合は、迷惑電話撃退サービスは動作せず、通常の接続となります。
- SMS
- 国際ローミング中のau電話からの着信

最後に登録した電話番号を削除する

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［4］［8］→［発信］

2 ［通話終了］

memo

◎ 受信拒否リストに複数の電話番号が登録されている場合は、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除されます。
◎ 国際ローミング中は受信拒否リストから削除することができません。

登録した電話番号を全件削除する

1 ホーム画面→［電話］→［1］［4］［4］［9］→［発信］

2 ［通話終了］

通話明細分計サービスを利用する（オプションサービス）

分計したい通話について相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルすると、通常の通話明細書に加えて、分計ダイヤルした通話分について分計明細書を発行するサービスです。それぞれの通話明細書には、「通話先・通話時間・通話料」が記載されます。

1 ホーム画面→［電話］→［1］［3］［1］＋相手先電話番号を入力→［発信］

memo

◎ 分計したい通話ごとに、相手先電話番号の前に「131」を付けてダイヤルする必要があります。
◎ 発信者番号を通知する／しないを設定する場合は、「186」／「184」を最初にダイヤルしてください。
◎ トールフリーナンバー、緊急通報番号（110、119、118）、SMSなどの一部の番号では「131」を付けて分計発信できません。分計対象外の番号へ「131」を付けてダイヤルした場合は、ご利用できない旨のガイダンスが流れます。
◎ 月の途中でサービスに加入されても、加入日以前から「131」を付けてダイヤルされていた場合は、月初めまでさかのぼって分計対象として明細書へ記載されます。

■ ご利用料金について

月額使用料	有料

グローバルパスポート

GLOBAL PASSPORT（グローバルパスポート）について

グローバルパスポートとは、日本国内でご使用の本製品をそのまま海外でご利用いただける国際ローミングサービスです。本製品は渡航先に合わせてGSM／UMTSネットワークでご利用になれます。
- いつもの電話番号のまま、海外で話せます。
- 特別な申し込み手続きや日額・月額使用料は不要で、通話料は日本国内分との合算請求ですので、お支払いも簡単です。ご利用可能国、料金、その他サービス内容など詳細につきましては、auホームページまたはお客さまセンターにてご確認ください。

memo

◎ 国際ローミングとは、日本でお使いのau電話または電話番号のまま海外の携帯電話事業者ネットワークにおいてご利用いただけるサービスです。

■ ご利用イメージ

1 日本国内では、auのネットワークでご利用になれます

2 渡航先でネットワークモードを「自動」または「海外（GSM／UMTS）」に設定すると、海外の事業者のネットワークで電話とSMSがご利用いただけます

3 パケット通信を行う場合は「データローミング」を有効に設定します

4 渡航先でネットワークモードを「海外（GSM／UMTS）」に設定した場合、帰国後に「自動」または「日本（4G／CDMA）」に切り替えてご利用ください

memo

◎ 初期状態では海外ではご利用いただけません。海外で通話およびSMSをご利用になる場合は「ネットワークモードを設定する」（▶P.94）に従い設定を行ってください。また、海外でパケット通信もご利用になる場合は「データローミングを設定する」（▶P.94）に従い、設定を行ってください。

海外でご利用になるときは

海外でグローバルパスポートをご利用になるときは、「海外利用に関する設定を行う」（▶P.94）に従い各種設定を行ってください。
新規ご契約でご利用の場合、日本国内での最初のご利用日の2日後から海外でのご利用が可能です。

海外で安心してご利用いただくために

海外での通信ネットワーク状況はauホームページでご案内しています。渡航前に必ずご確認ください。
http://www.au.kddi.com/information/notice_mobile/global/

■ 本製品を盗難・紛失したら

- 海外で本製品もしくはau Nano IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合は、お客さまセンターまで速やかにご連絡いただき、通話停止の手続きをおとりください。詳しくは「海外からのお問い合わせ」（▶P.94）をご参照ください。盗難・紛失された後に発生した通話料・パケット通信料もお客様の負担になりますのでご注意ください。
- 本製品に挿入されているau Nano IC Card (LTE)を盗難・紛失された場合、第三者によって他の携帯電話（海外用GSM携帯電話を含む）に挿入され、不正利用される可能性もありますので、PINコードを設定されることをおすすめします。（▶P.11「PINコードについて」）

■ 海外での通話・通信のしくみを知って、正しく利用しましょう

- ご利用料金は国・地域によって異なります。
- 海外における通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。

海外利用に関する設定を行う

PRL（ローミングエリア情報）を取得する

PRL（ローミングエリア情報）とは、KDDI（au）と国際ローミング契約を締結している海外提携事業者のエリアに関する情報です。
海外渡航時には、最新のPRLを渡航前に取得してからお使いください。

1 アプリ一覧→［設定］→［その他...］→［モバイルネットワーク］→［PRL設定］→［PRLバージョンを更新する］→［OK］

接続後に流れる音声ガイダンスを確認してから電話をお切りください。
電話をお切りになった後、更新が開始されます。更新には10分程度時間がかかることがあります。

memo

◎ PRLの更新にかかる通話料・通信料は無料です。
◎ エリアによっては更新できない場合があります。
◎ 古いPRLデータのまま利用し続けている場合は、海外のエリアによって通信ができなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。

ネットワークモードを設定する

本製品を使用するエリアを設定します。

1 アプリ一覧→［設定］→［その他...］→［モバイルネットワーク］→［エリア設定］

2

自動	日本国内／海外で利用できるネットワークを自動で設定します。 ・日本国内でご利用になる場合は4Gネットワーク／CDMAネットワークに設定します。 ・海外でご利用になる場合はGSMネットワーク／UMTSネットワークに設定します。
日本（4G／CDMA）	日本国内のみでご利用になる場合に設定します。
海外（GSM／UMTS）	海外でGSMネットワーク／UMTSネットワークをご利用になる場合に設定します。

データローミングを設定する

1 アプリ一覧→［設定］→［その他...］→［モバイルネットワーク］→「データローミング」を選択

「OK」をタップすると、データローミングが有効になります。
- アプリ一覧→［設定］→［データ使用量］→［⋮］→「データローミング」を選択→［OK］と操作しても、データローミングを有効にできます。

memo

◎ LTE NETまたはLTE NET for DATAにご加入されていない場合は、ローミング中にパケット通信を利用できません。

渡航先で電話をかける

渡航先から国外（日本含む）に電話をかける

渡航先から日本または他の国へ電話をかけます。

1 ホーム画面→［電話］

2 ＋（「0」をロングタッチ）→国番号・地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力

3 ［発信］

例：渡航先から日本の「03-1234-XXXX」にかける場合

※1 市外局番が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください（イタリア・モスクワなど一部の国や地域の固定電話などの例外もあります）。

memo

◎ 電話をかける相手の方が日本の携帯電話をご利用の場合は、相手の方の渡航先にかかわらず国番号として「81」（日本）を入力してください。
◎ 「＋」のダイヤルでつながらない場合は、「＋」の替わりに渡航先の国際アクセス番号を入力してください。

渡航先の国内に電話をかける

日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

1 ホーム画面→［電話］

2 地域番号（市外局番）・相手先電話番号の順に入力

3 ［発信］

渡航先で電話を受ける

日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

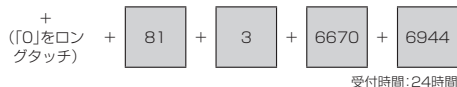
memo

◎ 渡航先に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
◎ 日本国内から渡航先に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
◎ 日本以外の国から渡航先に電話をかけてもらう場合は、渡航先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際アクセス番号および「81」（日本）をダイヤルしてもらう必要があります。

お問い合わせ方法

海外からのお問い合わせ

■ 本製品からのお問い合わせ方法（通話料無料）

受付時間：24時間

■ 一般電話からのお問い合わせ方法1（渡航先別電話番号）

国・地域名		お問い合わせ番号
北米・中南米	アメリカ／カナダ	1-877-532-6223
	メキシコ	01-800-123-3426
アジア	インド	000800-810-1134
	インドネシア	001-803-81-0235
	韓国	002-800-00777113
	シンガポール／タイ／香港	001-800-00777113
	台湾／中国／フィリピン／マカオ／マレーシア	00-800-00777113
	ベトナム	120-81-003
ヨーロッパ	イギリス／イタリア／オランダ／スイス／スペイン／ドイツ	00-800-00777113
	フランス	0800-90-0209
	ロシア	810-800-20201081
オセアニア	オーストラリア	0011-800-00777113
	グアム	1-888-891-3297
	ニュージーランド	00-800-00777113
	ハワイ	1-877-532-6223
中東	アラブ首長国連邦	800-081-0-0102

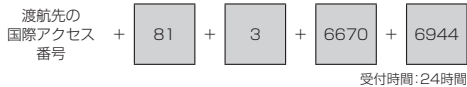
受付時間：24時間

memo

- ◎ ホテル客室からご利用の場合は手数料などがかかる場合があります。
- ◎ 地域によっては公衆電話やホテル客室、携帯電話からご利用いただけない場合があります。
- ◎ 携帯電話からのご利用の場合は現地携帯電話会社による国内料金がかかる場合がありますのでご了承ください。
- ◎ 記載のない国・地域、および最新情報についてはauホームページをご参照ください。
http://www.001.kddi.com/accessnumber/index.html

■ 一般電話からのお問い合わせ方法2（通話料有料）

「一般電話からのお問い合わせ方法1」に記載のない国・地域からは、以下の方法でお問い合わせください。

受付時間：24時間

日本国内からのお問い合わせ

au電話から（局番なしの）157番（通話料無料）
一般電話から 0077-7-111（通話料無料）
受付時間 9:00〜20:00（年中無休）

サービスエリアと海外での通話料

以下に記載の国・地域や通話料は、主な例となります。渡航先の国・地域によってご利用いただけるサービスや通話料が異なります。

通話料は免税。単位は円／分。

	国・地域名	音声通話	パケットサービス	滞在国内通話料	日本への国際通話料	他国への国際通話料	着信した場合の料金
アジア	中国	○	○	70	175	265	145
	韓国	○	○	50	125	265	70
	台湾	○	○	70	175	265	145
	タイ	○	○	70	175	265	155
	フィリピン	○	○	75	175	265	155
	インドネシア	○	○	70	260	280	155
	ベトナム	○	○	70	195	280	80
	香港	○	○	70	175	265	145
	シンガポール	○	○	75	175	265	155
	インド	○	○	70	180	280	180
	マレーシア	○	○	75	175	265	80
	マカオ	○	○	70	175	265	145
オセアニア	ハワイ	○	○	120	140	210	165
	グアム	○	○	80	140	210	130
	サイパン	○	○	80	140	210	130
	オーストラリア	○	○	80	180	280	80
	ニュージーランド	○	○	80	180	280	80
北米・中南米	アメリカ	○	○	120	140	210	165
	カナダ	○	○	120	140	210	165
	メキシコ	○	○	70	230	280	180
	ブラジル	○	○	80	280	280	140
ヨーロッパ・中東	フランス	○	○	80	180	280	110
	ドイツ	○	○	80	180	280	110
	イギリス	○	○	80	180	280	110
	イタリア	○	○	80	280	280	110
	スペイン	○	○	80	180	280	110
	スイス	○	○	80	180	280	110
	ロシア	○	○	80	380	380	110
	オランダ	○	○	80	180	280	110
	アラブ首長国連邦	○	○	80	180	280	140

memo

- ◎ 日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 海外で着信した場合でも通話料がかかります。
- ◎ 発信先は、一般電話でも携帯電話でも同じ通話料がかかります。
- ◎ 渡航先でコレクトコール・トールフリーナンバーなどをご利用になった場合でも渡航先での国内通話料がかかります。
- ◎ アメリカ本土、ハワイ、グアム、サイパン、カナダ、プエルトリコ、米領バージン諸島の間の通話料は、各国・地域内通話料金（120円／分または80円／分）となります。
- ◎ 中国、香港、マカオ、台湾の間の通話料は、「他の国への国際通話」料金（265円／分）となります。
- ◎ 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。したがって相手につながらなくても通話料が発生することがあります。
- ◎ 2014年7月現在の情報です。
- ◎ 最新情報についてはauホームページをご参照ください。

■ パケットサービス・メッセージサービスの通信料（免税）

パケット通信料	SMS送信料	SMS受信料
1.6円／KB	100円／通	無料

■ 海外ダブル定額（免税）

対象の国・地域にてご利用いただいた場合、1日あたり約24.4MB（割引前通信料が40,000円分）まで最大1,980円、どれだけご利用いただいても1日あたり最大2,980円のご利用料金となります。
海外ダブル定額について詳しくはauホームページをご参照ください。

memo

- ◎ 海外でご利用になった場合の料金です。海外で送受信したパケット量に応じて課金されます。
- ◎ 渡航先でのパケット通信料は、国内各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- ◎ 1日あたりの上限額は渡航先の現地時間ではなく日本時間の1日（0:00〜23:59）の通信に対する金額です。月額の定額制ではありません。

国際アクセス番号＆国番号一覧

■ 国際アクセス番号

国・地域名	番号
アメリカ／ハワイ／カナダ／グアム／サイパン	011
ニュージーランド／中国／ベトナム／メキシコ／インド／フィリピン／マレーシア／イギリス／ドイツ／フランス／イタリア／スペイン／スイス	00
韓国	001、002、00700
香港／タイ／インドネシア	001
台湾	002
ブラジル	0014、0015、0021、0023
オーストラリア	0011

■ 国番号（カントリーコード）

国・地域名	番号	国・地域名	番号
アメリカ合衆国（USA）	1	台湾（TWN）	886
アラブ首長国連邦（ARE）	971	中国（CHN）	86
イギリス（GBR）	44	ドイツ（DEU）	49
イタリア（ITA）	39	日本（JPN）	81
インド（IND）	91	ニュージーランド（NZL）	64
インドネシア（IDN）	62	フィリピン（PHL）	63
オーストラリア（AUS）	61	ブラジル（BRA）	55
オランダ（NLD）	31	フランス（FRA）	33
カナダ（CAN）	1	ベトナム（VIE）	84
韓国（KOR）	82	香港（HKG）	852
シンガポール（SGP）	65	マカオ（MAC）	853
スイス（CHE）	41	マレーシア（MYS）	60
スペイン（ESP）	34	メキシコ（MEX）	52
タイ（THA）	66	ロシア（RUS）	7

※ハワイ、サイパンの国番号は、アメリカ合衆国（USA）「1」になります。

グローバルパスポートに関するご利用上の注意

■ 渡航先での音声通話に関するご注意

- 渡航先でコレクトコール、トールフリーナンバー、クレジットコール、プリペイドカードコールをご利用になった場合、渡航先での国内通話料が発生します。
- 国・地域によっては、「発信」をタップした時点から通話料がかかる場合があります。
- 海外で着信した場合は、日本国内から渡航先までの国際通話料が発生します。着信通話料については、日本国内利用分と合わせてauからご請求させていただきます。着信通話料には国際通話料が含まれていますので、別途国際電話会社からの請求はありません。

■ 通話明細に関するご注意

- 通話時刻は日本時間での表記となりますが、実際の通話時刻と異なる場合があります。
- 海外通信事業者などの都合により、通話明細上の通話先電話番号、ご利用地域が実際と異なる場合があります。
- 渡航先で着信した場合、「通話先電話番号」に着信したご自身のau電話の番号が表記されます。

■ 渡航先でのパケット通信料に関するご注意

- 渡航先でのご利用料金は、日本国内でのご利用分に合算して翌月に（渡航先でのご利用分につきましては、翌々月以降になる場合があります）請求させていただきます。同一期間のご利用であっても別の月に請求される場合があります。
- 日本国内でパケット通信料が無料となる通信を含め、渡航先ではすべての通信に対しパケット通信料がかかります。

■ 渡航先でのメールのご利用に関するご注意

- 渡航先においては、ローミング中アイコンの表示のある場合にパケット通信が可能です。圏内表示のみの場合は音声通話（およびご利用の地域によってはSMS）のみご利用になれます。
- SMSのデータ量が渡航先の携帯電話網で許容されている長さより長い場合は、SMSの内容が一部受信できなかったり、複数に分割されて受信する場合や文字化けして受信する場合があります。また、電波状態などによって送信者がSMSを蓄積されても、渡航先では受信されません。
- SMSを電波状態の悪いエリアで受信した場合、日本へ帰国された後で渡航先で受信したメッセージと同一のメッセージを受信することがあります。
- 渡航先で、電波状態などの問題によりSMSを直接受け取れなかった場合には、送信者がそのSMSを蓄積しても、ローミング中は受信できません。お預かりしたSMSはSMSセンターで72時間保存されます。

■ その他ご利用上の注意

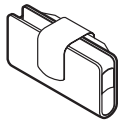
- 渡航先での通話料・パケット通信料は、日本国内の各種割引サービス・パケット通信料定額／割引サービスの対象となりません。
- 渡航先により、連続待受時間が異なりますのでご注意ください。
- 海外で使用する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。なお、海外旅行用変圧器を使用して充電しないでください。
- 渡航先でリダイヤルする場合は、しばらく間隔をあけておかけ直しいただくとつながりやすくなる場合があります。
- 渡航先でグローバルパスポートに着信した場合、原則として発信者番号は表示されますが、海外通信事業者の事情により「通知不可能」や、まったく異なる番号が表示されることがあります。また、発信側で発信者番号を通知していない場合であっても、発信者番号が表示されることがあります。
- サービスエリア内でも、電波の届かないところではご利用になれません。
- グローバルパスポートは、海外通信事業者の事情によりつながりにくい場合があります。
- 航空機の中では、計器類に悪影響を与えますので、携帯電話の電源は必ずお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- グローバルパスポートは海外通信事業者ネットワークに依存したサービスですので、海外通信事業者などの都合により、発着信・各種サービス、一部の電話番号帯への接続がご利用いただけない場合があります。
- 渡航先でのネットワークガイダンスは海外通信事業者のガイダンスに依存します。
- 渡航先ローミング中は、「料金安心サービス」の発信規制の対象になりません。
- 渡航中に「料金安心サービス【ご利用停止コース】」で設定した限度額を超過した場合、渡航先ではそのままご利用になれますが、帰国後の日本国内通話は発信規制となります。また日本国内で発信規制状態になっていても、グローバルパスポートとしては渡航先で使うことができます。
- 番号通知リクエストサービスを起動したまま渡航され、着信を受けた場合、相手の方に番号通知リクエストガイダンスが流れ、着信できない場合がありますので、あらかじめ日本国内で停止してください。
- 渡航先でご利用いただけない場合、au電話の電源をオフ／オン（再起動）することでご利用可能となる場合があります。

付録／索引

付録

周辺機器のご紹介

- ■共通ACアダプタ05（0501PWA）（別売）
- ■共通ACアダプタ03（0301PQA）（別売）
- ■共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）（別売）
- ■共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）（別売）
- ■共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）（別売）
- ■共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）（別売）
- ■AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）（別売）
- ■AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）（別売）
- ■AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）（別売）
- ■AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）（別売）
- ■AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）（別売）
- ■共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

- ■auキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）
- ■auキャリングケースGブラック（0106FCA）（別売）

- ■ワイヤレス充電台01（0101PUA）（別売）
- ■ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）
- ■microUSBケーブル01（0301HVA）（別売）
- ■microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）（別売）
- ■microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）（別売）
- ■microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）（別売）
- ■microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）（別売）

memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ（http://www.au.kddi.com/）にてご確認いただくか、お客さまセンターにお問い合わせください。

◎ 本ページにある周辺機器は、auオンラインショップ（http://auonlineshop.kddi.com/）からご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	P.18
	⏻を長く押していますか？	P.19
充電ができない	充電用機器は正しく接続されていますか？	P.18
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？温度によって充電を停止する場合があります。	P.18
	指定の周辺機器（アダプタなど）で充電をしていますか？	P.18
	簡易ライト点灯中は充電が停止します。簡易ライトを消灯してから充電してください。	P.67
	パソコンにUSBドライバのインストールが必要な場合があります。USBドライバおよびインストールマニュアルについては、下記のホームページをご確認ください。 auのホームページ：http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/usb-driver/	P.75
ワイヤレス充電台01（別売）で充電ができない	本製品をワイヤレス充電台01（別売）の充電可能な範囲に正しい向きで置いていますか？	P.18
	本製品とワイヤレス充電台01（別売）の間に異物がありませんか？	P.18
	ワイヤレス充電台01（別売）と専用ACアダプタ01は正しく接続されていますか？	P.18
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？温度によって充電を停止する場合があります。	P.18
ワイヤレス充電台01（別売）で充電が完了しない	充電完了後もチャージインフォメーションは消灯しませんが、異常ではありません。本体の表示をご確認ください。	P.18
	本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？温度によって充電時間が長くなる場合があります。	－
	本製品を使用しながらの充電は、充電時間が長くなる場合があります。	－
操作できない／画面が動かない／電源が切れない	⏻を11秒以上長く押すと強制的に電源を切り再起動することができます。	P.19
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.18
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.18
電話がかけられない	電源は入っていますか？	P.19
	au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.17
	電話番号が間違っていませんか？（市外局番から入力していますか？）	P.30
	電話番号入力後、「発信」をタップしていますか？	P.30
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.94
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.82
電話がかかってこない	電波は十分に届いていますか？	P.25
	サービスエリア外にいませんか？	P.25
	電源は入っていますか？	P.19
	au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.17
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.94
	「着信拒否」が設定されていませんか？	P.31
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.82
	「着信転送サービス」が設定されていませんか？	P.88
「 」（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.25
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	P.16
	「エリア設定」が間違っていませんか？	P.94
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	P.25
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	P.79
	本体または電池温度が高温になっていませんか？温度によって機能を停止する場合があります。	－
	「機内モード」が設定されていませんか？	P.82
ディスプレイ／着信ランプは点灯／点滅するが着信音が鳴らない	着信音量が最小に設定されていませんか？	P.83
	マナーモードに設定されていませんか？	P.83
キー／タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？	P.19
	スタート画面のセキュリティが設定されていませんか？	P.84
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.19

こんなときは	ご確認ください	参照
おサイフケータイ®が使えない	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.18
	おサイフケータイ®をロックしていませんか？	P.62
	本製品のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか？	P.61
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。	P.22
	一度スリープモードに移行してから、スリープモードを解除してください。	P.19
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.19
「☒」が表示される	au Nano IC Card (LTE)が挿入されていますか？	P.17
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.18
電話が勝手に応答する	「伝言メモ」が設定されていませんか？	P.31
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ • 赤色の充電ランプが消灯するまで、充電してください。	P.18
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	P.8
	「」（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.25
電話をかけたときに受話部（レシーバー）から「プーッ、プーッ、プーッ…」と音がしてつながらない	サービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか？	P.25
	無線回線が非常に混雑しているか、相手の方が通話中ですのでおかけ直しください。	－
ディスプレイの照明がすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？	P.84
	エコモード設定時、バックライト消灯が「15秒」へ設定されます。	P.67
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	P.84
	本体または電池温度が高温になっていませんか？温度によって画面の明るさを落とす場合があります。	－
	エコモード設定時、画面の明るさが暗く設定されます。	P.67
相手の方の声が聞こえない／聞き取りにくい	通話音量が最小に設定されていませんか？	P.30
	受話部（レシーバー）が耳に当たるようにしてください。	P.16
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ イヤホンマイク端子の奥までしっかり挿入してください。	P.16
動作が遅くなった／アプリの動作が不安定になった／一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.64
電話帳の個別の設定が動作しない	相手の方から電話番号の通知はありますか？ 通知がない場合は、電話帳の着信設定は有効になりません。また、電話帳のグループ着信設定は有効になりません。	－
	同じ電話番号が2件以上電話帳に登録されていませんか？	P.56
Webページに画像が表示されない	Webページの画像を表示しないように設定していませんか？	P.52
PCメールを作成できない	PCメールのアカウントは追加しましたか？	P.49
メモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しく取り付けられていますか？	P.74
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	P.84
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	P.18
	本体または電池温度が高温になっていませんか？温度によって機能を停止する場合があります。	P.57

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。
http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair

イヤホンを使用する

イヤホン、イヤホンマイク、ステレオイヤホンマイクを接続して使用します。

1 イヤホンマイク端子カバーを開き、イヤホンマイク端子にイヤホンを接続

◎ イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

ソフトウェアやOSを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
ソフトウェアのアップデートの種別により、更新の方法が異なります。

- 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する
- 本製品本体でWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新する

■ ご利用上の注意

- パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番（警察）、119番（消防機関）、118番（海上保安本部）へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ローミング中は、ご利用になれません。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアやOSをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。
「メジャーアップデート開始」では、本製品のOSをダウンロードできます。

1 アプリ一覧→［設定］→［端末情報］→［ソフトウェアアップデート］

2 ［ソフトウェア更新開始］／［メジャーアップデート開始］

以降は、画面の指示に従って操作してください。

◎ 利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
◎ ソフトウェア更新／メジャーアップデート後に元のバージョンに戻すことはできません。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

◎ メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
◎ 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■補修用性能部品について

当社は本製品本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスLTEについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

◎ ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
◎ ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
◎ 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
◎ au電話を譲渡・承継された場合、「安心ケータイサポートプラスLTE」の加入状態は譲受者に引き継がれます。
◎ 機種変更・端末増設などにより、新しいau電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
◎ サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Nano IC Card (LTE)について

au Nano IC Card (LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客さまセンター(紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて)

一般電話からは　0077-7-113(通話料無料)
au電話からは　局番なしの113(通話料無料)
受付時間　24時間(年中無休)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話/au電話からは　0120-925-919(通話料無料)
受付時間　9:00～21:00(年中無休)

オンライン修理受付(24時間受付)

※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://cs.kddi.com/support/n_login.html

- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障(破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど)の場合は、問診が必要なためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■auアフターサービスの内容について

サービス内容			安心ケータイサポートプラスLTE	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	お客様負担額 1回目:5,000円 2回目:8,000円	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料(3年保証)	実費負担
	部分破損		お客様負担額 上限5,000円	
	水濡れ、全損		お客様負担額 10,000円	
	盗難、紛失		補償なし	補償なし(機種変更対応)

※金額はすべて税抜

memo

交換用携帯電話機お届けサービス
◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種・同一色)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理
◎ お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	.3gp、.mp4、.m4a、.3g2、.flac、.mp3、.mid、.xmf、.mxmf、.rtttl、.rtx、.ota、.imy、.ogg、.mkv、.ts、.wav、.aac、.amr
静止画	.jpg、.png、.bmp、.gif、.webp
動画	.3gp、.mp4、.m4v、.3g2、.ts、.webm、.mkv

◎ サイズによっては再生できない場合があります。
◎ 著作権保護が設定されているデータは、再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ	約4.5インチ、約1,677万色、IPS全透過型	
	1,280×720ドット(HD)	
質量	約182g	
充電時間(目安)	ワイヤレス充電台01(別売)	約300分
	共通ACアダプタ05(別売)	約160分
	共通DCアダプタ03(別売)	約390分
連続通話時間	国内	約1,490分
	海外(GSM)	約820分
連続待受時間	国内	約700時間:4G(LTE)エリア
		約810時間:3Gエリア
	海外(GSM)	約820時間
連続テザリング時間	約710分:WAN側4G(LTE) 約740分:WAN側3G	
Wi-Fiテザリング最大接続数	10台	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約68×136×13.5mm(最厚部約15.4mm)	
内蔵メモリ容量※1		ROM:約16GB RAM:約2GB
アウトカメラ有効画素数		約800万画素
インカメラ有効画素数		約200万画素
無線LAN(Wi-Fi®)機能		IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0準拠※2
	出力	Bluetooth®標準規格Class 1
	通信距離※3	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能※4	SPP(Serial Port Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HSP(Headset Profile) HFP(Hands-Free Profile) OPP(Object Push Profile) PBAP(Phone Book Access Profile) HID(Human Interface Device Profile) PAN(Personal Area Networking Profile) PAN NAP(Personal Area Networking-Network Access Point) PAN USER(Personal Area Networking-User) HOGP(HID over GATT Profile) MAP(Message Access Profile) DUN(Dial-Up Networking Profile)※5
	使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。
※2 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
※3 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※4 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※5 一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。ご利用にあたっては、auホームページをご参照ください。

◎ 連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種TORQUEの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR:Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.433W/kg、身体に装着した場合のSARの最大値は0.542W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○ 総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
○ 一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
○ auのホームページ
http://www.au.kddi.com/

※ 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

索引

記号／数字／アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Playミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、ハングアウト、ハングアウト ロゴ、Googleマップ ナビ、Googleマップ ナビ ロゴ、Google Chrome、Google Chromeロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows Vista®／Windows®7／Windows®8は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Microsoft® Excel®、Microsoft® PowerPoint®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。
Microsoft® Word、Microsoft® Officeは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、京セラ株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

「Qi（チー）」及びqiシンボルはワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）の商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
᠍は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。

「jibe」はJibe Mobile株式会社の商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

Twitter、TwitterロゴはTwitter, Inc. の商標または登録商標です。

「GREE」は、日本で登録されたグリー株式会社の登録商標または商標です。

TRENDMICRO、およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

Copyright © 2010- Three Laws of Mobility. All Rights Reserved.

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnIMEを使用しています。
iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2012 All Rights Reserved.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

(1) ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。
(2) 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

「スマートソニックレシーバー」「TORQUE（ロゴ）」は京セラ株式会社の登録商標です。

絵文字ソリューションパッケージ © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2011 All Rights Reserved.

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

静止画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「PhotoSolid」を採用しております。「PhotoSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
動画手ブレ補正機能には株式会社モルフォの「MovieSolid」を採用しております。「MovieSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。
背景ぼかし画像生成技術には「Morpho Defocus」を採用しています。「Morpho Defocus」は株式会社モルフォの商標です。
画像エフェクト技術には株式会社モルフォの「Morpho Effect Library」を採用しております。「Morpho Effect Library」 は株式会社モルフォの商標です。
HDR（High Dynamic Range）技術には「Morpho HDR」を採用しています。「Morpho HDR」は株式会社モルフォの商標です。
パノラマ画像生成技術には株式会社モルフォの「QuickPanorama」を採用しております。「QuickPanorama」は株式会社モルフォの登録商標です。
被写体自動追尾技術には株式会社モルフォの「TrackSolid」を採用しております。「TrackSolid」は株式会社モルフォの登録商標です。

GOPRO®は、米国およびその他諸国におけるGoPro, Inc.の商標または登録商標です。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

このマニュアルで説明されている携帯電話にインストールされているソフトウェアについては、お客様に使用権が許諾されています。本ソフトウェアのご使用に際しては、以下の点に注意ください。
(a) ソフトウェアのソースコードの全部または一部について、複製、頒布、改変、解析、リバースエンジニアリングまたは導出をおこなってはなりません。
(b) 法律や規則に違反して、ソフトウェアの全部または一部を輸出してはなりません。
(c) ソフトウェアの商品性、特定目的への適合性、第三者知的財産権の不侵害などの黙示の保証を行うものではありません。
ただし、ソフトウェアに含まれている、GNU General Public License（GPL）、GNU Library/Lesser General Public License（LGPL）およびその他のオープンソースソフトウェアのライセンスに基づくソフトウェアならびに京セラ株式会社が許諾を受けたソフトウェアのご使用に際しては、当該ソフトウェアのライセンス条件が優先して適用されます。
なお、オープンソースソフトウェアについては、以降に明示しております「オープンソースソフトウェアについて」をご確認ください。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品は、GNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)またはその他のオープンソースソフトウェアライセンス及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけます。詳細については当社ホームページをご覧ください。
本製品には、京セラ株式会社が著作権を有するソフトウェア及び京セラが許諾を受けたソフトウェアが含まれています。
本製品に含まれる、京セラ株式会社がオープンソースソフトウェアの規格やライセンスに準拠し設計、開発したソフトウェアの著作権は京セラ株式会社又は第三者が有しており、著作権法上認められた使用法及び当社が別途認めた使用法を除き、お客様は当社に無断で頒布、複製、改変、公衆送信等の使用を行うことはできません。

■ 輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。
また米国政府機関が定める米国輸出規制（Export Administration Regulations、およびその他の関連法令）、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

■ Windowsの表記について

本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。
- Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。

おサイフケータイ®対応サービスご利用上の注意

お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたっては、以下の事項を承諾していただきます。

1. おサイフケータイ®対応サービスについて

1. おサイフケータイ®対応サービスとは、NFCと呼ばれる近接型無線通信方式を用い、おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはTypeA/B方式に対応した、2章2項に定めるau ICカード内データを保存できるau ICカード各種（以下、au ICカードといいます）を利用したサービスです。
   NFCとは、Near Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター（R/W）機能、機器間通信（P2P）機能がご利用いただけます。
2. おサイフケータイ®対応サービスは、おサイフケータイ®対応サービス提供者（以下、SPといいます）が提供します。各SPの提供するおサイフケータイ®対応サービスをご利用になる場合には、お客さまは当該SPとの間で利用契約を締結する必要があります。おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等については、各SPにご確認、お問い合わせください。
3. おサイフケータイ®対応サービスの内容、提供条件等について、当社は一切保証しかねますのであらかじめご了承ください。

2. FeliCaチップ内及びau ICカード内のデータの取り扱い等について

1. お客さまがおサイフケータイ®対応サービスをご利用するにあたり、お客さまのおサイフケータイ®のFeliCaチップまたはau ICカードへのデータの書き込み及び書き換え、並びにこれらに関する記録の作成、管理等は、SPが行います。
2. FeliCaチップ内のデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、FeliCaチップ内データといいます）及びau ICカードに保存されたデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む。以下、au ICカード内データといいます）の使用及びその管理については、お客さま自身の責任で行ってください。
3. おサイフケータイ®の故障等により、FeliCaチップ内データまたはau ICカード内データの消失、毀損等が生じることがあります。かかるデータの消失、毀損等の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
4. 当社は、FeliCaチップ内にデータが書き込まれたままの状態でおサイフケータイ®の修理を行いません。お客さまは、当社におサイフケータイ®の修理をお申し付けになる場合は、あらかじめFeliCaチップ内のデータを消去した上でおサイフケータイ®をauショップもしくはPiPitにお渡しいただくか、当社がFeliCaチップ内のデータを消去することに承諾していただく必要があります。かかるデータの消去の結果お客さまに損害が生じた場合であっても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
5. SPがお客さまに提供するFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータのバックアップ、移し替え等の措置（以下、SPバックアップ等といいます）については、SPの定めるおサイフケータイ®対応サービスの提供条件によります。おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始前に必ず、当該おサイフケータイ®対応サービスを提供するSPに対し、SPバックアップ等の有無及び内容等についてご確認ください。SPバックアップ等のないサービスを選択したこと、SPバックアップ等を利用しなかったこと、又はSPバックアップ等が正常に機能しなかったこと等によりFeliCaチップ内またはau ICカード内データのバックアップ等が行われなかった場合であっても、それにより生じた損害、SPバックアップ等のご利用料金にかかる損害、その他FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの消失、毀損等、又は第三者の不正利用により生じた損害等、おサイフケータイ®対応サービスに関して生じた損害について、また、SPバックアップ等を受けるまでにおサイフケータイ®対応サービスをご利用できない期間が生じたことにより損害が生じたとしても、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
6. 当社は、いかなる場合もFeliCaチップ内またはau ICカード内データの再発行や復元、一時的なお預かり、他のFeliCaチップまたは他のau ICカードへの移し替え等を行うことはできません。
7. その他NFC機能に対応したSPのサービス利用において生じた損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

3. FeliCaチップまたはau ICカードの固有の番号等の通知について

1. おサイフケータイ®対応サービスによっては、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップまたはau ICカードを特定するために、当該FeliCaチップ及びau ICカード固有の番号が、おサイフケータイ®対応サービスを提供する当該SPに送信される場合があります。
2. 当社は、SPがおサイフケータイ®対応サービスを提供するために必要な範囲で、お客さまのおサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ及びau ICカード固有の番号と、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが消去されているか否か、及び当該FeliCaチップまたはau ICカードの廃棄処理情報について、当該SPに通知する場合があります。
3. auショップもしくはPiPitは、SPバックアップ等の各種手続きにおいて、お客さまの電話番号等をSPに通知し、お客さまのFeliCaチップ内またはau ICカード内データについて当該SPに問い合わせる場合があります。

4. 不正利用について

1. お客さまのおサイフケータイ®の紛失・盗難等により、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があるため、十分ご注意ください。FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータが不正利用されたことによるお客さまの損害について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
2. 万一のおサイフケータイ®の紛失・盗難等に備え、ご利用前にセキュリティ機能を設定されることを推奨します。おサイフケータイ®の機種によってセキュリティのご利用方法が異なるため、詳細は取扱説明書やauホームページ等をご確認ください。ただし、セキュリティ機能をご利用いただいた場合でも、FeliCaチップ内またはau ICカード内のデータの不正利用等を完全に防止できるとは限りませんのであらかじめご了承ください。
3. おサイフケータイ®対応サービスによっては、SPによりサービスを停止できる場合があります。紛失・盗難等があった場合の対応方法については、各SPにお問い合わせください。

5. その他

1. おサイフケータイ®対応サービスにおいて通信機能をご利用の場合は、お客さまのau通信サービスのご契約内容によっては、データ量に応じた通信料が発生することがあります。なお、読み取り機、NFCタグ及び他のau電話におサイフケータイ®をかざしておサイフケータイ®対応サービスを利用される際には通信料は発生しません。
2. おサイフケータイ®対応サービスのご利用開始後におサイフケータイ®の契約名義又は電話番号の変更があった場合等、当該おサイフケータイ®対応サービスのご利用及びお客さまご自身でのFeliCaチップ内またはau ICカード内データの削除ができなくなることがあります。なお、当該おサイフケータイ®対応サービスのFeliCaチップ内またはau ICカード内のデータを削除する場合は、あらかじめauショップもしくはPiPitにより当該おサイフケータイ®に搭載されたFeliCaチップ内またはau ICカード内の全てのデータを消去する必要がありますのでご了承ください。
3. 電池残量がなくなった場合、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。
4. 機内モード設定中は、おサイフケータイ®対応サービス及びNFC機能がご利用いただけない場合があります。

au Wi-Fi SPOT利用規約

『au Wi-Fi SPOT』のご利用にあたっては、以下の利用規約の内容を承諾の上、ご利用ください。

株式会社ワイヤ・アンド・ワイヤレス(以下「当社」といいます。)は、この利用規約(以下「本規約」といいます。)に従って、KDDI株式会社、沖縄セルラー電話株式会社又はKDDI・沖縄セルラーの通信設備などを使用して通信サービスを提供する通信事業者(以下「KDDI等」といいます。)の通信サービスの契約者(以下の3.項に定める条件を満たす契約者に限ります。以下「提供対象者」といいます。)に対して、『au Wi-Fi SPOT』(以下「本サービス」といいます)を提供します。お客さまは、ご利用開始後、本規約を遵守する義務を負うものとします。

1. 当社は、本サービスの提供にあたり、本規約のほか、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の適用を受けます。本規約の規定と「公衆無線LANサービス契約約款」及び「利用規約」の規定が抵触する場合は、本規約の規定が優先して適用されます。
   また、KDDI等が本サービスに関して制定するご利用条件等は本規約の一部を構成し、本サービスを利用するもの(以下「お客さま」といいます。)はこれを遵守する義務を負います。当社及びKDDI等は、当該規定及びご利用条件等を本サービス用のWeb等への掲載、又はその他の合理的な方法により告知します。
2. 当社は、本サービス及び本規約を予告なく改訂、追加、変更又は廃止することができるものとします。
3. 本サービスの提供対象者と利用可能エリアは、KDDI等の本サービス用のWeb等で掲載します。
4. 本サービスの提供は3項で指定する条件が満たされなくなった場合、自動的に終了するものとします。また、お客さまが本規約に違反した場合、お客さまに対する本サービスの提供を停止し又は終了することができるものとします。
5. 本サービスは、KDDI等が本サービス用に提供するアプリケーションを搭載したWi-Fi搭載機器で利用できます。
   お客さまは、自己の責任と負担において、本サービスを利用するために必要なWi-Fi搭載機器を保持管理するものとします。
6. 国際ローミングサービスの取扱いは次によります。
   - お客さまは、国際ローミングサービスの利用にあたり、関連する法令、提携事業者が定める約款等を遵守するものとします。なお、日本国外における国際ローミングサービスの利用に関しては、当社約款および本規約の定めにかかわらず、関係国の法令または提携事業者その他の電気通信事業者等が定める約款等により、その利用が制限等されることがあります。
   - お客さまは、自己の責任に基づき国際ローミングサービスを利用するものとし、国際ローミングサービスの利用結果等について、全責任を負うものとします。
   - 当社は、国際ローミングサービスについて、その正確性、完全性、有用性等に関し、何らの保証責任および瑕疵担保責任を負わないものとします。
   - お客さまは、国際ローミングサービスの利用に伴って、第三者から問合せ、クレームもしくは損害賠償その他の権利の侵害等(知的財産権その他の権利の侵害等をいう。)の紛争等の請求を受け、または第三者に対して問合せ、クレームもしくは損害賠償等の請求を行う場合は、自己の責任と費用をもって処理解決するものとし、当社は、一切の責任を負わないものとします。
   - お客さまは、本規約への違反その他自らの責に帰すべき事由により、当社または第三者に対して損害を与えた場合、その損害を賠償するものとします。
7. 国際ローミングサービスの利用可能エリアと通信料金等は、次によります。なお、ご契約のプランによっては国際ローミングサービスがご利用になれませんので、Web等でご確認ください。
   - 利用可能エリア(国、地域等)はWeb等に掲載します。
   - 通信料金は、別に定める「公衆無線LANサービス契約約款」にて規定した料金が適用されます。なお、国際ローミングサービスの通信料金は渡航先の通信事業者及び当社の機器によりログイン時刻とログアウト時刻までを測定し、そのデータに基づき算定します。利用終了時にはWi-Fi接続中にアプリよりログアウト操作をしてください。ログアウト操作しない場合は渡航先の通信事業者が一定時間経過後にログアウト処理を行うまで課金される可能性があります。
8. 本サービスの利用により生じた債権は当社がKDDI等に譲渡し、その債権額をKDDI等から請求します。
9. 本サービスに関する著作権等を含む一切の権利は、当社又は第三者に帰属します。お客さまは本サービスに関する当社及び第三者の権利を侵害したり又はそのおそれがあるような行為を一切行ってはならないものとします。
10. お客さまは、本規約に係るいかなる権利又は義務も第三者に移転又は譲渡することはできません。
11. 本サービスの利用にあたり、当社がKDDI等からお客さまの氏名・契約電話番号及び契約の料金プランの情報等の開示を受けることを承諾していただきます。
12. 当社が提供するサービスを通じて取得した個人情報は、次の目的の為に利用させていただきます。
   - サービスの紹介、提案、および申込受付のため
   - サービスの申込に基づくご本人さまの確認等のため
   - サービスや契約の期日管理等、継続的なお取引における管理のため
   - サービスの提供に関する妥当性の判断のため
   - 他の事業者等から個人情報の処理の全部または一部について委託された場合等において、委託された当該業務を適切に遂行するため
   - お客さまとの契約や法律等に基づく権利の行使や義務の履行のため
   - 市場調査やデータ分析等によるサービスの向上や開発のため
   - ダイレクトメールの発送等、サービスに関する各種ご提案やご案内のため
   - サービスの終了後の管理のため
   - その他お客さまとのお取引を適切かつ円滑に履行するため
13. 本サービス又は本規約に関してお客さまとの間で疑義又は争いが生じた場合には、誠意をもって協議することとしますが、それでもなお解決しない場合には「東京地方裁判所」又は「東京簡易裁判所」を専属の管轄裁判所とします。

附則 本改訂規約は、2013年10月31日から実施します。

OpenSSL License

【OpenSSL License】

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

【Original SSLeay License】

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Note:
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help and for additional suggestions.

Warning
The user is cautioned that changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF EXPOSURE INFORMATION

Warning! Read this information before using your phone.

Warning! Read this information before using your phone. In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human to radio frequency electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this phone complies with the FCC guidelines and these international standards.

Body-worn Operation
This device was tested for typical body-worn operations with the back of the phone kept 0.39 inches (1.0 cm) from the body. To comply with FCC RF exposure requirements, a minimum separation distance of 0.39 inches (1.0 cm) must be maintained between the user's body and the back of the phone, including the antenna. All beltclips, holsters and similar accessories used by this device must not contain any metallic components. Body-worn accessories that do not meet these requirements may not comply with FCC RF exposure limits and should be avoided.

Turn off your phone before flying
You should turn off your phone when boarding any aircraft. To prevent possible interference with aircraft systems, U.S. Federal Aviation Administration (FAA) regulations require you to have permission from a crew member to use your phone while the plane is on the ground. To prevent any risk of interference, FCC regulations prohibit using your phone while the plane is in the air.

European RF Exposure Information

Your mobile device is both a radio transmitter and receiver, and is designed not to exceed limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were produced by independent scientific organization, ICNIRP, and include safety margins designed to protect all persons, regardless of age and condition of health.
The guidelines apply a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg, and the highest SAR value for this device was 0.427 W/kg*.
As testing measures SAR at the highest transmitting power of a device, actual SAR tends to be lower during ordinary operation. Lower SAR levels are typical during ordinary operation as automatic changes are made within the device to ensure the network can be reached with minimal power.
The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions to be adopted when using mobile devices. WHO also notes that those wishing to reduce exposure may do so by limiting call length and by using a 'hands-free' device to distance the phone from the head and body. For further information, please see the WHO website: http://www.who.int/peh-emf/en/
* Note that tests are also carried out in accordance with international testing guidelines.

Declaration of Conformity

Product is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1 (a), 3.1 (b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/consumer/ (Japanese only).

-Note-
Below frequency bands are restricted for indoor use only.
5150 - 5250 MHz (802.11a/n/ac) in US
5150 - 5350 MHz (802.11a/n/ac) in EU

Safety Information

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

文字入力の詳細情報

■記号一覧

入力できる記号（半角）一覧

（空白）	!	"	#	$	%
&	'	(	)	*	+
,	-	.	/	:	;
<	=	>	?	@	[
¥	]	^	_	`	{
<	=	>	?	@	[
¥	]	^	_	`	{
|	}	~	｡	｢	｣
､	･	ｰ	ﾞ	ﾟ	

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

入力できる記号（全角）一覧

（空白）	、	。	，	．	・
：	；	？	！	゛	゜
´	｀	¨	＾	￣	＿
ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝
々	〆	〇	ー	―	‐
／	＼	～	‖	｜	…
‥	‘	’	“	”	（
）	〔	〕	［	］	｛
｝	〈	〉	《	》	「
」	『	』	【	】	＋
－	±	×	÷	＝	≠
＜	＞	≦	≧	∞	∴
♂	♀	°	′	″	℃
￥	＄	￠	￡	％	＃
＆	＊	＠	§	☆	★
○	●	◎	◇	◆	□
■	△	▲	▽	▼	※
〒	→	←	↑	↓	〓
∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
∪	∩	∧	∨	￢	⇒
⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒
∂	∇	≡	≒	≪	≫
√	∽	∝	∵	∫	∬
Å	‰	♯	♭	♪	†

‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ
ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ
Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ
Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ
Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ
Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω
α	β	γ	δ	ε	ζ
η	θ	ι	κ	λ	μ
ν	ξ	ο	π	ρ	σ
τ	υ	φ	χ	ψ	ω
А	Б	В	Г	Д	Е
Ё	Ж	З	И	Й	К
Л	М	Н	О	П	Р
С	Т	У	Ф	Х	Ц
Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь
Э	Ю	Я	а	б	в
г	д	е	ё	ж	з
и	й	к	л	м	н
о	п	р	с	т	у
ф	х	ц	ч	ш	щ
ъ	ы	ь	э	ю	я
─	│	┌	┐	┘	└
├	┬	┤	┴	┼	━
┃	┏	┓	┛	┗	┣
┳	┫	┻	╋	┠	┯
┨	┷	┿	┝	┰	┥
┸	╂	①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ
Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ
Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍
㌘	㌧	㌃	㌶	㍑	㍗
㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻
㎜	㎝	㎞	㎎	㎏	㏄
㎡	㍻	〝	〟	№	㏍
℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨
㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
∮	∑	∟	⊿	ⅰ	ⅱ
ⅲ	ⅳ	ⅴ	ⅵ	ⅶ	ⅷ
ⅸ	ⅹ	￤	＇	＂	

※入力できる記号は実際の表示と多少異なります。

■顔文字一覧

ハッピー

(*^^*)	(^^)	(^_^)	(^^)v
(^_^)v	(^_^)	(^_^)v	(^o^)
(^o^)v	＼(^^)／	＼(^_^)／	
＼(^_^)／	＼(^o^)／	(^.^)	(^^)/
(^_^)/	(^^)d	:-)	:->
;-)			
(^—^)	(^〇^)	(￣—￣)	
(⌒-⌒)	o(^o^)o	p(^^)q	
p(^_^)q	q(^_^q)	d=(^o^)=b	
(^_^)ノ∠※。.:*:・'° ☆	(^w^)		
(* ´ω｀*)	(*´∀｀)	(ノ´∀｀*)	
(´∀｀)	(´,_ゝ`)	(o´∀`o)	
(＾∀＾)	(￣▽￣)	(〃▽〃)	
(・∇・)	(☆∀☆)	(v^-°)♪	
("⌒∇⌒")	(#^.^#)	((o(^∇^)o))	
((o(￣—￣)o))	(*^.^*)		
(*^。^*)	(*^_^*)	(*^—^)ノ♪	
(*^_^*)	(*^▽^)/★*☆♪		
(*^▽^*)	(*^￢^*)	(*^0^*)	
(*￣—￣)	(*￣∇￣)ノ	(*￣∇￣*)	
(*´-`)	(*´—｀*)	(*´∀`)♪	
(*´∇｀*)	(*≧∀≦*)	(*ノ▽ノ)	
(。^。^。)	(。-∀-)	(///∇///)	
(///ω///)♪	(//∇//)	(／▽＼)♪	
(^〇^)	(^^)b	(^∇^)	
(＾◇＾)	(^◇^)	(^0^)	
(˜▽˜@) ♪♪♪	(￣∇￣*)ゞ		
(´∇｀)	(' -' *)♪		
(〝⌒∇⌒〝)	(〃^—^〃)		
(〃∇〃)	(〃⌒—⌒〃)ゞ		
(〃ω〃)	(° ∇^d)!!	(≡^∇^≡)	
(≧∇≦)	(≧▽≦)	(° ▽° *)	
(●^o^●)	(° ▽°)	(o^—^o)	
(o＾・＾o)	(o^0^o)	(o≧▽°)o	
(o⌒∇⌒o)	(p^_^)p		
(σ≧▽≦)σ	＼(^.^)／		
《*≧∀≦》	♪(/ω＼*)		
♪ヽ(´▽｀)/	d(^_^)		
d(⌒—⌒)!	o(*⌒—⌒*)o		
o(^_^o)(o^_^)o	O(≧∇≦)O		
v(^o^)	v(・∀・*)		
Ψ(￣∇￣)Ψ	ヘ(≧▽≦ヘ)♪		
ヽ(*´▽)ノ♪	ヾ(@° ▽° @)ノ		
ヽ(^。^)ノ	ヽ(^〇^)ノ		
ヽ(￣▽￣)ノ	ヽ(・∀・)ノ		

アクション

<table>
<tr><td>＼(^^)／</td><td>＼(^-^)／</td><td>＼(^_^)／</td></tr>
<tr><td>＼(^o^)／</td><td>m(__)m</td><td>(..)</td><td>(^^)d</td></tr>
<tr><td>(^q^)</td><td>(__)</td><td>:-p</td><td>;-)</td><td>f(^_^)</td></tr>
<tr><td>(((^^;)</td><td>(((^_^;)</td><td>(((・・;)</td></tr>
<tr><td>(-.-)y-~</td><td>(-.-)Zzz・・・・</td></tr>
<tr><td>(-.-)ノ⌒-~</td><td>(-。-)y-~</td><td>(/_;)/~~</td></tr>
<tr><td>(゜゜;)＼(--;)</td><td>(;_;)/~~~</td></tr>
<tr><td>(^。^)y-~</td><td>(^^;)))</td><td>(^^ゞ</td></tr>
<tr><td>(^-^ゞ</td><td>(^_^)/~~</td><td>(^_^;)))</td></tr>
<tr><td>(^_^ゞ</td><td>(^∧^)</td><td>(^3^)/</td></tr>
<tr><td>(^o^)／~~</td><td>(^o^ゞ</td><td>(^з^)-☆</td></tr>
<tr><td>(^人^)</td><td>(-_-)/~~~</td><td>(⌒0⌒)／~~</td></tr>
<tr><td>(・・;)))</td><td>(゜o゜)＼(-_-)</td></tr>
<tr><td>┐('～`;)┌</td><td>p(^^)q</td><td>p(^-^)q</td></tr>
<tr><td>q(^-^q)</td><td>σ(^_^;)?</td></tr>
<tr><td>φ(゜゜)ノ゜</td><td>φ(..)</td></tr>
<tr><td>φ(. .)</td><td>(/--)/</td><td>(>.<)y-~</td></tr>
<tr><td>ヘ(^_^)</td><td>ゞ(`')、</td><td>(^-^)ゝ"</td></tr>
<tr><td>。。(〃_ _)σ‖</td></tr>
<tr><td>(^-^)ノ∠※。.:*:・'°☆</td><td>!(￣-￣)ゞ</td></tr>
<tr><td>!Σ(×_×;)!</td><td>!щ(゜▽゜щ)</td></tr>
<tr><td>('—')/~~</td><td>(-。-) =3</td><td>(^ ^)r" "</td></tr>
<tr><td>(´∀｀)σ)∀`)</td><td>(゜д゜)、;'.・</td></tr>
<tr><td>(´∀`)/~~</td><td>(→_→)</td><td>(゜∇^)]</td></tr>
<tr><td>(・_・)ノ三●~*</td><td>(゜ρ゜)</td></tr>
<tr><td>(□_□)ゞ</td><td>(((((((・・;)</td><td>((((ヽ(;^^)/</td></tr>
<tr><td>(((((゜゜;)</td><td>(ヾ(´・ω・｀)</td></tr>
<tr><td>(゜ー゜)(。_。)</td><td>((￣_|</td></tr>
<tr><td>((φ(￣ー￣)</td><td>(ゝω・´★)</td></tr>
<tr><td>(゜゜)(。。)(゜゜)(。。)</td></tr>
<tr><td>(゜-゜)(。_。)</td></tr>
<tr><td>(゜-゜)(。_。)(゜-゜)(。_。)</td></tr>
<tr><td>(--)//~</td><td>(--)／占==3</td></tr>
<tr><td>(*゜ー゜)ゞ⌒☆</td><td>(*ゝ`ω・)</td></tr>
<tr><td>(*/□＼*)</td><td>(*^)(*^-^*)ゞ</td></tr>
<tr><td>(*^)/☆(+。+*)</td><td>(*^-^)ヘ__/</td></tr>
<tr><td>(*^^*ゞ</td><td>(*^▽^)/★*☆♪</td></tr>
<tr><td>(*^3(*^o^*)</td><td>(*＾3＾) /～☆</td></tr>
<tr><td>(*^o^)／＼(^-^*)</td><td>(*￣▽￣)ノ~~♪</td></tr>
<tr><td>(*￣◇)=3</td><td>(*´-`)</td></tr>
<tr><td>(*゜▽゜)_□</td><td>(*・・)σ</td></tr>
<tr><td>(*・x・)ノ~~~♪</td><td>(*ov.v)o</td></tr>
<tr><td>(*T—T)b</td><td>(*μ_μ)♪</td><td>(--、)ヾ(^^)</td></tr>
<tr><td>(-.-)y-゜゜゜</td><td>(..)(__)</td><td>(._.)</td></tr>
<tr><td>(-。-)y-゜゜゜</td><td>(。-_-。)♪</td></tr>
<tr><td>(。_。)φ</td><td>(。・x・)ゞ♪</td></tr>
<tr><td>(。・ω・。)ゞ</td><td>(／＼)＼(^o^)／</td></tr>
<tr><td>(/-＼*)</td><td>(／^^)／</td><td>(/^^)/⌒●~*</td></tr>
<tr><td>(／_-)</td><td>(／_;)/</td><td>(／0￣)</td></tr>
<tr><td>(;_;)/~~</td><td>(゜゜;)(。。;)</td></tr>
<tr><td>(;-_-)vo(^-^)</td><td>(;¬__¬)</td></tr>
<tr><td>(@＾＾)／~~~</td><td>(@^^)/~~~</td></tr>
<tr><td>(@＾▽゜@)ゞ</td><td>(^.^)/~~~</td></tr>
<tr><td>(^。^)y-゜゜゜</td><td>(^^)／＼(^^)</td></tr>
</table>

アクション

<table>
<tr><td>(^^)/~~~</td><td>(^^)b</td><td>(^^)v</td></tr>
<tr><td>(＾＾)人(＾＾)</td><td>(^^;)(;^^)</td></tr>
<tr><td>(＾__ー)≡★</td></tr>
<tr><td>(^_^)／□☆□＼(^_^)</td><td>(^_^)∠※</td></tr>
<tr><td>(^_^)-c<^_^;)</td><td>(^_^)y-゜゜゜゜゜</td></tr>
<tr><td>(^_^;)＼('_')</td><td>(^|0|^)</td><td>(^3^)/～☆</td></tr>
<tr><td>(-_-)"</td></tr>
<tr><td>(゜_゜)(。_。)(゜_゜)(。_。)</td></tr>
<tr><td>(-_-).。oO</td><td>(-_-)zzz</td><td>(-_＼)</td></tr>
<tr><td>(__,)/~~</td><td>(`ー´ゞ-☆</td></tr>
<tr><td>(`◇´)ゞ</td><td>(`Д´≡`Д´)??</td></tr>
<tr><td>(￣*￣)</td><td>(￣。￣)</td></tr>
<tr><td>(￣ー￣ゞ-☆</td><td>(￣▽￣)ゞ</td></tr>
<tr><td>(￣▽￣)=3</td><td>(￣▽￣)b</td></tr>
<tr><td>(￣▽￣=￣▽￣)</td><td>(￣¬￣)</td></tr>
<tr><td>(￣b￣)</td><td>(￣0￣)</td></tr>
<tr><td>(￣q￣)zzz</td><td>(´3`)</td></tr>
<tr><td>(´ー`)σ</td><td>(´・ω・`)/~~</td></tr>
<tr><td>(´ρ`)</td><td>(´д⊂)‥</td><td>(‘*‘)</td></tr>
<tr><td>(‘ー‘)/~~</td><td>(〃´o`)=3</td></tr>
<tr><td>(+.+)(-.-)(__)..zzZZ</td><td>(=_=)</td></tr>
<tr><td>(>_<)/~~</td><td>(><*)ノ~~~~~~</td></tr>
<tr><td>(>ω<)/。・゜゜・</td><td>(゜∇^d)!!</td></tr>
<tr><td>(∋_∈)</td><td>(∩_∩;)P</td><td>(⌒∇⌒)ノ"</td></tr>
<tr><td>(⌒∇⌒)ノ""</td><td>(゜◇゜)ゞ</td><td>(→.←)</td></tr>
<tr><td>(¬_¬)</td><td>(゜o゜C=(_ _;</td></tr>
<tr><td>(・_*)＼</td><td>(・_ゞ)</td><td>(・┳・)</td></tr>
<tr><td>(・・;φ</td><td>(・д・=・д・)</td></tr>
<tr><td>(‥、)ヾ(^^)</td><td>(i_i)＼(^_^)</td></tr>
<tr><td>(n‘∀‘)η</td><td>(o^0^)シ彡☆</td></tr>
<tr><td>(o^-')b!</td><td>(o゜◇゜)ゝ</td><td>(o・・o)/~</td></tr>
<tr><td>(p^-^)p</td><td>(v^ー゜)</td><td>('ε'*)</td></tr>
<tr><td>(゜ρ゜)</td><td>(σ*´∀`)</td></tr>
<tr><td>(σ≧▽≦)σ</td><td>(゜Д゜≡゜Д゜)?</td></tr>
<tr><td>(ノ-_-)ノ~┻━┻</td><td>(ノ`△´)ノ</td></tr>
<tr><td>(ノ-o-)ノ┫</td><td>(ノ゜ο゜)ノ</td></tr>
<tr><td>…_〆(゜▽゜*)</td><td>。。。。゛(ノ‥)ノ</td></tr>
<tr><td>＼(*⌒0⌒)b♪</td><td>＼(^.^)／</td></tr>
<tr><td>＼(^^＼)</td><td>＼(^_^)(^_^)／</td></tr>
<tr><td>＼('_＼)(／_,)／</td><td>＼(~o~)／</td></tr>
<tr><td>＼(~□＼)(／□~)／</td><td>＼(￣0￣)／</td></tr>
<tr><td>＼(´O`)／</td><td>＼(-o-)／</td></tr>
<tr><td>＼(゜□＼)(／□゜)／</td></tr>
<tr><td>(^_^)／▼☆▼＼(^_^)</td><td>_(..)_</td></tr>
<tr><td>_(._.)_</td><td>_-)))</td><td>|(-_-)|</td></tr>
<tr><td>|＾▽＾)ノ</td><td>|_-))))</td></tr>
<tr><td>“〆(^∇゜*)♪</td><td><(_ _*)></td></tr>
<tr><td><(`^´)></td><td>≡3≡3≡3</td></tr>
<tr><td>┐(-。ー;)┌</td><td>┐(-。-;)┌</td></tr>
<tr><td>┐(￣ヘ￣)┌</td><td>┐(´д`)┌</td></tr>
<tr><td>┗(-__-;)┛</td><td>・⌒ヾ(*´ー`)</td></tr>
<tr><td>☆(゜o(○=(゜ο゜)o</td></tr>
</table>

アクション

<table>
<tr><td>☆￣(>。☆)</td><td>☆≡(>。<)</td></tr>
<tr><td>☆⌒(*＾∇゜)v</td><td>☆⌒(>。≪)</td></tr>
<tr><td>☆○(゜ο゜)o</td><td>♀_(`O`)♪</td></tr>
<tr><td>♪(#^ー゜)v</td><td>♪(〃∇〃)ノ由☆</td></tr>
<tr><td>♪(o・ω・)ノ))</td><td>♪～(・ε・)</td></tr>
<tr><td>♪ヽ(´▽｀)/</td><td>♪v(*'-^*)^☆</td></tr>
<tr><td>♪Ю—(^▽^o)♪</td><td>c(>_<。)シ*</td></tr>
<tr><td>C=C=＼(;・_・)／</td><td>d(^-^)</td></tr>
<tr><td>d(⌒ー⌒)!</td><td>L(‘▽‘)／</td><td>m(._.)m</td></tr>
<tr><td>m(。_。)m</td><td>o(*￣○￣)ゝ</td></tr>
<tr><td>o(*⌒—⌒*)o</td><td>o(*⌒0⌒)b</td></tr>
<tr><td>o(^-^o)(o^-^)o</td><td>o(____*)Zzz</td></tr>
<tr><td>o(`^´*)</td><td>o(￣ー￣)○☆</td></tr>
<tr><td>o(*⌒—⌒*)o</td><td>o(*⌒0⌒)b</td></tr>
<tr><td>o(^-^o)(o^-^)o</td><td>o(____*)Zzz</td></tr>
<tr><td>o(`^´*)</td><td>o(￣ー￣)○☆</td></tr>
<tr><td>o(><;)(;><)o</td><td>o(T△T=T△T)o</td></tr>
<tr><td>v(^o^)</td><td>v(￣Д￣)v</td><td>v(=∩_∩=)</td></tr>
<tr><td>v(・∀・*)</td><td>゜゜゜゜゜-y(^。^)。o0○</td></tr>
<tr><td>ε-(´ー`*)</td><td>ε=(￣。￣)</td></tr>
<tr><td>ε=ε=(ノ≧∇≦)ノ</td></tr>
<tr><td>ε=ε=┏(・_・)┛</td></tr>
<tr><td>ρ(^o^)b_♪♪</td><td>ρ(—o—)♪</td></tr>
<tr><td>σ(*´∀`*)</td><td>σ(^_^)</td></tr>
<tr><td>σ(￣∇￣;)</td><td>σ(´・д・｀)</td></tr>
<tr><td>σ(≧ω≦*)</td><td>σ(・_・)</td></tr>
<tr><td>σ(o・ω・o)</td><td>φ(・・;</td></tr>
<tr><td>Ψ(￣∇￣)Ψ</td><td>щ(゜▽゜щ)</td></tr>
<tr><td>ヘ(^^ヘ)</td><td>ヘ(__ヘ)☆＼(^^;)</td></tr>
<tr><td>ヘ(×_×;)ヘ</td><td>ヘ(・。・。)</td></tr>
<tr><td>ヘ(・・ヘ)。。</td></tr>
<tr><td>ヘ(・o・三・o・)ヘ</td></tr>
<tr><td>三(lll´Д`)</td><td>三(゜∀゜)</td></tr>
<tr><td>ヽ(´ー‘)ノ⌒○</td></tr>
<tr><td>ヽ(*´▽)ノ♪</td><td>ヾ(--;)</td></tr>
<tr><td>ヾ(^^ヘ)</td><td>ヽ(^○^)ノ</td><td>ヽ(^o^;)ノ</td></tr>
<tr><td>ゞ(^o^ゝ)≡(/^_^)/"</td><td>ゞ(`´)</td></tr>
<tr><td>ヽ(￣▽￣)ノ</td><td>ヽ(´ー`)ノ</td></tr>
<tr><td>ヾ(´▽`*)ゝ</td><td>ヽ(´・`)ノ</td></tr>
<tr><td>ヽ(´o`;</td><td>ヾ(¬。¬)</td><td>ヾ(・・;)</td></tr>
<tr><td>ヾ(・o・*)シ</td><td>ヾ(゜0゜*)ノ?</td></tr>
</table>

ラブ・友情

<table>
<tr><td>(^3^)/</td><td>(^з^)-☆</td></tr>
<tr><td>(*^)(*^-^*)ゞ</td></tr>
<tr><td>(*^-^)／＼(*^-^*)／＼(^-^*)</td><td>(*^3(*^o^*)</td></tr>
<tr><td>(*＾3＾)/～☆</td><td>(*^o^)／＼(^-^*)</td></tr>
<tr><td>(*⌒3⌒*)</td><td>(--、)ヾ(^^)</td></tr>
<tr><td>(／＼)＼(^o^)／</td><td>(^^)／＼(^^)</td></tr>
<tr><td>(＾＾)人(＾＾)</td><td>(^3^)/～☆</td></tr>
<tr><td>(´3`)</td><td>(・∀・)人(・∀・)</td><td></td></tr>
</table>

動物・キャラクタ			
動物・キャラクタ	(ΦωΦ)	(°　)#))<<	(°　)))<<
	(°　))<<	(-)_(-)	(=^ェ^=)
	(≡・x・≡)	.｡ o○	
	〜〜〜〜〜(m--)m	˜>°　)―――	
	￣(=˙.˙=)￣	<°　)#)))彡	<°　)))彡
	<*))>=<	<+))))><<	<+)))><<
	<+))><<	>°　))))彡	>°　)))彡
	>°　))彡	⊂(^(工)^)⊃	⌒(ë)⌒
	○o｡ .	☆ミ	U^ェ^U

※入力できる顔文字は実際の表示と多少異なります。

■ 絵文字一覧

顔・表情

気持ち・からだ

生き物

食べ物・飲み物

自然・季節

ファッション・遊び

ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ

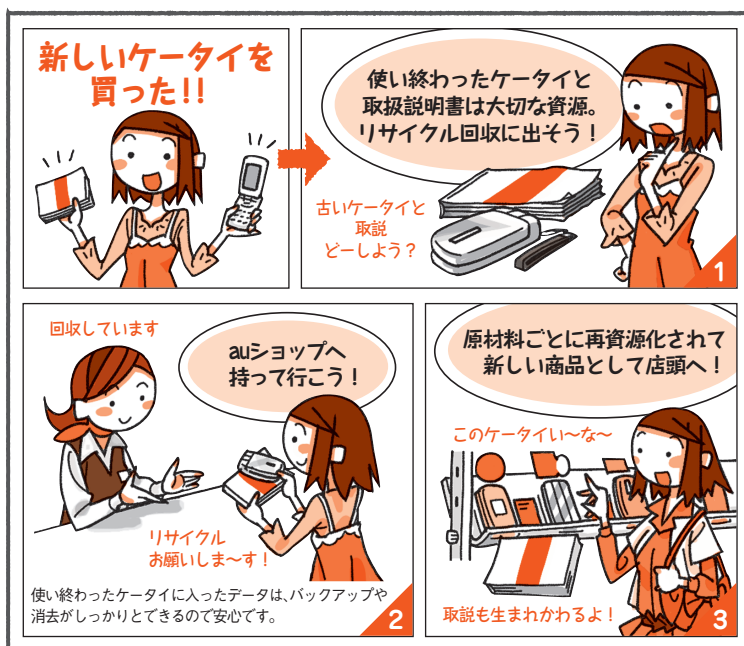
大切な地球のために、
一人ひとりができること。

それは、たとえばケータイや取扱説明書のリサイクルという、とても身近なことから始められます。

ケータイの本体や電池に含まれている希少金属や、取扱説明書などの紙類はリサイクルすることができます。
取扱説明書などの紙類は古紙原料として、製紙会社で再生紙となり、次の印刷物に生まれ変わります。また、このリサイクルによる資源の売却金は、国内の森林保全活動に役立てています。

ご不要になったケータイや取扱説明書は、お近くのauショップへ。
みなさまのご協力をお願いいたします。

ご不要になったケータイや取扱説明書は
お近くのauショップへ

http://www.au.kddi.com/mobile/recycle

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について（通話料無料）

受付時間　9:00～20:00（年中無休）

一般電話からは
0077-7-111

au電話からは
局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて（通話料無料）

受付時間　24時間（年中無休）

一般電話からは
0077-7-113

au電話からは
局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）

0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

受付時間　9:00～21:00（年中無休）

一般電話／au電話から

0120-925-919

この取扱説明書は再生紙を使用しています。
取扱説明書リサイクルにご協力ください。
KDDIでは、このマークのあるauショップで回収した、紙資源を製紙会社と協力し、国内リサイクル活動を行っています。
本冊子は、その一環として製作されております。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わずマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2014年7月第1版

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
製造元：京セラ株式会社

AMK0059　KYY24 取扱説明書（詳細版）